はじめに

FotoFusion へようこそ!



Image credits: Stephen Eastwood, David Ziser and Kent Smith.

このユーザーガイドでは、FotoFusionの主な機能を概観することができます。ソフトウェア内にも様々なタイプのチュートリアルが用意されています。

動画チュートリアル は、[作成]画面の右下にある  アイコンから見ることができます。これらの動画チュートリアルは、様々なツールや技術がどのようにプロジェクトに適用されるかの確認に便利です。
情報ヒントは、ソフトウェア内のほとんどのコントロール上でマウスオーバーした場合に表示されます。ツールの使い方を簡単に説明している便利なヒントです。

インストールと認証

システム要件

PC:
・Pentium III、450MHz 以上
• OS: Windows 8、7、Vista、XP (service pack 3)

Mac (v5 のみ):
• Intel CPU 必須: 450 MHz 以上
• X11 必須
• OS: Apple OSX 10.8 (Mountain Lion)、10.7 (Lion)、10.6 (Snow Leopard)、10.5 (Leopard)
全般:
• ディスプレィ解像度: 1024x768 以上
• ディスクの空き容量: 100MB を推奨しますが、それ以上あるとよいでしょう (オンライン　マーケットからコンテンツをダウンロードした場合やリモート ストレージが多くの容量を必要とするため)
• ライセンス情報を受信できる有効なメールアカウント

- メモリー (最小):100 ページ以下のプロジェクトの場合は 512MB RAM、100 ページ以上のプロジェクトの場合は 1GB RAM、200 ページ以上のプロジェクトの場合は2GB RAM。推奨: メモリーは多ければ多いほど良いです。
- マウス: ボタンが3つあるものが推奨されます。
- インターネット アクセス:認証には必須、ソフトウェア使用には推奨。オンラインでの認証が最も簡単ですが、オフラインでの認証もできます。一度認証を行えば、ソフトウェアをオフラインでも実行できるようになります。高速インターネットアクセスの使用を強くお勧めいたします。オンラインユーザーがアクセス可能なコンテンツ:テンプレートや他のグラフィック コンテンツ、メール、Web出力、ヘルプファイル、動画(チュートリアル)、アップデートアップグレード等。

IT管理者への注意

- FotoFusion は *.lumapix.com と *.amazonaws.com との通信を行います。
- 通信設定:ポート80 はマーケットプレイス コンテンツ用、Port 21 はパブリッシャーへのFTP アップロード用、Port 443 はリモートストレージ用です。
- バイナリ転送モードを有効にしてください。
- SOAPヘッダーをフィルタリングしない
- ユーザーのアクセス権限:以下に対する読み込みと書き込みをすべてユーザーに許可する設定を行う必要があります。

Windows 7, Vista: C:\ProgramData\LumaPix Windows XP: C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\LumaPix

FotoFusion のインストール

FotoFusion ライセンスを購入すると、登録した連絡先にインストールと認証の手順がメールで送られます。メール内のダウンロードリンクをクリックし、インストーラ ファイルを取得します(Windows または Mac版)。

ソフトウェアの認証

FotoFusionライセンス購入により、ソフトウェアの認証を行うためのユーザーIDが提供されます。認証により、ウォーターマークは表示されなくなり、ライセンスの種類に応じたグラフィック リソースへのアクセスが可能になったり、プロジェクトを共有できたりします。

FotoFusionの認証を行うには、[ヘルプ]メニュー > [FotoFusionの認証] > [オンラインで認証...]を選択します。
ユーザーIDを入力して、パスワードを設定します。FotoFusionが再起動され、認証は完了します。

エクストリーム版は、EULAで述べられている通り、「1ユーザー、1ライセンス」、つまり、個人的使用を目的としてノートパソコンやデスクトップパソコンでのソフトウェア認証ができます。ライセンスには期限がなく、メンテナンスやコンピューター買い替えのためにソフトウェアを再インスト-ルできます。1つのライセンスを複数のPCで同時に使用することは許可されていません。

作業開始にあたり

[開始]タブ

最初にFotoFusionを起動すると、**[開始]タブ**が表示されます。

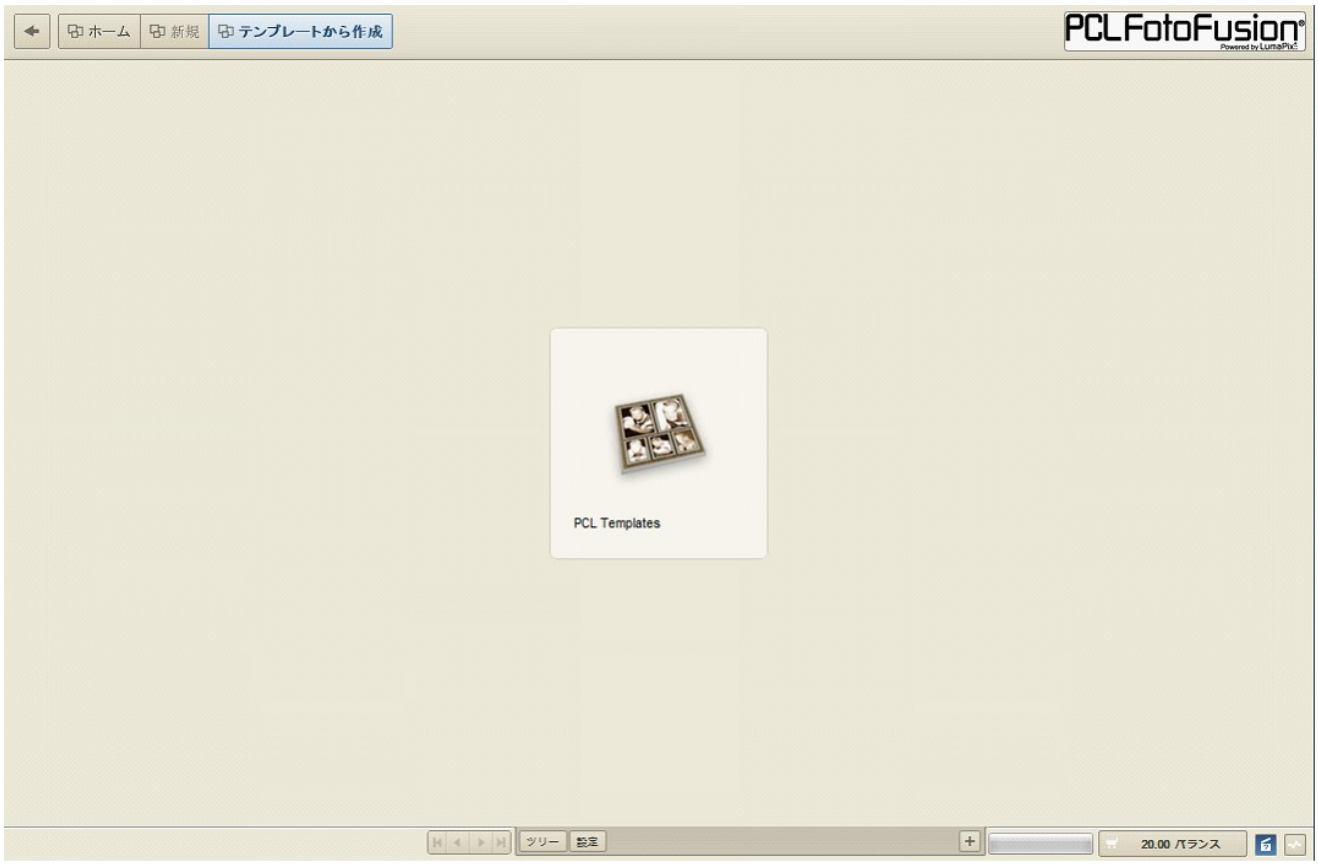


[開始]タブからは、新しいプロジェクト作成、保存済みプロジェクトへのアクセス、FotoFusionに関する情報、テンプレートへのアクセスができます。

- **[新規]**をクリックすると、まっさらな状態から新しいプロジェクトを作成できます。
- **[開く]**をクリックすると、以前保存したプロジェクトを開くことができます。
- **[最近のプロジェクト]**をクリックすると、最近アクセスしたプロジェクトの一覧が表示されます。
- **[ライセンス&学習]**をクリックすると、ライセンスのバージョン確認、購入状況、サポートへのアクセスが可能です。

新規プロジェクト
まっさらな状態から新しいプロジェクト作成を始めるには、**[新規]**を選択します。ライセンスの種類によって、表示されるリスト内のオプションは異なります。

- **[白紙から作成]**をクリックして、空のプロジェクトのページサイズを指定します。
- [自動機能で作成]を選択すると、自動コラージュ ウィザード が表示され、選択画像を使ったレイアウトを自動的に作成できます。
- **[テンプレートから作成]**をクリックすると、LumaPix マーケットプレイスで事前に用意されているレイアウトから選択できます。



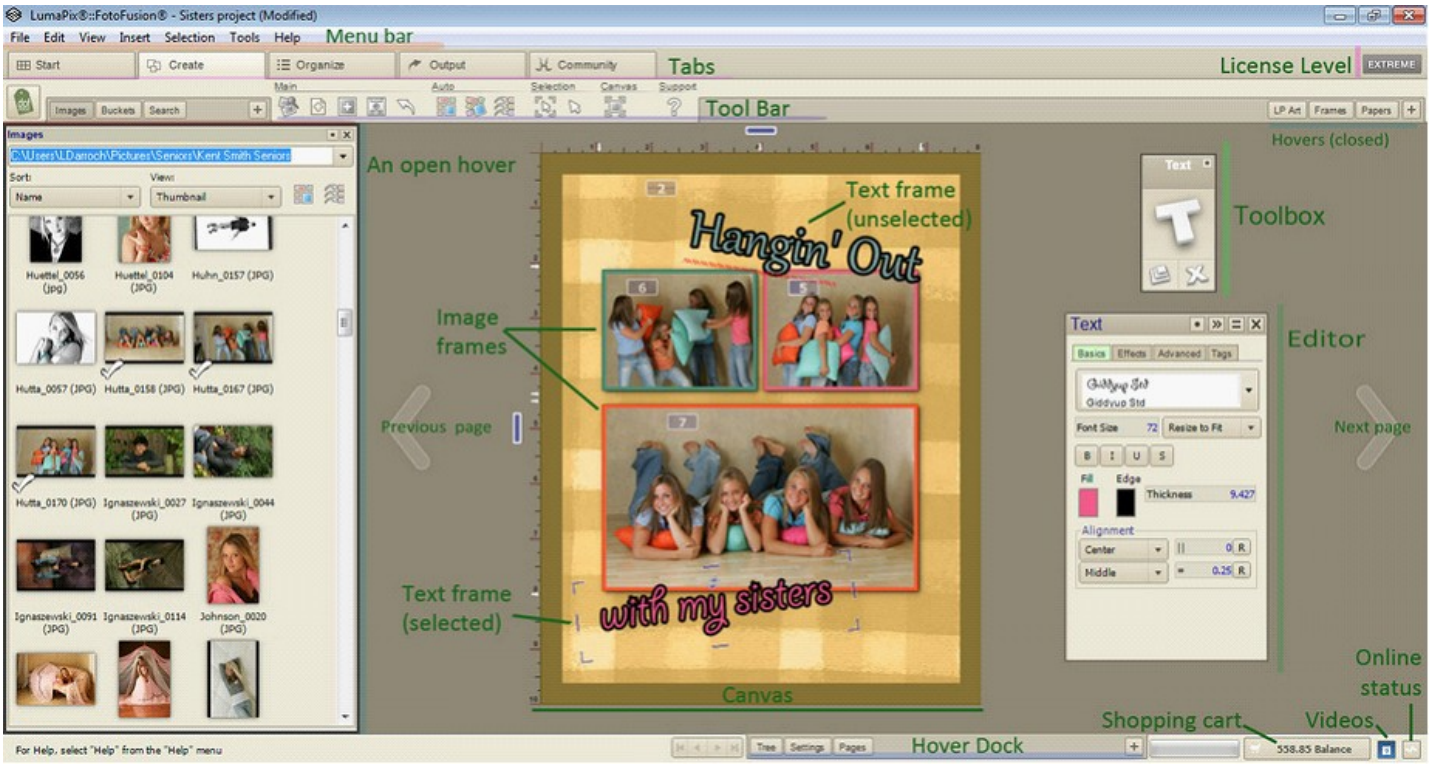
どのオプションを選択したとしても、必要に応じてページのサイズやフレームの位置を変更することは可能です。

プロジェクトやテンプレートの選択を間違えた場合、キャンバス設定ウィンドウで新しいプロジェクトやキャンバスサイズを選択できます。選択時に、サイズは自動的に変更されます。

[作成]画面

FotoFusionの主なワークスペースは、 

タブにあります。



a - Image by Kent Smith

メニューバー: ツールや環境設定へのアクセスを可能にします。 *詳細は、該当項目を参照*

タブ: [作成]、[整理]、[出力]、[管理者]オプションへの切り替えが簡単に行えます。

ライセンスの種類: ライセンスの種類が表示されます。認証を行っていない場合、「試用版」と記載されます。

ホバー: これらのボタンにマウスオーバーすると、エディターが表示されます。グラフィック コンテンツ(検索、フレーム等)を表示するホバーやプロジェクトの整理を助けるホバー(ツリーやページ等)があります。これらのボタンは、キャンバス内のどこにでも移動できますが、ドックのままということも可能です。

ツールバー: ファイル管理用アイテム、自動ツール、選択ツール、キャンバスの表示、画像オプション、サポートなど良く使うツールのリストが表示されます。

画像フレーム: キャンバス上に表示され、画像の位置特定に使用されます。フレームそのものと中の画像をリサイズしたり、属性を適用したりできます。**テキストフレーム**は、テキストについて同様に機能します。フレームは、**キャンバス**、つまりページの背景に表示されます。

ツールボックスとエディター: :キャンバス上のアイテムを選択すると表示され、選択アイテムを編集(設定の変更)するためのエディターを開くことができるようになります。

ホバー ドック: ホバー ボタンは、このホバー ドックで管理されます。ボタンの追加は[+]ボタンで行います。

買い物かご: プレミアム コンテンツの購入に使用できるクレジット残高の表示、プロジェクト内で使用されている未購入のプレミアム コンテンツのクレジット表示、購入やクレジットの使用が可能です。

動画: クリックすると、FotoFusionの使い方に関する動画の一覧が表示されます。

オンライン ステータス: グラフィック コンテンツや他の機能へのアクセスに必要なインターネット接続状況を示しています。

タブ

タブは、画面の上部に、横に並んでいます。タブをクリックすると、ソフトウェアの機能を切り替えることができます。



新しいプロジェクト、既存のプロジェクトの読み込みやFotoFusionに関する情報へのアクセスができます。



プロジェクトの編集などの作業を行う編集画面です。



画像やプロジェクトの表示、ソート、カテゴリー化、キーワード割り当てなどを行います。YearbookFusion のユーザーであれば、さらに PSPA データベースの画像を管理します。



プロジェクトをjpgファイル形式などにレンダリングし、Webサイトにアップロードしたり、プリンターで印刷したりします。

メニューバー

メニューバーからFotoFusion内のすべての機能へのアクセスが可能です。メニューバーのコントロールのほとんどは、キャンバス内のアイテム選択(左/右クリック)またはキーボード ショートカットによっても実行できます。



全般

- [ファイル]メニューには、ファイルの保存、読み込み、出力などのオプションが含まれます。Macユーザーの場合、ソフトウェアの終了は[FotoFusion]メニューを使用します。
- [編集]メニューは、選択アイテムのコピー/切り取り/貼り付け/複製/削除、元に戻す/やり直し、そしてユーザー設定のオプションが含まれています。
- [表示]メニューは、画面の表示方法(ズーム、パン、グリッド線など)の設定を行うためのオプションが含まれています。
- [挿入]メニューには、プロジェクトにアイテムを追加するためのオプション(画像フレーム、テキスト フレーム、新しいページ等)が含まれています。
- [選択]メニューには、キャンバス内のアイテムの選択やキャンバスに重ねる順番などのオプションが含まれています。
- [ツール]メニューには、自動ツール(自動コラージュ、自動挿入など)やキャンバス内の特定のアイテムに関する操作、つまり、キャンバス背景、フレーム プロパティ、テキストアイテムなどが含まれます。
- [ヘルプ]メニューは、ヘルプ、学習オプション、ライセンス情報などが含まれています。Macユーザーの場合、ライセンス情報は[FotoFusion]メニューを使用します。

ツールボックス

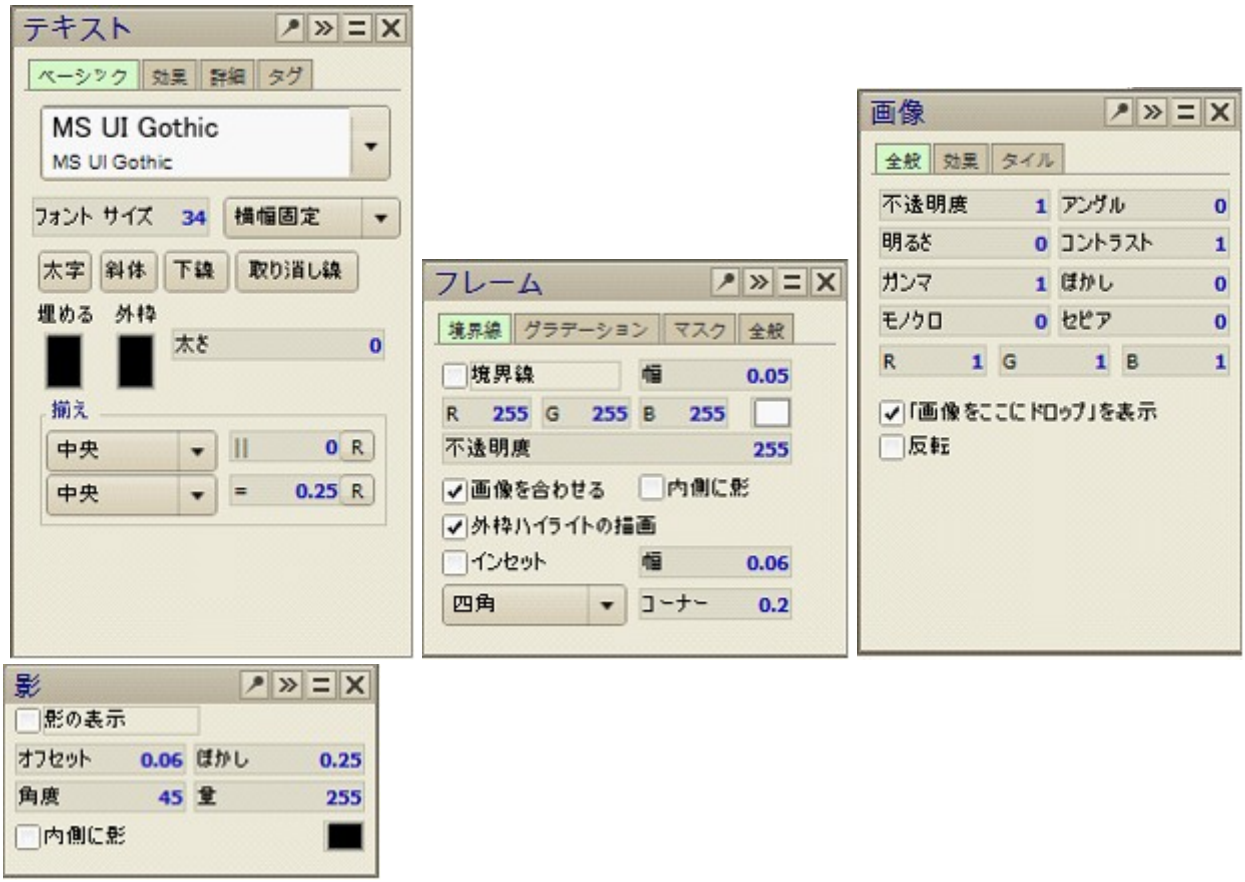
ツールボックスは、フレーム(キャンバスの背景を含む)をクリックすると表示されます。画像フレームとテキスト フレームの2種類があります。



ツールバーは、インタラクティブで、プロジェクトへの変更をオンザフライで行うことができます。
上部の大きなアイコン上でドラッグすることで、フレーム プロパティ、枠の幅、画像の明るさ/コントラストを変更できます。アイコンをクリックすると、利用可能なコントロールがすべて表示されます。各アイコンにマウスオーバーすると、どんなエディターが表示されるかの簡単な説明(ヒント)が表示されます。

エディター

エディターは様々な属性をフレームに適用します。ツールボックス内のアイコンをクリックすると、該当するエディターが開き、選択フレームでの関連するプロパティの変更が可能になります。以下が主な4つのエディター、テキスト エディター、フレーム枠エディター、画像エディター、影エディターです。



エディターは、すべての属性に関して**デフォルト**値が設定されております。例えば、画像フレームの場合、デフォルトで画像の周りに薄い白の枠が表示されるよう設定されています。

デフォルト値の変更は、それぞれのエディターの上部にある » ボタンをクリックしてください。デフォルト値を変更後、 » ボタンをクリックし、**[設定を新規フレームのデフォルトとして保存]**を選択すると、新しいデフォルト値としてその値を設定できます。

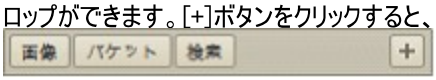
新しい属性が追加されるまでの間、一時的にデフォルト設定を変更して使用する場合、**[デフォルトを新しいフレームに自動的に更新]**を選択します。設定をプリセットとして保存し、オリジナルのプリセットを何通りか作成しておくこともできます。

ボタンを使うと、現在の設定をキャンバス上の同様のフレームに適用できます。Ctrl キーを押したままであれば、現在の設定を複数ページあるプロジェクト内にある同様のフレームすべてに適用できます。

ボタンをクリックすると、エディターの位置を固定することができます。

ホバーとホバー ドック

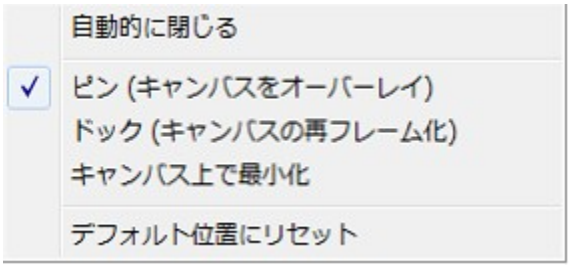
ホバーは、グラフィック コンテンツのプレビューを表示したり、編集ツールを開いたり、マーケットプレイス コンテンツへのアクセスを可能にしたりします。ホバー ボタンは、[作成]タブの3ヶ所のホバー ドックからアクセスできます。ホバーはホバー ドック間でのドラッグやキャンバス外の領域へのドロップができます。[+]ボタンをクリックすると、ホバー ドックに表示されていない他のホバー ボタンを見ることができます。



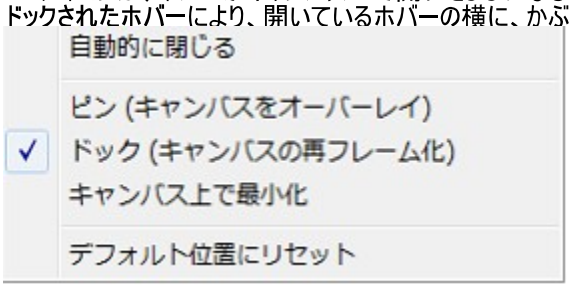
ホバーは、簡易的に開き、編集タスク完了後に閉じるよう設定されています。何度も使用する場合などに、ある一定時間の間、エディターを開いたままにすることはできます。
ホバーを開いたままにするには、エディターの右上にあるピンアイコンをクリックします。



アイコンは、マウスポインタがホバー上を離れた場合に、ホバーが自動的に閉じることを示しています。
固定されたホバーによりキャンバスの位置の変更が促されるわけではないため、キャンバスの作業領域に被ってしまうことがあるかもしれません。



アイコンは、ホバーがキャンバス上で開いたままになることを示しています。
ドックされたホバーにより、開いているホバーの横に、かぶらないよう表示場所が調整されます。



設定を戻す場合、[自動的に閉じる]を選択するか、 ボタンをクリックして閉じます。

ホバー内のサムネイル画像のサイズを変更する
ホバーはグラフィック コンテンツをサムネイルと呼ばれるミニ表示で表示します。ホバー内のサムネイルを、作業のしやすさのためなどに拡大/縮小できます。開いたホバー内部をクリックします。キーボードのCtrl(Macの場合はCmd)キーを押しながら、マウスホールを回転させて拡大/縮小します。別の方法として、サムネイルを右クリックし、プリセットサイズの一覧から選択することもできます。

プロジェクトの管理

このセクションでは、プロジェクトの保存方法、テンプレートとして保存する方法、保存済みプロジェクトやテンプレートの開き方を紹介します。他のコンピューターにプロジェクトを転送するためのアーカイブ化についても学べます。他の画像編集ソフトとFotoFusion での画像の扱われ方が異なる点や、画像が見つからないという警告が表示されないための予防策 (と表示された場合の解決策)を知っておくとよいでしょう。最後に、パスワードによる保護 に関する詳細が説明されています。

注: 初心者の多くは、プロジェクトを印刷業者にどのように入稿したらよいのかわからないようです。FotoFusionで保存されたプロジェクト(.scrap ファイル)は、画像が含まれていないので、印刷業者に転送することはできません。

プロジェクトを jpg, pdf などのファイルにレンダリングすることで、どのラボや写真現像サービスでも、プロジェクトを印刷できます。レンダリングは、FotoFusionのファイルへ出力機能を使えば、簡単にできます。推奨されるサイズや出力の決定には、お使いのラボとご相談ください。プロの写真家がアルバムを作成する場合、指定された余白の幅や解像度の条件を満たしているかをしっかり確認してくれるでしょう。

多様な形式、出力品質、値段などお客様のニーズに応じた会社が世界中に多くあります。地元で写真現像を行っているお店、オンラインの写真現像サービス、出版業者などは、FotoFusionの出力ファイルを印刷してくれるでしょう。自宅周辺の店舗情報などは、インターネットでお調べください。オンラインでフォトブック作成を行う会社では、無料のフォトブック作成用ソフトウェアを提供していることが多く、幾つかの基本的なテンプレートが含まれています。それらのソフトウェアで FotoFusionの出力形式を使用する場合、フルページレイアウトにjpgファイルを挿入できるテンプレートを選択し、そのレイアウトにFotoFusionで作成したjpgファイルを挿入します。プロの写真家の場合、現像に使うラボや現像方法の選択肢は無数にあります。一般的に、これらのサービスは一般向けサービスよりも品質が良いため、結果的に値段が高くなります。

FotoFusion には、幾つかのアルバム作成会社のプリセットを キャンバス設定 エディター内で提供しています。ここで提供されているプリセットは、該当する会社側からページサイズのプリセットを提供していただいたものです。

プロのアルバム制作会社のリストをお探しの場合、プロの写真家の組織によるWebサイトから、お客様の希望に合うタイプを見つけると良いでしょう。例えば、結婚式や人物専門の写真家が集まるWebサイト(英語) には、結婚式やその他の人物写真の印刷等を行っている会社(お店)の一覧を見ることができます。

プロジェクトの保存

別の日に作業を行うために、プロジェクトを保存する場合の保存方法は以下の通りです。

- ツールバーの  (保存)を選択
キーボードのCtrl + Sキーを押す
[ファイル]メニューから[保存]を選択する。(3つのうちのいずれかを実行)
- ファイル名を入力。
- ディレクトリー フォルダーを指定するか、新しいサブディレクトリーを作成。
- ファイルの保存。プロジェクトは、.scrapファイル形式で保存されます。

[ファイル]メニューの[保存]またはCtrl + Sキーを使って、既存のプロジェクトを更新します。

[ファイル]メニューの[名前をつけて保存...]を使用した場合、更新したプロジェクトのコピーを新しい名前のもとに保存します。例えば、以前に保存したプロジェクトを編集している場合、編集前と編集後の両方を保存したい場合などに使用します。[名前をつけて保存]は、既存のファイルの上書きはできません。

テンプレートとして保存

プロジェクトをテンプレートとして保存することで、異なる画像を使用して同じレイアウトのプロジェクトを作成できます。
レイアウトをプロジェクトの作業終了時に、[テンプレートとして保存]を選択します。

以下の確認メッセージが表示されます。



[はい]を選択すると、プロジェクトから画像を削除します(削除される画像には、背景画像も含む)。クリップアート(pngファイルなど)は削除されません。

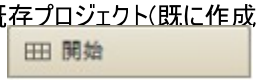
[いいえ]を選択すると、プロジェクトはそのまま保存されます。

ヒント: 紙テクスチャを多く試用している場合、カスタム画像をフレームから手動で取り除き、その後プロジェクトを保存します。

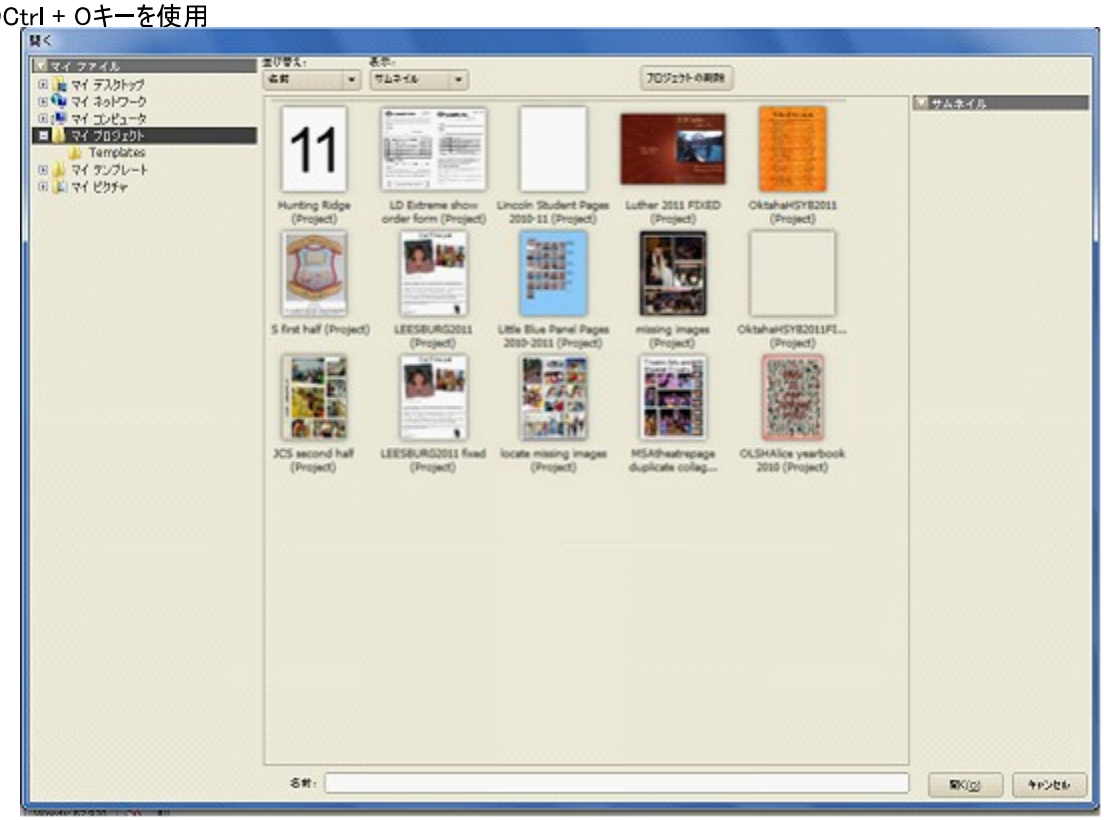
テンプレートは、複数ページのプロジェクト内の単一ページだけで作成することもできます。その場合は、[ページ] ホバー内の該当するページのサムネイル上で右クリックします。

保存されたプロジェクトまたはテンプレートを開く

既存プロジェクト(既に作成、保存したプロジェクト)を読み込むには、以下のいずれかのオプションを使用します。

- 

タブをクリック
- [ファイル]メニューから[開く]をクリック
- キーボードのCtrl + Oキーを使用



FotoFusionプロジェクトのデフォルト保存先は、[マイドキュメント] > [マイコラージュ]です。テンプレートは、マイコラージュのサブフォルダーに保存されます。コンピューター内の他の保存先を設定することもできます。

プロジェクトに南京錠が表示される場合、そのプロジェクトがFotoFusionで開かれており、編集のためにロックされていることを意味します。



まれなケースとして、プロジェクトが開かれていないのに、ロックされている(南京錠が表示されている)ことがあります。これは、プロジェクトを正しく終了しなかったため、または、予期せぬコンピューターのシャットダウンなどが原因です。

プロジェクトが他のユーザーによって使用されていないことが確かな場合、プロジェクトを右クリックして、[プロジェクトのロック解除]を選択することで、簡単にロックを解除することができます。

プロジェクト転送のためのアーカイブ化

.scrapファイルは、いわゆる「構成」を保存したレイアウトを再現するためのファイルです。画像は、プロジェクトに添付または追加されているわけではなく、画像の保存先のローカル フォルダーからプロジェクトにリンクされています。

違うPCで.scrapファイルを開いた場合、プロジェクト内に画像が表示されず、画像が見つからない場合があります（詳細はこちらをご覧ください）。

アーカイブは、プロジェクトとソース画像ファイルを1つのファイルにバンドルし、別のコンピューターに転送できるようにします。これは、作業内容を保存できるリモートストレージや共有ネットワークがない場合に便利です。

アーカイブを作成するには、[ファイル]メニュー> [データ管理] > [アーカイブ]を選択します。これにより、システム上に非常に大きなファイル、.scrappackageが生成されます。外部メモリーデバイスに転送する際に必要となるこの.scrappackage ファイルの保存先をメモするなど、忘れないように保管してください。

このファイルを受け取った他のユーザーは、[ファイル]メニュー> [データ管理] > [アーカイブ]で開くことができます。プロジェクトが開き、そのユーザーのコンピューターにソース画像を置き、損なわれることなく画像ファイルも開くことができます。一度開けば、通常の保存操作ができるようになります。

FotoFusionでの画像の扱われ方

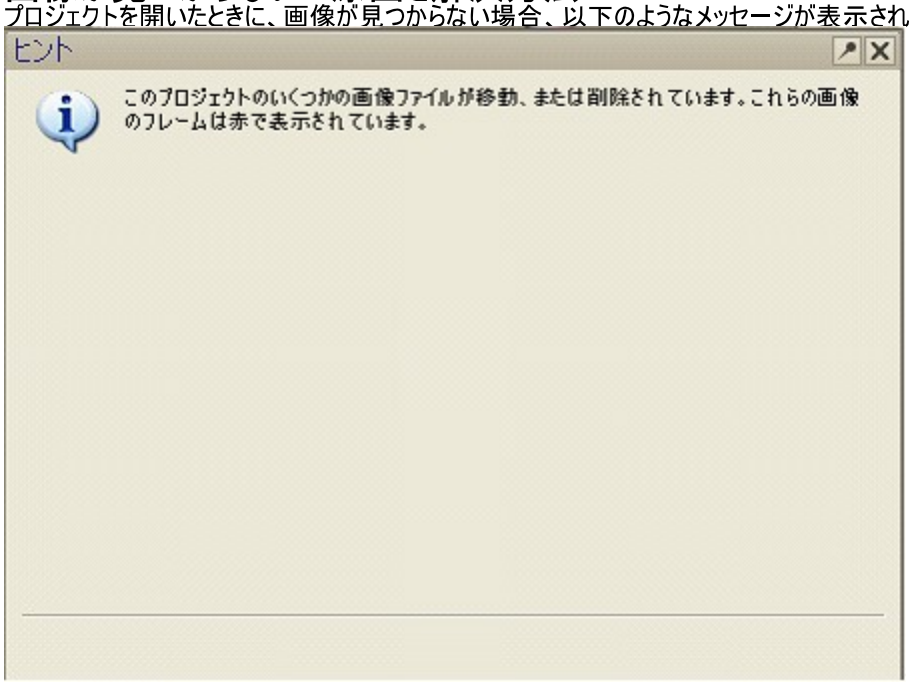
FotoFusionは、画像のレイアウトを行うためのソフトウェアであり、グラフィック編集ソフトウェアではありません。そのため、プロジェクトに画像そのものを組み込むわけではありません。FotoFusionキャンバス上に画像を挿入した場合、オリジナルの画像へリンクされている画像のサムネイルを見ていることになります。

この機能により、完成したプロジェクトの解像度を変更したい場合には、ソース画像に影響を与えることなく変更できます。

プロジェクト製作中、画像は必ず同じ場所、同じ名前で保存しておく必要があり、保存先や名前の変更は絶対に行わないでください。もし、画像挿入後に名前を変更した場合や、接続されていない外部メモリーデバイス内の画像を含むプロジェクトを再起動した場合、画像が見つからないと報告を受けるでしょう。

画像が見つからない－原因と解決方法

プロジェクトを開いたときに、画像が見つからない場合、以下のようなメッセージが表示されます。

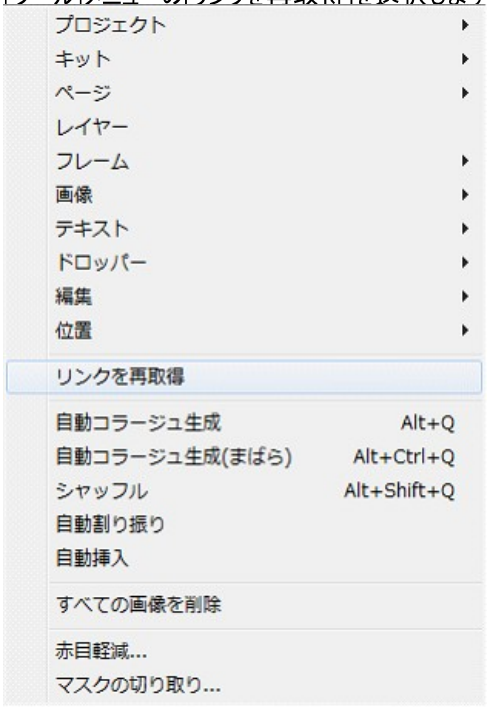


画像が見つからない主な原因

- 画像ファイルの移動、削除、名前の変更が行われた。

- ソース画像を含むフォルダー名が変更されたかフォルダーが移動された。
- 外部メモリー（USB、CD/DVD）がコンピューターから取り外された。
- プロジェクトファイル(.scrap)生成時に使用したのは別のコンピューターで、そのコンピューターのローカルドライブ内の画像へのアクセスができない別のコンピューターでプロジェクトを開いている。

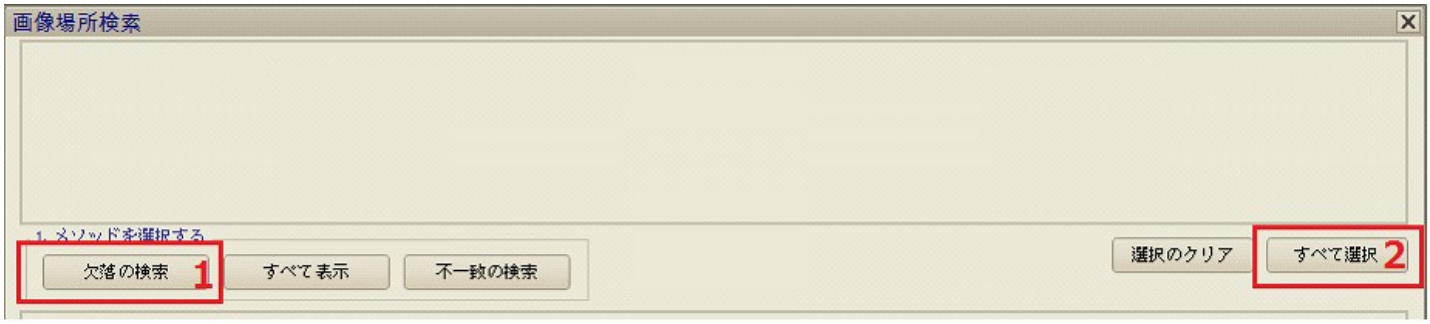
削除または名前が変更された画像のリンクを修正するには、[リンクを再取得]を使用します。
「ツール]メニューの[リンクを再取得]を選択します。



新しいウィンドウがポップアップします。以下の手順でリンクの再取得を行ってください。



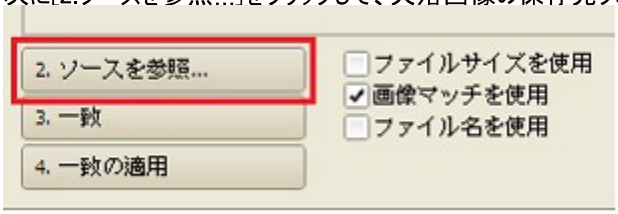
まず、[1.メソッドを選択する]の下に表示されている[欠落の検索]をクリックします。見つからない(欠落)画像のあるページのサムネイルが表示されます。
それぞれのページを選択して欠落画像を表示するか、[すべて選択]をクリックして、プロジェクト内の欠落画像をすべて表示します。



すべての欠落画像は、2段目のパネルに「一致なし」とペアで表示されます。

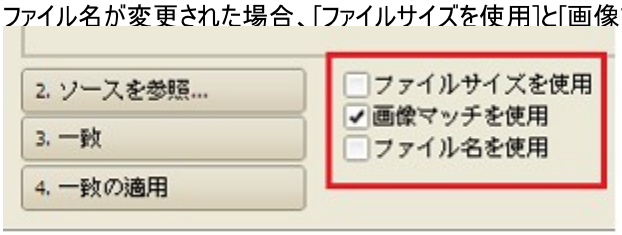


次に[2.ソースを参照...]をクリックして、欠落画像の保存先フォルダーを確認します。



ファイル参照用ウィンドウが表示されますので、画像が保存されているフォルダー正しく指定する必要があります。複数のフォルダーが対象となる場合、これ以降の手順を繰り返す必要があるでしょう。

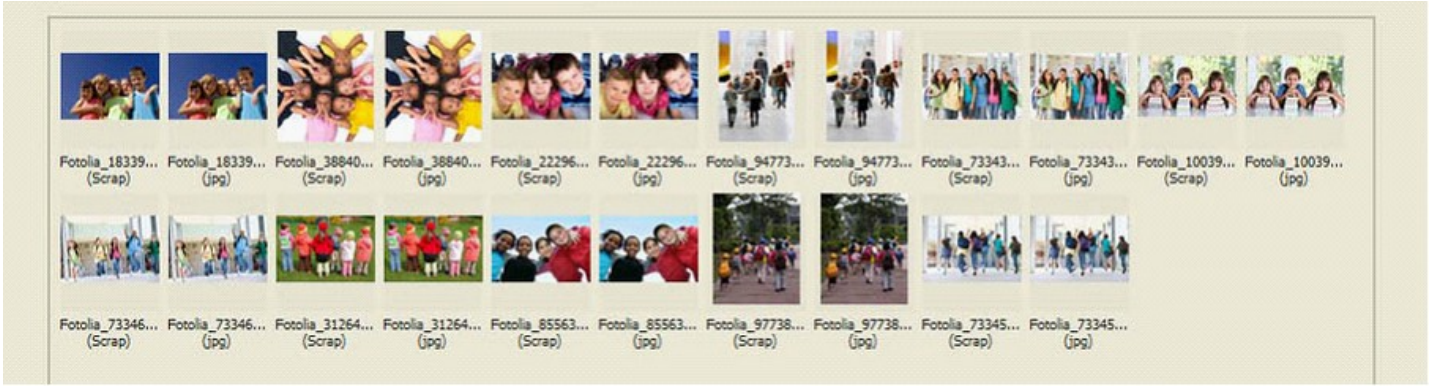
画像の照合(一致)を行う前に、画像検索のための検索条件を指定します。ファイル名が変わっていない場合、[ファイル名を使用]のチェックボックスをオフにします(チェックをはずす)。
ファイル名が変更された場合、「ファイルサイズを使用]と[画像マッチを使用]のチェックボックスをオンにします。



[3.一致]をクリックします。FotoFusionはサムネイルに一致する画像を検索してくれます。



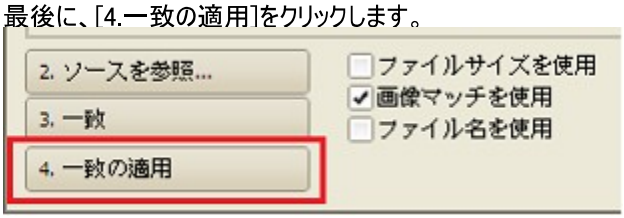
一致する画像が見つかった場合、2種類の画像が並んで表示されます。以下の例では、すべての画像に対して、一致する画像が見つかりました。



一致画像が見つかったら、右下の[すべて選択]を選択します。



画像のマッチが正しくない場合(間違った画像が隣に表示されている画像がある場合)、それらの画像の横にあるチェックマークを必ずはずしてください。
最後に、[4.一致の適用]をクリックします。



一致画像はプレビュー パネルから消えます。一致しなかった画像は残りますので、[2.ソースの参照...]からの手順をやり直して他のフォルダーから画像を探すことができます。

パスワードによる保護

パスワードによる保護を有効にするには、プロジェクトを開き、[ファイル]メニュー > [プロジェクトの管理] > [パスワードで保護されたプロジェクト]の順に選択します。パスワードと思い出すためのヒントを入力して[OK]をクリックすると、パスワード保護が有効になりますので、その後にプロジェクトを閉じます。

プロジェクトが見つからない場合

ファイルの保存先がわからない場合、Windows ExplorerまたはMac Finderを使ってファイルの保存先を特定できます。コンピューター内のFotoFusionファイル拡張子(.scrap)を探します。ストレージに外部ドライブを使用している場合、それぞれのドライブで同じ作業を繰り返し行います。
FotoFusionの[ファイル]メニューの[開く]を選択して、プロジェクトの保存先を正しく指定できていれば、そのコンピューターで作成したすべてのプロジェクトが表示されます。

□□□ □ □□□□□□□□□□ □

FotoFusionを使うと、プロ仕様の高品質なアルバム作成にかかる多くの時間を節約することができます。
FotoFusionを使ってマルチページ アルバムを作成する方法は以下の3通りあります。

1. **テンプレートを使用**: マーケットプレイスのテンプレートやオリジナルのカスタム テンプレートを使ってアルバムを簡単に追加できます。
2. **自動コラージュ機能を使用**: ソートされた複数ページのアルバムをあっという間に作成し、カスタマイズだけを行います。
3. **白紙の状態から作成**: オリジナルのアルバムを1ページずつ作成します。

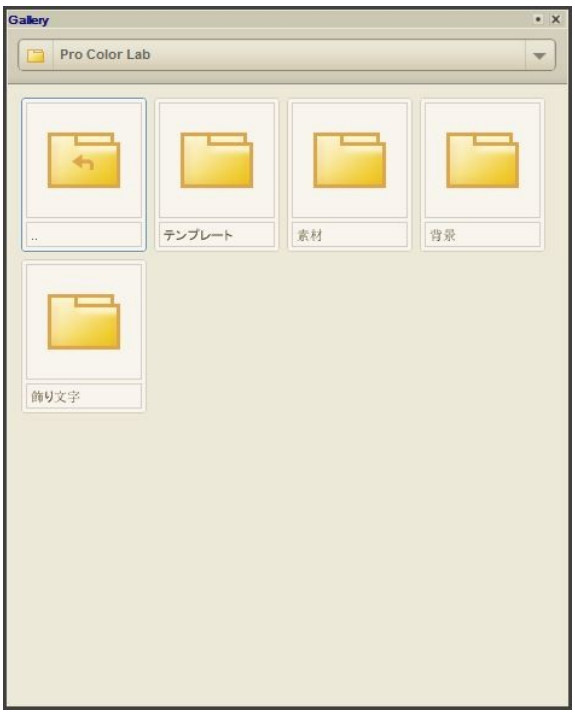
メソッド その1: テンプレートを使用

予めデザインされたレイアウトを含むフォルダーを参照するには、[ギャラリー]ボタンをクリックしてください。

右クリックでテンプレートを選択して、現在のレイアウトに追加します。

メソッド その2: 自動コラージュ機能を使用

自動コラージュ機能を使用したアルバム作成は、オリジナル作品を作るための非常に簡単な方法です。
[開始]タブ > [新規] > [自動機能で作成]を選択します。



自動コラージュ ウィザード全体に、ざっと目を通してください。イベントに関連する画像を出来るだけ多く(またはすべて)選択し、ドロッパーに追加します。

[クリエイティブ オプション]タブでは、以下の設定を行ってください。

- 複数ページ: [ページ数]は、アルバム全体のページ数から最初と最後の2ページを引いた数を設定してください。
- タイムライン/並び替え: EXIF日付で並べ替えます。カメラの時間の設定が正しいことが条件となりますが、この機能により、結婚式などの行事の進行の流れに沿って画像を配置できます。

[キャンバス サイズ オプション]タブでは、ページサイズ(10x10のアルバムの場合、設定は10x20)と[アルバムの見開き]を選択します。
「センターラインを重視」することで、製本時ののどの部分に画像がかからないようにしたり、[セーフ]や[余白]の幅を設定することもできます。アルバム製作元が提供しているプリセットを選択することもできます。

[OK]をクリックすると、ほんの数秒ですべての画像をイベントの時間の流れに沿って挿入されたアルバムを作成できます。

メソッド その3: 白紙の状態から作成

1) 画像の整理

オーガナイザーを開き、[ソース]タブを使って画像を探します。使用する画像を選択し、それらの画像をバケットに割り当てます。
画像にカテゴリー/キーワードを割り当てます。この作業は、後からアルバムを編集する場合、画像を探しやすくします。

- オーガナイザーでフォルダーをクリックして画像を表示させます。表示させる画像は撮影日ごとに表示します。
- すべての画像を選択し、識別しやすい(分かりやすい)キーワードを割り当てます。
- 幾つかの画像を選択し、イベント/テーマごとにバケットに入れていきます。

例えば・・・バケット1は結婚式の準備、バケット2は教会での新郎(出席者への挨拶)、バケット3は新婦の到着、バケット4は結婚式、バケット5は新郎新婦が教会から移動、バケット6は、カントリー倶楽部の外で行われた披露宴でのフォーマルショット、バケット7は、夕食(出席者のス

ナップ写真やケーキカットを含む)、バケット8は、ダンスとブーケトス、という具合です。

アルバムを作成
新しいページを作成し、背景の変更、背景のテクスチャまたは背景色の変更を行います。結婚式の画像を背景画像として使用することもできます。バケット ホバーをクリックして、事前に並び替えた画像にアクセスし、それをキャンバスに追加できます。テキストを追加し、グラフィック装飾をダウンロードもできます。

□ □□□□□□□□□□□□ □□□ □ □ □

レンダリングされたファイルの編集
すべてのユーザーは、レンダリングしたファイルをPhotoshopなどの画像編集ソフトウェアに直接エクスポートできます。
出力の[ファイルへ]を選択すると、作品構成を外部エディターにレンダリングできます。これにより、作品構成全体への広範囲な変更や、一部分の編集も行うことができます。

注: FotoFusion エクストリーム版の場合、ファイルを重構造のPSD形式にレンダリングでき、PhotoShopで開けます。 PSD形式では、FotoFusionコラージュ内のすべての要素がそれぞれのレイヤーにレンダリングされ、画像の色修正を個別に行うことができます。

FotoFusionで作業中に画像を編集
キャンバス内に挿入した画像を編集する場合、グラフィック エディターで直接開いて編集後にFotoFusion内の画像を自動更新するだけで、コラージュ作成を最初からやり直す必要はありません。

FotoFusionが対応していない画像編集、ほこりや傷などを取り除く必要がある場合に、この機能は便利でしょう。

FotoFusionで作業中に画像を外部エディターで開く: 右クリックして表示されるメニューの**[画像] > [外部編集] > [外部ツールで編集]**を選択します。画像のコピーを作成するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、オリジナルが保存されているフォルダーにコピーされた画像が現れます (例: D03043.jpgがオリジナルで、D03043 (copy).jpgがコピーされた画像)。[いいえ]を選択すると、オリジナルの画像を直接編集することになります。

始めて外部エディターでの編集を行う場合、[管理]を選択します。[追加]ボタンをクリックし、Windowsの[Program Files]フォルダーを表示します。使用する画像編集ソフトウェアのフォルダーを探し、そのアプリケーションを起動するための.exe または.appファイルを選択します(例: C:\Program Files\Adobe\PhotoShop\PhotoShop.exe)。

エディターを選択、ファイルの選択(ハイライト表示)が終了したら、[OK]をクリックします。指定したソフトウェアが起動し、画像を開きます。

編集を終えたら、作業を保存し、FotoFusionに戻ります。すぐに画像が更新されない場合は、キーボードのF5を押してキャンバスを再度編集します。

デフォルトのエディターの設定
外部ツールでの編集に関する設定を行う場合、[編集]メニューの[ユーザー設定]を開きます。[詳細]タブの[画像編集]セクションに、デフォルトの外部エディターに関するオプションがあります。

ドロップボックスから希望のオプションを選択します。



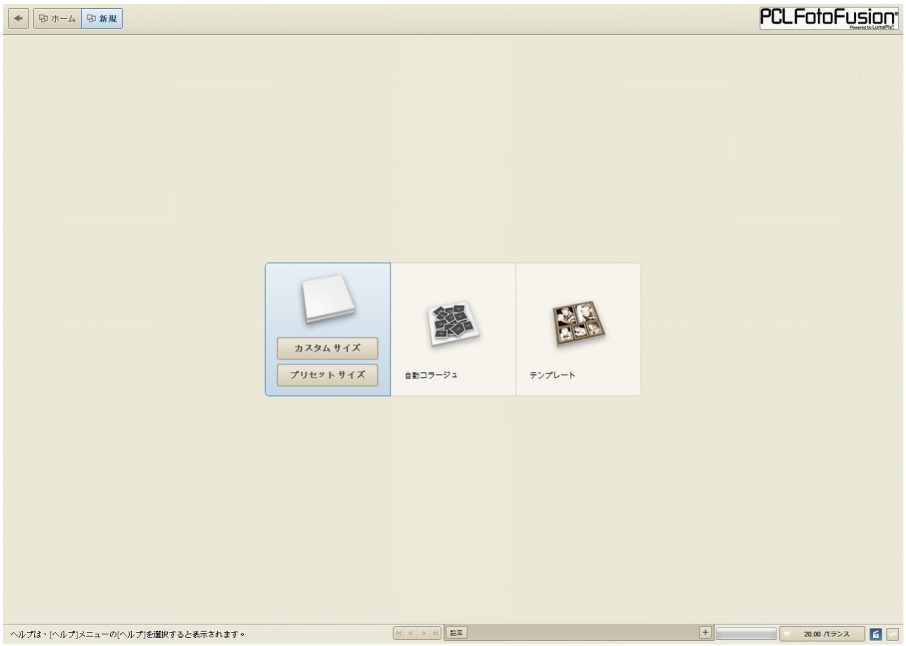
画像のコピー:
画像のコピーを作成するかどうかを毎回確認する([常に確認]オプション)こともできますが、[常にコピー]、[コピーしない]などのオプションを事前に設定することもできます。オリジナル画像の上書きを行なわない場合、[常にコピー]を選択すると良いでしょう。

デフォルトエディター:
どの外部エディターを使用するかを毎回確認する場合は、[常に表示]オプションを使用することで、1つ以上のエディターを使い分けたい場合などに便利でしょう。一方、[管理]オプションを設定し、起動するエディターの.exeファイルを事前に指定することもできます（例: C:\Program Files\Adobe\Photoshop)。

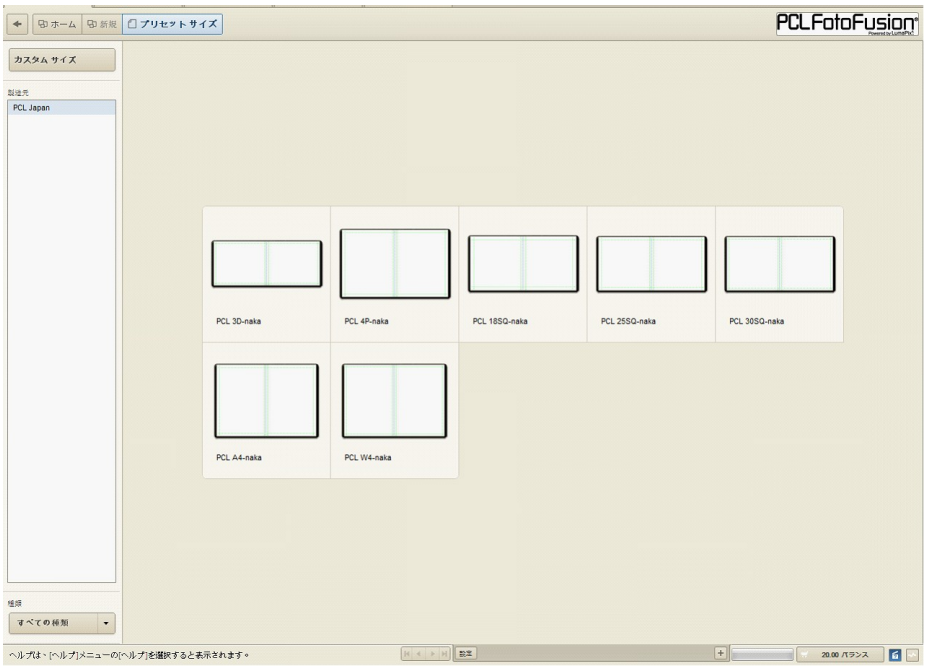
ページサイズとプロジェクトの種類

プロジェクト サイズと種類を指定

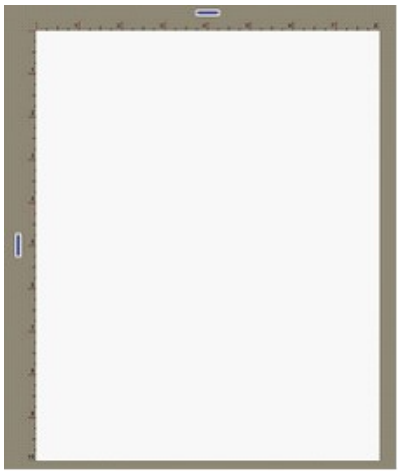
[開始]タブ>[ファイル]メニュー> [新規]の順に選択し、利用可能なプロジェクトの種類とページのサイズを選びます。1つのプロジェクトに複数の異なるページサイズが存在することもあります。例えば、アルバムの場合、片面、見開き、表紙、など使うことができます。
新規プロジェクト作成の際、[プリセット サイズ]で事前定義されたプロジェクトを選ぶか、[カスタム サイズ]でスペックに応じた空白ページのプロジェクトを選択します。



[プリセット サイズ]を選択した場合、一般的な/普遍的な形式とLumaPixにサイズを提供している出版業者が指定する形式が一覧表示されます。一覧からサイズを選択すると、[作成]タブでそのサイズでのページが開きます。



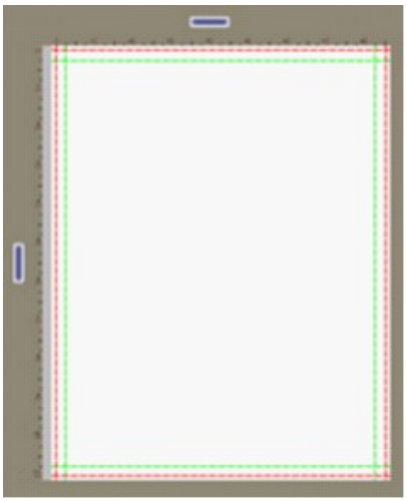
ページの種類



シートは、本の一部ではない、1枚の紙を意味します。
ページの上部と左側に小さな青いハンドルがあり、このハンドルをドラッグすることにより、サイズを変更できます。

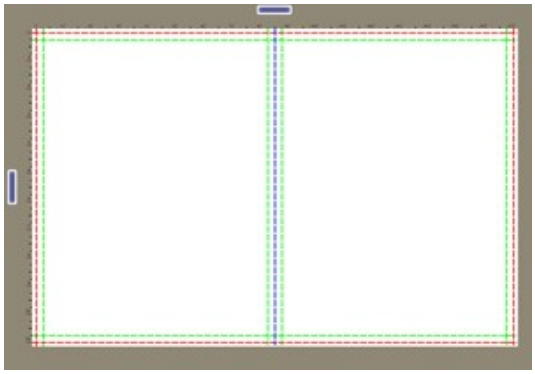
複数ページのプロジェクトの場合、綴じる部分の位置が表示されますので、通常シートは使われません。

注: エンハンスド版ユーザーは、13x19以内のサイズの単一ページ(シート)のプロジェクトのみ作成可能です。



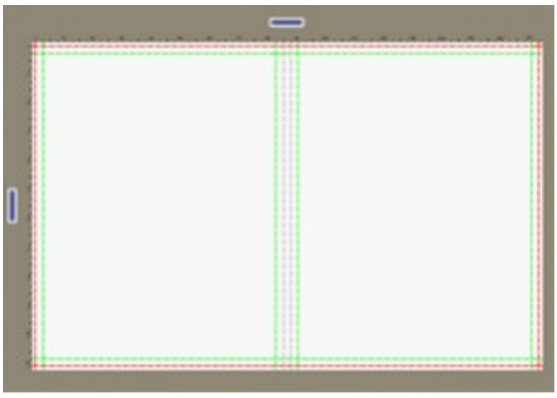
[**アルバムの片面**]は、複数ページプロジェクトのうちの1ページを指します。ページ端のグレーの帯は、製本時にそれぞれのページを綴じる（合わせる）部分を表しています。アルバムの片面で編集している場合、このグレーの帯がどちらにあるかで**左側のページか右側のページ**か判断します。

右の例のようにページ端の周囲に**赤や緑の線**があるかもしれません。詳細については、「補助線」の項目をご覧ください。
赤い線は、「余白」ゾーンを指しており、印刷後に切り取られる部分を表しています。**緑の線**は、「セーフ」ゾーンを指しており、大事なコンテンツが切り取られないように配置するためのガイドラインとなっています。緑の線を大きくはみ出してテキストや画像(顔の部分)を挿入しないよう注意してください。



アルバムの見開きは、見開きの2ページ分が1枚として表示され、真ん中に製本時ののどとなる部分が表示されています。単色または画像を、見開きの両ページの背景として使用できます。

中央の緑色の線に注意してください。製本により、見えなくなる部分ですので、大事な文字や画像を配置しないよう注意してください。



カバーには、中央に本の背になる部分が含まれており、本のタイトルを入力できます。2本のグレーのライン内に入力します。カバーは開いた状態で表示されています。左側が**背表紙**、右側が**表表紙**になります。
カバーの場合、折り込み部（ハードカバーの本のカバー）も作成できます。
カバー作成時の注意点:カバーのサイズは、本の厚さと関連があります。ページ数が多い場合や分厚い紙を使用する場合、カバー（本の背）の幅も大きくなります。

ページやプロジェクトのサイズ変更

複数ページのプロジェクトは、何回かのクリックだけという簡単な操作ですべてのページを一度にサイズ変更できます。

[作成]タブで作業中に、プロジェクトまたは作業中のページのサイズを変更する場合、キャンバス以外の領域をダブルクリックします。すると、[キャンバス設定]エディターが表示されます。

[ページ]セクションでは、ドロップボックスからページの種類を、そしてサイズの高さと幅を設定できます。
高さと幅の間にある[x]をクリックすると、高さと幅の値を反転させることができます。
[サイズ変更]チェックボックスをオンにすると、メモリーのある部分に2つの青いハンドルが表示されます。これらのハンドルをドラッグすることで、サイズ変更ができます。



[フォームファクター]は、現在選択している製品名が表示されます。
新しいプロジェクトの種類を選択するには[変更]をクリックし、[プロジェクト種類]、[製造元]、[製品](サイズ)をそれぞれのドロップダウンリストから選択します。
オリジナルのサイズを作成する場合は、[管理]を選択します(詳細は「カスタム プリセット」を参照)。
[削除]は、ページサイズなどは残したまま、プロジェクト種類と製造元の設定を削除します。



[印刷範囲]セクションでは、[セーフ]、[余白]などの補助線の追加や変更を行います。それぞれの最初のボックスに数値を入力し、>>をクリックすると、その数値が四方のサイズにも適用され、ボックスに自動的に入力されます。四方の値にそれぞれ異なる値を設定することもできます。

[フレームに合わせる]にチェックを入れた場合、レイアウトを新しいキャンバス サイズに合わせて変更できます。

ページのサイズや種類の変更が終了したら、[このページに適用]、または[フォームファクター更新(すべてに適用)]を選択します。

補助線



セーフ補助線とは、キャンバス上の緑の線のことです。この線は、印刷された作品やレンダリングしたファイルには表示されません。大事なコンテンツはこの緑の線の枠内に収まるよう配置します。

セーフ枠内での作業より、キャンバスのエッジ部分ギリギリできり落ちされたり、製本によって損なわれたりしないよう守られます。自動コラージュツールはこのセーフ補助線を重視して、画像の周りに魅力的な枠を生成することができます。

セーフ補助線の外にテキストを移動さえることもできます。例えば、シャッフル機能を使用したときや見開きの中心部分をテキストが横切っている場合などが当てはまるかもしれません。

自宅のプリンターで印刷する場合でも、セーフ補助線を追加してページのエッジに余白のある魅力的なレイアウトを作成することもできます。

セーフ補助線は、キャンバス設定エディターで追加するか、印刷業者のプリセットを使用の場合はすでに設定されているかもしれません。



余白補助線とは、キャンバス上の赤い線のことです。この線は、印刷された作品やレンダリングしたファイルには表示されません。

余白領域は、印策処理で切り取る部分を付けたすことになるため、ページ全体のサイズを大きくなります。余白補助線は、仕上がり時の裁断線と同じになります。

一般的に、この余白補助線は、依頼する印刷業者から指定があった場合やご自分のスタジオ設備状況で必要と判断される場合に使用します。ご自宅のプリンターでの印刷や写真屋さんにデータを送る場合は、必要ありません。



グリッド補助線は、キャンバス上だけでのオプション設定で、ページのレイアウトを行うための目安として活用できます。
設定を行うには、キャンバス以外の領域で右クリックし表示されるメニューの[表示] > [グリッドの設定]を選択します。

[グリッドの適応]をクリックすると、フレームがグリッド線に磁石のように惹きつけられるようになります。[グリッド線の表示]をチェックすると、グリッド線がキャンバス上に表示されます(注: グリッド線は、レンダリングされた/印刷したプロジェクトには表示されません)。
R、G、Bの各スライダーを調整して、グリッド線の表示を編こうできます(例: 背景が薄い色の場合、濃い色を設定するといいでしょう)。**縦(V)と横(H)の間隔**は、インチで表示されますが、単位を自由に変更できます。

カスタム プリセット

FotoFusionには、業者が作成したプリセットや一般的に良く使われているサイズの一覧が表示されます。良く使うカスタム ページサイズがある場合は、オリジナルのプリセットを作成することもできます。

カスタム プリセットの作成は、[フォームファクターの管理]から行います。キャンバス設定画面の 管理... ボタンをクリックするか、キャンバス領域以外で右クリックした際に表示されるメニューの[プロジェクト] > [フォームファクターの管理]を選択します。



新しいプロジェクトを作成する場合は[新規作成]をクリックします。1つのプロジェクトにページの種類が1つだけとは限りません。プロジェクトの種類を指定します(アルバム、シート、デジタルなど)。新しいプロジェクトの名前を入力します。

ウィンドウ上部のプロジェクトの種類、製造元、製品は自動的に指定されます。

[ページの説明]セクションでは、製品に1ページ(以上)追加できます。[新規作成]をクリックして、ページの種類を追加します。例えば、カスタム アルバム　プロジェクトに、アルバム片面と両面を追加することができるでしょう。
ページの種類、幅と高さ、印刷範囲なども必要に応じて設定し、新しいプリセットを**保存**します。

ページの追加に加え、既存のプリセットの削除や名前の変更を行うこともできます。

プリセットは[ユーザープリセット]の項目に表示されるようになり。新規/既存プロジェクトに使用できます。

□ □ □□□□□□□□□□□□□ □

作成]タブの 

ボタン上にマウスを移動し、複数ページのプロジェクトを管理するためのコントロールを開きます。このウィンドウをキャンバスに固定するには、ウィンドウの右上にあるピンアイコンをクリックします。



新規ページを追加する場合、左上のアイコンをクリックします。作業中のプロジェクトが異なるいくつかのページサイズを使用している場合(アルバム片面、両面、カバーなど)、サイズを選ぶことができます。



右上の**挿入**ボタンをクリックすると、別に保存されているプロジェクトやテンプレート、新たに作成する自動コラージュなどを作業中のプロジェクトに挿入できます。



ページを**上下**に移動させることができます(上下の矢印を含むボタン使用)。



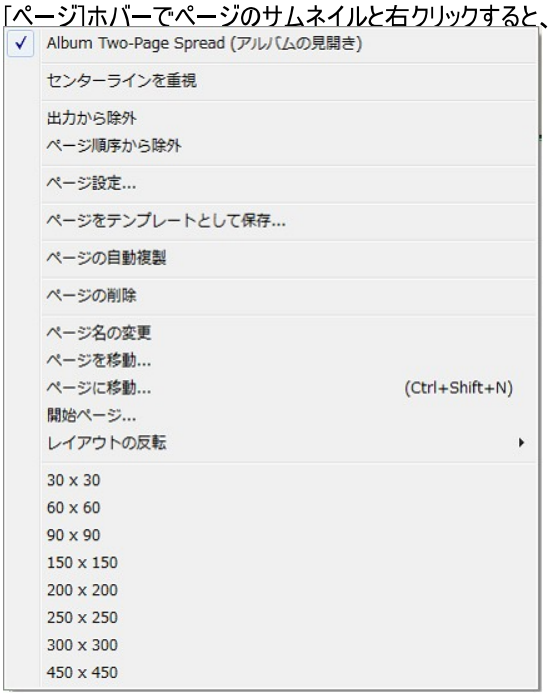
プロジェクトからページを削除する場合、[ページ]ホバーで該当ページを選択し、**削除**アイコンをクリックします。



ページを**複製**(コピー)できます。ページのレイアウトを複製することで、プロジェクト内でレイアウトを簡単に再利用できます。



[ページ]ホバーでページのサムネイルと右クリックすると、そのページに関するオプション メニューが表示されます。



ページの種類を変更でき、[アルバムの片面]の場合は、左側か右側かの変更もできます。現在のページの種類にチェックマークが表示されます。[アルバムの片面]の場合、さらにどちら側か(右ページか左ページ)にもチェックマークが表示されます。

[ページ順序から除外]を選択すると、完成プロジェクトのページ番号を付ける際に、開いているページを飛ばすことができます(手順書や指示書のページなど)。ページ番号をふる際に、カバーのページは自動的に飛ばされ、ページ数には含まれません。

[ページ設定...]を選択すると、[キャンバス設定]エディターが開き、サイズなどの変更ができます。

[ページをテンプレートとして保存...]は、他のプロジェクトに再利用できるよう、単一ページのテンプレートとして保存します(画像コンテンツの有無は任意で指定)。

[ページの自動複製]は、自動挿入ツールと共に使用した場合に、未挿入の空のテンプレートを自動挿入テンプレートに変更できます。詳細は、「自動ツール」を参照してください。

[ページの削除]は、名前の通り、プロジェクトから選択ページを削除します。

[ページ名の変更]は、[ページ]ホバーで表示されるページ名を変更します。最終出力や印刷には影響しません。**[ページを移動]**を使うと、ページを特定の位置に移動できます。例えば、プロジェクトの最終ページを3ページ目に移動します。
[ページに移動]を使うと、プロジェクト内の特定のページにすぐさま移動できます。[開始ページ]を使って、プロジェクトの最初のページを指定できます。これは、セクションごとの複数のプロジェクトからなるプロジェクトの作業には便利でしょう。

[レイアウトの反転]は、ページの自動反転、つまり左側のページから右側のページに切り替えたときに、余白の位置などを考慮してコンテンツを自動的に反転させます。一般的に、イヤーブック パネル ページ作成の場合には、この機能を無効にしておくことが推奨されます。選択ページを水平軸または垂直軸で反転させることもでき、テンプレートを再利用する場合に便利です。画像も反転させるか

どうか選ぶことができます。画像も反転させた場合、ミラー効果により左右が逆転します。

作成: 画像/テキスト フレーム

クリエイティブな作業はすべて[作成]タブで画像やテキストをキャンバスに追加することで行います。キャンバスをワークスペース、1枚の紙(シート)だと思ってください。画像やテキストはフレームの中に配置され、表示部分などのサイズ変更が可能なウィンドウのようです。

フレームとは

それぞれの画像やテキストはフレームの中に配置されます。画像をキャンバスに移動する場合、実のところ、フレームを移動していることになるのです。フレームはその中にある画像やテキストを引き連れて移動したり、サイズを変えたりします。



キャンバスに表示される画像は、画像に組み込まれているフル解像度の画像ではありません。 FotoFusionキャンバス上の画像を編集、変更、削除することはできません(例外: 赤目軽減ツール)。FotoFusionキャンバスに表示されている画像は、低解像度の画像(サムネイル)であり、オリジナルのファイルにリンクされています。

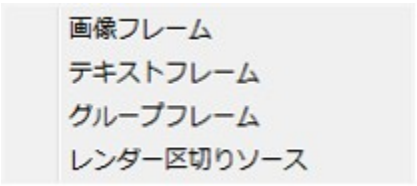
FotoFusionがプロジェクトの最終版を作成する(ファイルへのレンダリング、パブリッシャーにアップロード、印刷する)場合、各ページ内のオリジナル画像から足りない情報をすべて収集することで、高品質な出力を作成します。

空のフレームを追加

キャンバスに画像をドラッグアンドドロップすることで、画像フレームは自動的に追加されます。
まずレイアウトを決めるために、空のフレーム(テキスト/画像)を追加し、レイアウトが決まってから画像を挿入したり色やテクスチャを追加したりする方法もあります。

キャンバスに空のフレームを追加する方法

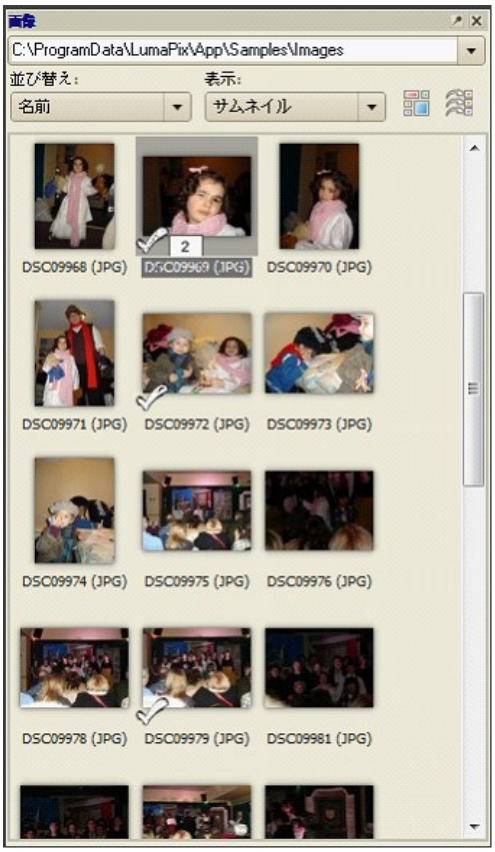
- ツールバーの  ボタン(空のフレーム作成ボタン)をクリックします。



- または、キャンバス上で画像フレームの場合はFキー、テキスト フレームの場合はTキーを押したまま、マウスをドラッグします。青い長方形が表示されます。マウスから指を放すと、新しいテキスト/画像フレームがそこに追加されます。

ページに画像を追加

画像フレームの挿入方法は、空のフレームとして挿入し、後から画像を挿入する方法で追加するか、キャンバスに直接画像を挿入して追加するかのいずれかです。画像はデフォルトのフレーム スタイルで表示されます。



メソッド 1:[画像]ホバー

キャンバスに画像を挿入する最も簡単な方法は、画像 ホバーを使用することです。

ボタンをクリックして、画像の保存先を指定します。[画像]ホバーには、そのフォルダー内の画像が表示されます。使用する画像を選択します(複数ある場合は、Ctrlキーを押しながらします)。

[画像]タブに画像を追加すると、画像ホバーにチェックマークが表示されます。

同じ画像をキャンバス上に何度でも挿入できます。
複数回使用している画像については、[画像]ホバーにチェックマークと共に使用回数も表示されます。

[画像]ホバーの画像(1枚またはそれ以上)を選択し、キャンバス上にドラッグします。画像はカーソルにくっついて動き、ドロップできる状態になります(これをドロッパーと呼びます)。



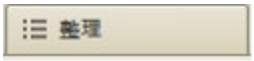
マウスホイールを使って画像をスクロールし、キャンバスをクリックして、画像をドロップします。Deleteキーを押すと、ドロッパー内の画像が削除されます。
画像は、キャンバス上の空きスペースや空きフレームにドロップできます。
画像をキャンバスの背景として使用するには、キャンバス外のグレーの領域に画像をドロップします。

ドロップした画像は、**フレーム間で入れ替える**ことができます。

入れ替えたい1つの画像のフレーム番号上にマウスを移動させます(例: )。
フレーム番号をクリックします。
入れ替えたいフレームにマウスをドラッグします。
マウスの指を離します。

2つの画像は入れ替わります。

メソッド 2:[整理]タブとバケット



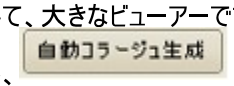
タブは、[ソース]タブへのアクセスを可能にし、ローカルドライブ内の画像を表示することができます。ご自分で撮ったスナップ写真を探す場合、このタブを使って画像が保存されているフォルダーを探し、1つまたはそれ以上のフォルダーをチェックします。選択したフォルダー内の画像のサムネイルがプレビュー領域に表示されます。[並び替え]、[表示]オプションを変更して、画像の表示順や表示方法を変えることができます。



注: 上位ディレクトリーをチェックすると、含まれているサブディレクトリー内の画像は表示されません。ルート ディレクトリー内のすべてのサブディレクトリーを選択するには、Ctrlキーを押しながらチェックボックスをクリックします。すべてのチェックを解除するには、押したまま繰り返しクリックします。

プレビュー サムネイルのサイズを変える場合、Ctrlキーを押しながらプレビュー領域をクリックし、マウスホイールを回転させます（または矢印キーの上下を使用）。マウスホイール操作の変更は、[編集]メニューの[ユーザー設定]で行います。

プレビュー領域で可能な操作

- 画像をダブルクリックして、大きなビューアーでプレビューを表示
- 複数の画像を選択し、

でキャンバスに挿入
- 画像（1つまたは複数）のプロパティでキーワードを追加することにより、後でキーワードによる検索が可能になります。
- [バケット]タブに画像をドラッグ（またはバケット番号を入力）し、画像を使用用途や優先順位で分類できます。

□□□□□□□□□ □ □□ □ □

追加した画像を選択すると、以下の2つの点に気が付かれるでしょう。



1) 画像フレームの枠の部分に青と黄色の操作用ハンドルが表示されます。これらのハンドルを使って、サイズ、形、位置の変更、拡大/縮小を行います。

2) 画像の横には、ツールボックスが表示されます。ツールボックスからは、フレームや画像に適用できる数多くのオプションへアクセスできます。

フレームのサイズを変更する(複数フレームを一度に変更することも可能)場合、フレームを選択し、サイズ変更用ハンドル(青/黄色)の上にマウスを移動させます。マウスをクリックしたまま、ドラッグして、大きさを変更します。
四隅にある青のハンドル を使うと、幅と高さを同時に変更できますが、内側にある黄色のハンドル はどちらかを1つずつしか変更できません。
注: 画像フレーム(jpg画像など)はハンドルが8つ表示されます。しかし、スクラップ要素フレーム(クリップアートやpng組み込みグラフィックなど)には、ハンドルが4つしか表示されません。これらの画像は本来の比率が常に維持されるため、フレーム内の切り取りができません。

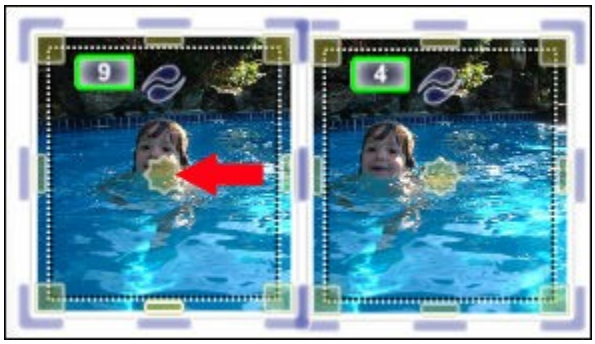




画像のパン、つまりフレーム内で画像を移動させる場合は、

画像の中心にある (パン ハンドル)上にマウスを移動させます。

マウスをクリックしたまま、画像が希望の位置に移動するまでドラッグします。希望の位置までドラッグしたら、マウスの指を離します。



フレームを回転させる場合、フレームを選択し、

(回転ハンドル)の上にマウスを移動させます。マウスをクリックしたまま、ドラッグします。マウスをドラッグする方向に、フレームは回転されます。希望の位置まで回転したら、マウスの指を離します。ドラッグを中止するには、Escキーを押します。回転させる際、Altキーを押しながら行うと、45度ずつ回転させることができます。

画像を90度回転させる場合は、フレームを右クリックし、表示されるメニューの[画像] > [回転]を選択します。



Kent Smith撮影

フレーム内で画像を回転(**スピン**)する場合は、Ctrlキーを押しながら、フレームの回転ハンドルをドラッグします。



切り取り(ズームイン/ズームアウト)を行うには、内側の黄色のハンドルをドラッグします。
注: 切り取りハンドルは、クリップアートやpngファイルには表示されません。



キャンバス上にあるフレームであれば、フレームの**複製**(Ctrl + Dキー)、コピー(Ctrl + Cキー)、**貼り付け**(Ctrl + Vキー)、**切り取り**(Ctrl + Xキー)、**削除** (Deleteキー)ができます。
キャンバス上のフレームは、フレーム選択後のドラッグで新しい位置に移動できます。選択フレームがある場合に、**矢印キー**を使用した場合にも、フレームが移動します。移動先をより詳細に調整したい場合は、Shiftキーを押しながら矢印キーを使って操作します。

複数のフレームを同時に選択でき、選択したすべてのフレームを一気に変更できます。
- 投げ縄ツールを使って複数のフレームを囲うように選択します。
- 1つのフレームを選択後、Ctrl + Aキーで似た種類のフレームをすべて選択
- Ctrlキーを押しながらフレームをさらに1つずつ選択することで、フレームを追加



フレームを移動またはサイズ変更した場合、最寄りのフレームのエッジに自動的に揃えられます。これにより、綺麗に並んだ画像のコレクションが出来上がります。磁石のようにひきつけるこの効果は、他のフレームと接する縦または横のいずれかのエッジであればどこでも適用されます。1つのエッジに複数の画像が接している場合、共通のエッジに同時に変更を適用できるよう操作を可能にします。つまり、メモリーの共通エッジの位置に当たる部分に、**スナップ**(ドラッグ可能なコントロール)が表示されます。

フレームの種類を変更するには、フレームを右クリックし、[画像]>[種類]を選択します。
フレームのアスペクト比を固定するには、フレームを選択してAキーを押します。

まとまった画像/テキストのサイズ変更や移動

複数のフレームの位置関係を変えることなく、一度にサイズ変更することもできます。キャンバス内の複数の画像を選択し、キーボードのGキーを押すか、右クリックして表示されるメニューの[位置] > [グループ化]を選択します。

一例として、ここに自動コラージュ機能を使用したキャンバスがあります。



すべての画像を選択し、キーボードのGキーを押してグループ化します。選択範囲(画像全体)に対して1つのハンドルが表示されます。



ハンドルを使って、選択範囲(画像全体)のサイズを変更したり、回転ハンドルを使って位置を変えたりします。



グループ化を解除するには、右クリックして表示されるメニューの[位置] > [グループ] > [グループ解除]を選択するか、キーボード ショートカットのCtrl + Shift + Gキーを使用します。

ツールボックス

キャンバス内の画像フレームを選択すると、ツールボックスが表示されます。ツールボックスを使用してできることは以下の通りです。

- 選択要素をインタラクティブに編集
- 詳細な設置を行うためのコントロールを含むエディターを開く
- フレームの順番、回転、分割、テキストの追加、その他の機能へのアクセス



インタラクティブな編集
ツールボックス内のほとんどのコントロールは、インタラクティブにドラッグし、オンザフライでの調整が可能です。ツールボックスのアイコン上にマウスをのせ、マウスをクリックしたままドラッグすることで設定を変更できます。

以下に挙げる例では、画像が選択されています。ツールボックスの枠にマウスを移動させ、マウスをドラッグすることで枠の幅が変化します。ご希望の幅になったところでマウスの指を離すと、設定が適用されます。



Image by David Ziser

コントロールの中には、左右、上下の両方にドラッグして設定を変更できるものもあります。
ツールボックスからエディターを開く
ツールボックスのコントロールをクリックすると、編集可能で詳細なパラメーターを含むエディターがポップアップ表示されます。



1. 画像: 画像そのもののプロパティを変更できます。アイコン上でドラッグすることで、明るさ、コントラスト、ガンマを変更できます。クリックすると、画像エディターが開き、さらに多くのオプションを設定できます。
2. *枠*: フレームの形や枠のプロパティを変更できます。アイコン上でドラッグすると枠の幅を変更でき、クリックするとエディターが開きます。
3. *影*: 影のプロパティを変更できます。アイコン上をドラッグしてぼかし、オフセットなどを変更でき、クリックするとエディターが表示されます。
4. 配置/揃える: クリックすると揃えるツールが開き、エッジ/センターポイント/他のフレームとの関連においてキャンバス内でのフレームの位置を設定できます。
5. 分割ツール: 1つのフレームを等間隔に分割することができます。アイコン上をドラッグしてフレームを分割する行数や列数を設定できますが、クリックしてエディターでより詳細な設定を行ったり、モザイク オプションを有効にしたりできます。
6. テキスト: 選択フレームに付随するテキストを追加できます。
7. 方向: フレームの回転や反転を行います。
8. ツール: 赤目軽減ツールやマスク ツール(エクスとリーム版のみ)へアクセスできます。
9. *削除*:選択フレームを削除します。

画像エディター

画像エディターでは、フレーム内の画像に関する設定の変更を行えます。

キャンバス内のフレームを選択し、ツールボックスから画像エディターを選択します。



画像エディターの[全般]タブに含まれているコントロールは以下の通りです。

- **不透明度**: 画像の透明/不透明の度合いを設定できます。
- **アングル**: フレーム内で画像を回転させることができます。例えば、傾いた画像の修正、グラデーションマスク内の画像の修正などに使用できます。この効果は、Ctrlキーを押しながら、フレーム回転ハンドルを使って画像を回転したときにも得られます。
- **明るさ**: 全体的に画像を明るく/暗くします。キャリブレーション(校正)されたモニターを使用していない場合は、画面上での状態と印刷した状態で違いが生じてしまいますので、ご注意ください。
- **コントラスト**: コントラストを強くすると、影が濃くなり、明るい部分がより明るくなります。
- **ガンマ**: ガンマを変更すると、相互の関連性を元に、コントラストと明るさが調整されます。
- **ぼかし**: ぼかし効果によって、キャンバスに奥行きが感じられるようになります。背景画像をぼかすことにより、画像の前に1枚覆いがあるように感じるのです。
- **モノクロとセピア**: それぞれのスライダーを動かして、効果の度合いを設定します。スライダーを右に移動させると、再度が下がり、年代を感じるモノクロ/セピア調の画像になります。
- **RGB**: R、G、Bの各スライダーを変更することで、画像内の色を直接変更できます。これらのコントロールは、画像の赤、緑、青の色カーブを補っています。



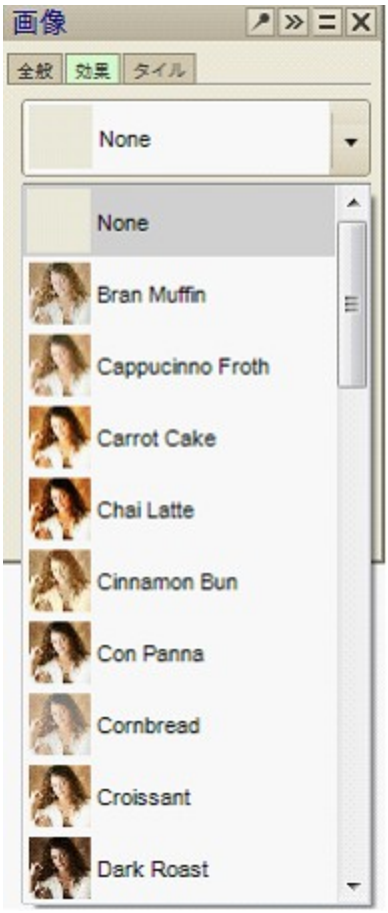
Image by David Ziser

[「画像をここにドロップ」を表示]チェックボックスをオフにすると、空のフレームが生成でき、色つきブロックとして役に立ちます。



[効果]タブ

[効果]タブには、様々なブレンド モードが用意されており、画像をユニークかつ綺麗に加工できます。画像ブレンド モードは、1枚の画像に適用することもできますが、キャンバスに混ぜ込むこともできます。ブレンドモード効果により、ソース画像に影響を与えることはありません。彩度や他のプロパティが画像そのものや画像の下の背景画像に影響を与えるのに対し、ブレンドモード効果は、見えないオーバーレイとして扱われます。



効果のプリセット

エクストリーム版をお使いのユーザーであれば、画像をワンクリックで変換可能なプリセットが利用できます。キャンバス内の画像を選択し、画像エディターの[効果]タブのドロップダウンメニューからさまざまな効果をお試しください。



Image by Kent Smith

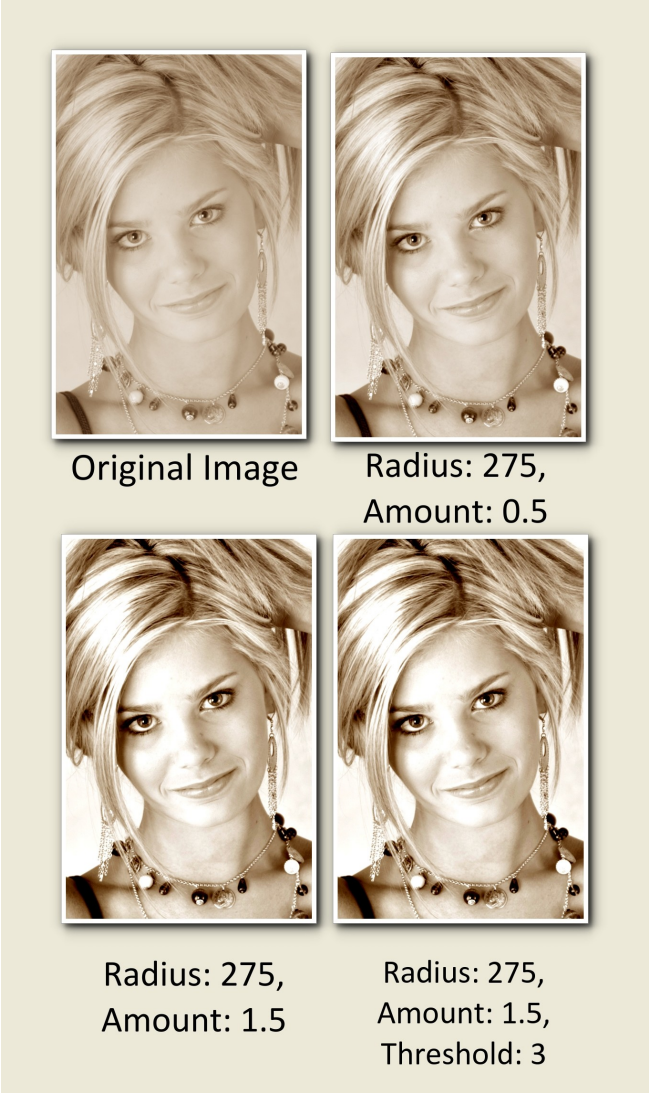
カスタム効果

効果は、アンシャープ マスク、画像ブレンド、背景ブレンドの3種類に分かれています。
エクストリーム版のユーザーは、オリジナルのブレンドモードを作成できます。可能性は無限です!

アンシャープ マスクは、画像をより際立たせる強力なツールです。名前の印象とは少々異なるかもしれませんが、際立たせるとは、ピンぼけ画像の詳細をレストアすることを指しているわけではありません。むしろ、画像内の明暗のコントラストの違いに注目します。

[シャープ]の値を上げると、適用される効果も強くなります。明るい部分がより明るく、濃い部分はより濃くなることに気がつくでしょう。
[量]は効果の強度、[しきい値]は、コントラストが異なりる隣り合うピクセルとの相互作用に影響します。





注: ファイルを損なわないFotoFusionのシャープ効果を使う場合は、他の画像編集ソフトなどで同様の作業を事前に行わないでください。シャープ効果を適用しすぎると、不要なアーティファクト(中間生成物)が生成されてしまいます。推奨される設定として、[シャープ]は100～300の間、[量]は1～5の間、[しきい値]は画像に応じたものにします。

注: アンシャープ マスク適用時は、サムネイルサイズの画像を拡大して作業することにより、適用し過ぎることを防げます。

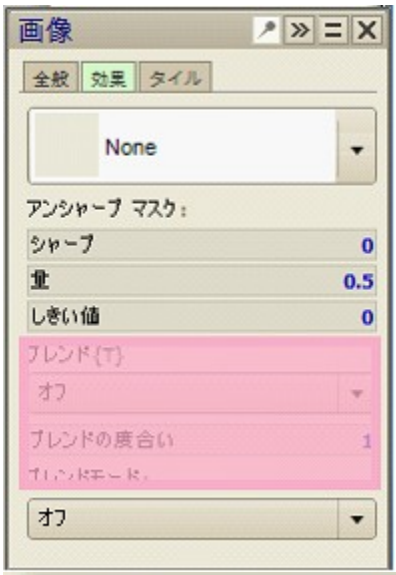
アンシャープ マスクの有効な活用法としてよく知られているのは、「デフロスト(曇り除去)」です。このための設定は、[シャープ]を200、[量]を0.5になります。エッジのコントラストが強調されるので、全体的にコントラストの強い画像を作り出すことができます。

デフロスト(曇り除去)技術は、白黒画像に非常に効果的だといわれています。

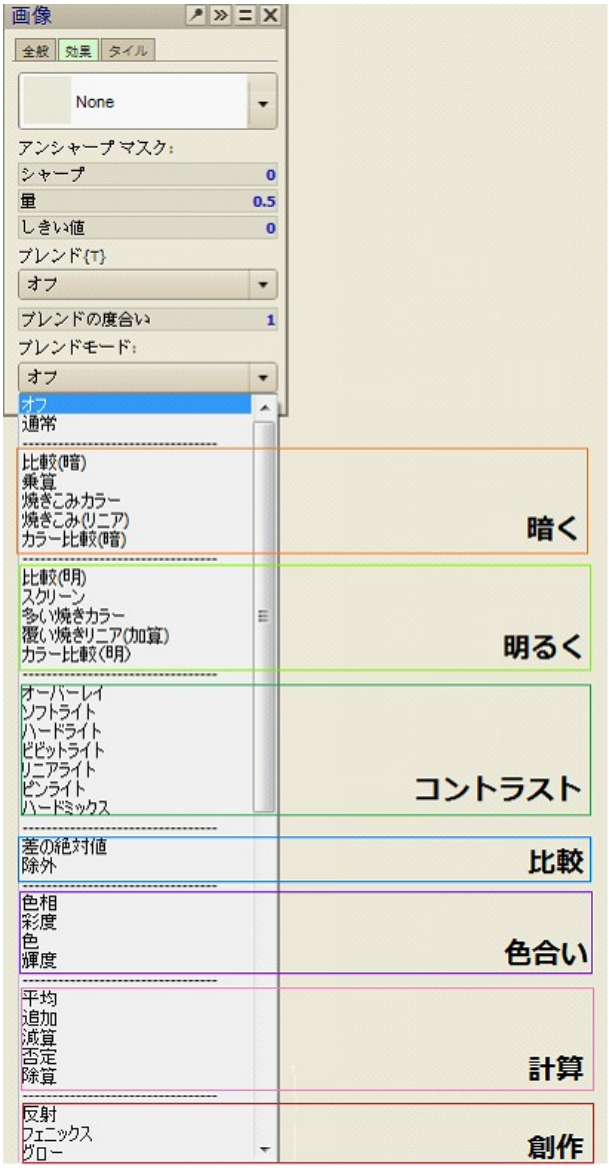
画像ブレンドは、画像そのもののブレンドモードを設定します。画像の上に同じ画像を複製して重ねる(ブレンドさせる)というモードです。効果は、上に重ねた画像に適用されます。

[量]スライダーは効果レイヤーにのみ影響し、ソース画像とどのようにブレンドするかが変わります。

注: 画像ブレンドをオフにする場合、[通常]ではなく、必ず「オフ」に設定してください。


画像
全般
効果
タイル
None
アンシャープ マスク:
シャープ
0
量
0.5
しきい値
0
ブレンド(T)
オフ
ブレンドの度合い
1
オフ


Original
Screen
Hard Mix
Hard Light



画像フレームが空の場合、空のフレームの背面にある画像に対して画像ブレンドを適用できます。旧バージョンでは、[画像背景をソースとして使用]というオプション名でした。これは、レイアウトの特定の領域に効果を適用することを可能にします。空の画像フレームにマスクを追加することによって、効果を挙げることができるでしょう。



背景ブレンドでは、フレームが背景とどのようにブレンドするかを設定します。このメソッドは、テクスチャをキャンバス上の画像(1つまたはそれ以上)とブレンドさせる場合に非常に効果的です。
画像の上部レイヤーは透過されませんので、効果の不透明度を下げるには、画像エディターの[全般]タブの[不透明度]スライダーを使用します。



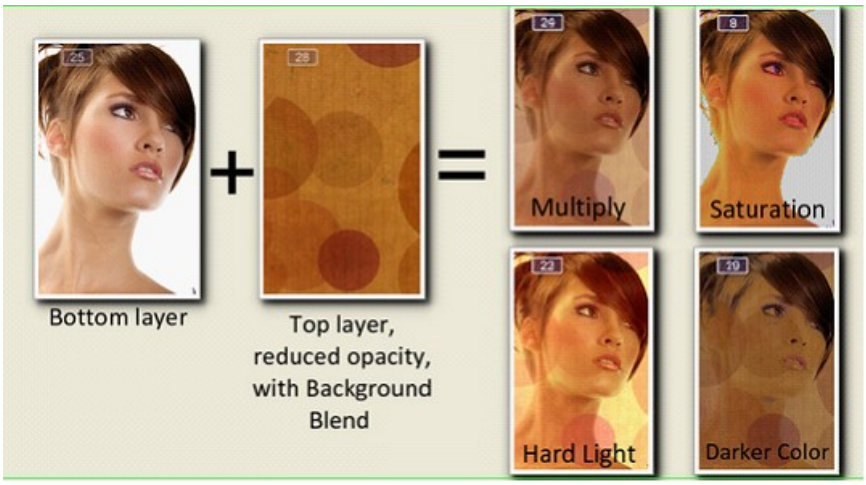


Image by Stephen Eastwood

以下のソフト フォーカス効果をお試しください。

- キャンバスに画像をドロップ
- [画像]メニューの[効果]を選択
- 画像ブレンドを[通常]に変更
- ブレンドの[量]を0.6に変更
- [画像]エディターの[全般]の[ぼかし]の値を増やす

ぼかしとブレンドの量を微調整

上記の基本的な効果の次は、画像ブレンドを[オーバーレイ]に変え、新たに魅力的なグロー効果を作成します。

ブレンドモード適用によるカラーシフトを防ぐには、画像エディターの[全般]タブ内のB&Wスライダーを使用します。彩度は、上部レイヤーのブレンドモードの変更にのみ影響し、画像が白黒にならないようにします。

[全般]タブの[ガンマ]スライダーを使用して、画像内の影の部分を際立たせます。
[全般]タブの[反転]オプションを有効にすると、ディテールが戻り、画像にパンチを与えることができるでしょう。
[全般]タブのRGBの各値を使用して、クロス処理したような効果を出すことができます。

ブレンドモードの効果は強力です。効果の仕上がりはソース画像により大きく異なりますので、同じモードを使用したとしても、画像が異なれば、効果の仕上がりも異なります。

プリセットを様々な画像に適用して、どのような効果が得られるか確認した後に、プロパティを変更して編集を行ってください。カスタム設定を保存する場合は[>>]をクリックして、名前を付けてプリセットとして保存します。

[タイル]タブは、フレームに色やテクスチャを追加するためのコントロールがまとめられています。

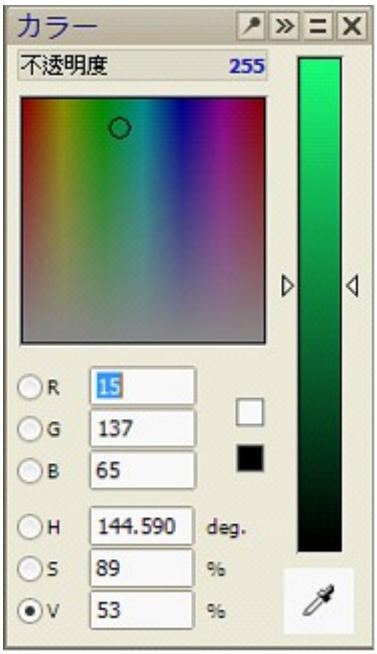
この効果により、画像に水性塗料を塗ったような効果を与えることができます。また、空のフレームを色で塗りつぶしたり、画像にテクスチャ効果を適用したりできます。

注: このコントロールは、画像全体の色合いに適用されます。画像の色修正を行う場合は、[全般]タブのRGBスライダーを使用してください。



[背景塗りつぶし]セクションでは、フレームに色を追加できます。

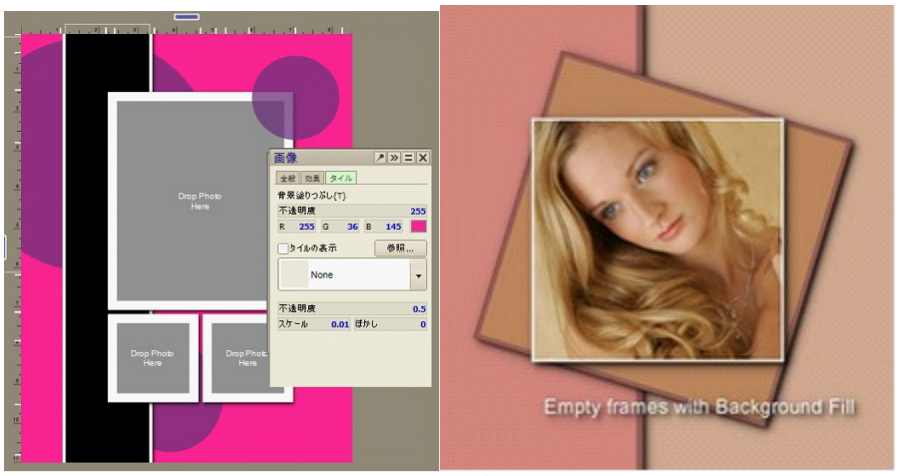
[不透明度]を下げることで、効果を弱めることができます。
色の変更は、R、G、Bの各コントロールを調整するか、カラーパレットをクリックして、[カラー]エディターから選択します。



グラデーションバーのいずれかから色を選択するか、スポイト アイコンをクリックして、キャンバス内から直接色を指定します。

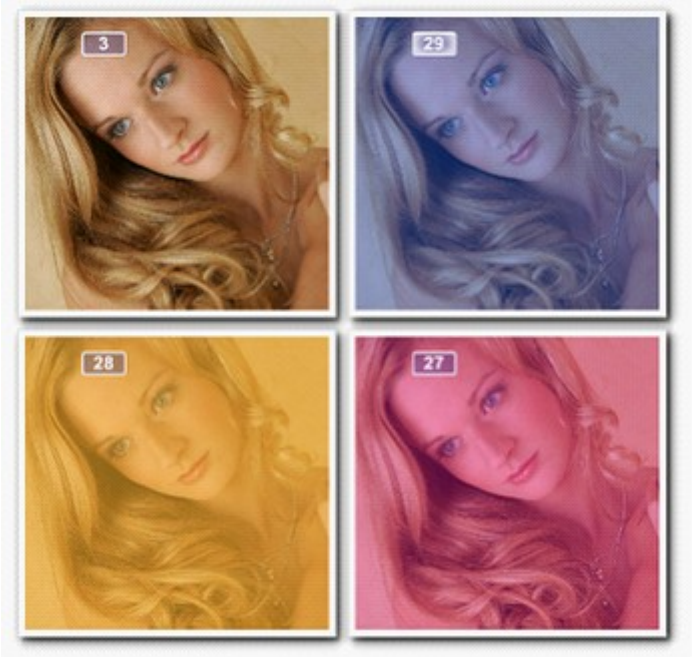
不透明度の値を低く設定すると、画像の下の色が透けて見えるようになります。

以下に色つきブロックを使用して作成したレイアウトを紹介します(1つはテンプレート、もう1つは画像挿入済みの完成品)。キャンバス背景は、不透明度が100%で色を適用しています。幾つかのフレームのフレーム枠をエッジに利用しています。紫の水玉などは、不透明度を下げ、マスクとして組み込まれています。

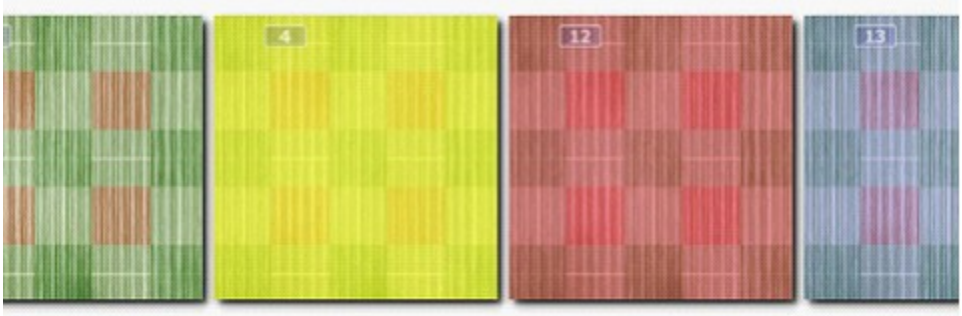


Kent Smith撮影

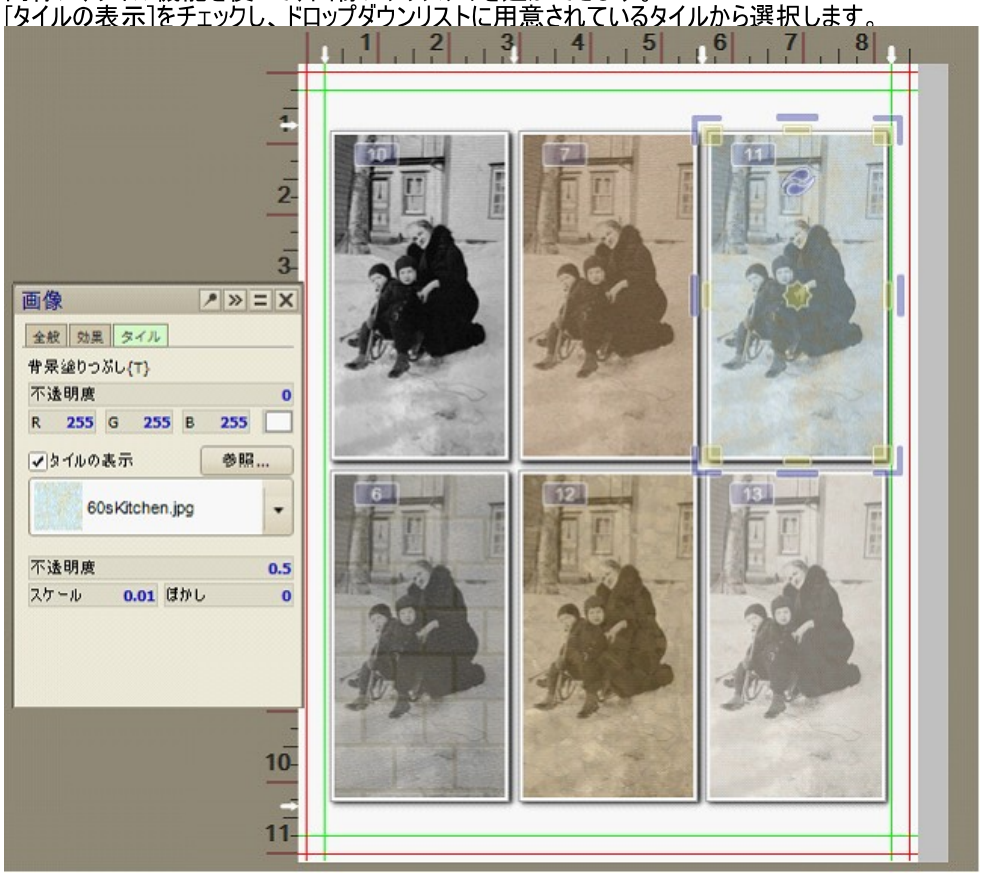
画像を含むフレームに水性塗料を塗ったような効果を追加できます。以下に、異なる幾つかの色や不透明度をフレームの背景に追加した場合の画像の例を紹介します。



空のフレームに背景紙をドロップした場合、背景塗りつぶしツールを新しい色調に調整できます。



同様に、タイル機能を使って、画像にテクスチャを追加できます。
[タイルの表示]をチェックし、ドロップダウンリストに用意されているタイルから選択します。



不透明度の増減、タイル サイズ(ズーム)の変更、効果をぼかす淡いイメージを作り出すこともできます。

フレーム枠エディター

フレーム枠エディターを使って、フレームの外側の枠の見た目を変更できます。

キャンバス内のフレームを選択し、ツールボックスから画像エディターを選択します。



フレーム枠エディターの[境界線]タブには、以下のコントロールが含まれています。
幅: ドラッグして、枠の幅を薄く/太くできます。[境界線]チェックボックスをオフにすると、枠は全く表示されなくなります。
色: R/G/Bの各チャンネルを直接調整して色を変更することができます。また、カラーパレットをクリックして開く[カラー]エディターで色を指定するか、スポイトツールでキャンバス内の色を指定することもできます。

不透明度: 枠の不透明度を下げることができます。

画像を合わせる: 画像全体が枠の中にはまるよう(枠で隠れる部分がないよう)に設定できます。チェックボックスがオフの場合、枠で画像の一部が隠れてしまいます。

内側に影: 枠ではなく、画像の影が適用され、フレーム枠がガラス質であるかのような効果を出すことができます。

外枠ハイライトの描画: このオプションを無効にすると、枠の外側に表示される1ピクセル違いのハイライトラインが表示されません。



インセット: インセット値に応じて自動的に隣り合うフレームとの間のスペースを作ります。インセットが0の場合、画像間のスペースはなく、エッジが接することになります。インセットの値を高く設定すると、隣り合う画像の間により多くのスペースを挿入することになります。



フレームの形は、四角 ドロップダウンメニューの様々な形のオプションを選択して変更できます。さらに、[幅]、[コーナー]ボタンを使って形を調整できます。

形のオプションには、[角なし]、[アングル]、[楕円]、[ダイヤモンド]が含まれます。[角なし]と[アングル]を選んだ場合、[コーナー]効果を調整できます。

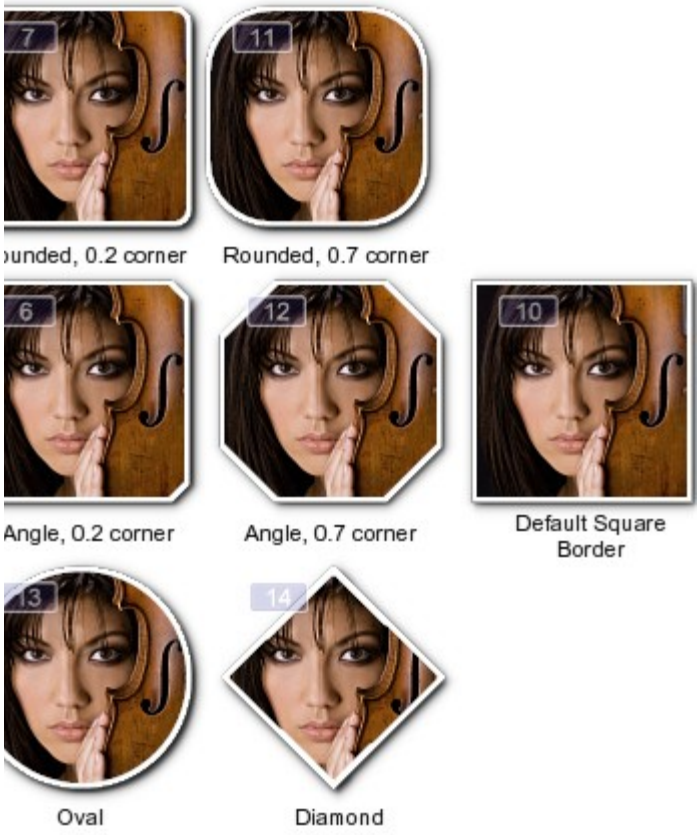


Image by Stephen Eastwood

[グラデーション]タブは、画像が透明に向けて徐々にフェードする効果を適用できます。



[有効]チェックボックスをオンにし、6種類のグラデーションから1つ選択します。選択可能なグラデーションの種類は、リニア、2エッジリニア、4エッジリニア、円形、四角形、ダイヤモンドの6種類です。
反転: グラデーションの方向が反転されます。
ソフトネス: グラデーションのエッジ部分がソフト/シャープ(鮮明)になります。
中央位置: ハイライト(一番明るい部分)の範囲を増加/減少させることができます。
角度: グラデーションを回転させます。
中央X/Y: 四角形、ダイヤモンドを選択した場合、ハイライト(一番明るい部分)の位置を変更できます。その際に、このコントロールで2つの座標軸を変更します。





Images by Kent Smith

グラデーションは、画像/テキストを含むフレーム、空で薄い色合いのフレームにグラデーションを追加して、クリエイティブな効果を与えることもできます。画像をぼかしたり、テクスチャやカラー効果を適用したりするために使用することもできます。

[マスク]タブには、切り取りフレームの形を変更するためのコントロールが用意されています。

マスクは、画像、色、テクスチャを表示できる「穴」のようなものです。

新しい画像のフレームは、デフォルトで辺がまっすぐな長方形の形に設定されています。
マスク選択(alpha plus rgb/average rgb/alpha のみ)の下のオプションでは、マスクのどの部分に画像を表示するかを設定します。

[ぼかし]は、マスクのエッジを調整するのに対し、[反転]は透明部分と画像を含む部分を反転させます。

[合わせる]、[縦横比の固定]、[画像のサイズで切り取る]の各オプションは、画像をフレームの形の関係を変更します。デフォルトでは、[合わせる]に設定されており、フレーム内に画像をできるだけ多く表示します。[縦横比の固定]は、マスクの幅を修正し、[画像のサイズで切り取る]は画像の形にマスクを切り取ります。





下向きの小さな矢印をクリックすると、コンピューターに事前にインストールされているデフォルトのマスクが表示されます。[参照]をクリックすると、検索ホバーが開き、テクスチャやシェードを含む様々な種類を検索できます。検索ホバーで選択したマスクを画像にドロップすることができます。





Image by Stephen Eastwood



利用可能なオプションの一覧が表示されます。

フレームの配置と揃え

画像ツールボックスから1つまたは複数のフレームに対して配置に関するオプションを変更することができます。

選択しているフレームを重ねる順番を簡単に変える方法は、ツールボックスの揃えるアイコンをクリックしたままドラッグすることです。指定したフレームは1つずつ前へ/背面へ移動します。

さらに多くのオプションにアクセスするには、1つ(以上)のフレームを選択し、[揃える]アイコンをクリックします。



はじめに、画像を揃えるためのどのようにツールを使用するかを指定します。
- ページにグループとして: 選択したフレームすべてを1つのグループとして、移動させます。
- ページに独立して:選択したフレームのそれぞれがコマンドに従って移動します。
- 相互に:選択フレームが占める領域に対して、マルチ選択のそれぞれの関係に応じて配置します。

揃えるオプション
- 中央:選択フレームは、キャンバスの中心に合わせて揃えられます。
- ページの上/下、左/右
- 中央に垂直/水平

分配オプション
- 水平線上にすべてのフレームを均等に配置
- 垂直線上にすべてのフレームを均等に配置

順番オプション
- アイテムを(最)前面/背面に移動
- アイテムを前面/背面(上/下)に移動

リサイズ オプション
- 最後に選択したフレームのサイズを適用
- 参照フレームの幅に合わせる
- 参照フレームの高さに合わせる
- 参照フレームの比率に合わせる
- 選択フレームをキャンバス全体の幅/高さに合わせてリサイズ

注: キャンバス サイズが「アルバムの見開き」の場合、センターラインが重視されます。例えば、画像が中央揃えに設定された場合、製本時のどの部分を避けて揃えられます。

画像の方向(回転と反転)

画像ツールボックスから、画像の上下や左右の反転を行うことができます。
フレームを選択し、ツールボックスの方向ツールを選択して画像の回転や反転を行います。



フレームの分割と統合

キャンバス内のフレームは、グリッド効果のような均等に分割されたフレームを無制限に作製できます。分割ツールを使うと、均等に分割されたグリッドを作製できます。ここでは、8等分してみました。



分割の操作を段階的に繰り返すことによって、異なるサイズのフレームを作り上げることもできます。

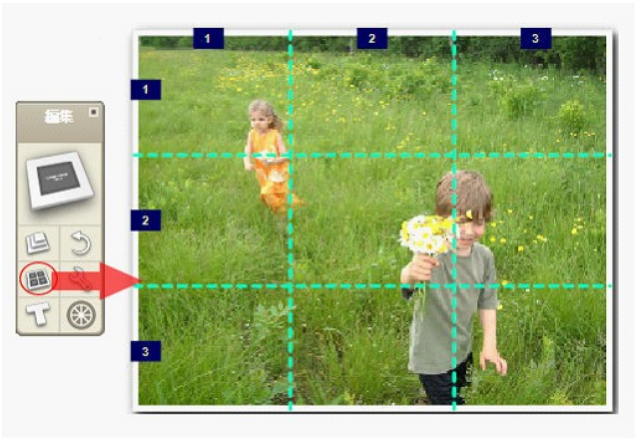


ツールボックスを使用して分割
マウスを使用した場合
1. フレームを選択します。
2. 画像ツールボックスの分割コントロールにマウスを移動します。



3. マウスをクリックしたままにします。

4. マウスを下にドラッグすると**水平方向に分割**、右にドラッグすると**垂直方向に分割**されます。



5. マウスの指を離します。
分割が適用され、指定した数にフレームが分割されます。



[フレームを分割]エディターを使用して分割

[フレームを分割]エディターは、フレーム選択後に表示される画像ツールボックスの分割ボタンをクリックすると表示されます。[ツール]メニュー > [フレーム] > [フレームを分割]を選択しても開くことができます。右のようなエディターが表示されます。



縦と横の分割数を指定し、[OK]をクリックします。

[モザイク画像]のチェックをはずすと、グリッドは生成されますが、最初の分割ボックスにのみ画像が表示されます。



フレームの統合

2つ以上のフレームを1つに統合する方法
1. 統合するすべてのフレームを選択します（投げ縄ツールを使って複数のフレームを囲うように選択するか、Ctrlキーを押しながらフレームを順番にクリックします）。
2. 選択フレームの1つを右クリックします。
3. 表示されるメニューから[位置]> [統合]を選択するか、Alt+Mキーを押します。



赤目軽減ツール

赤目軽減ツールは、指定した画像を開いて赤目を修正するためのアドオン アプリケーションです。

このツールを使用するには、該当する画像を含むフレームを選択し、画像ツールボックスのツールアイコンを選択します。ツール　オプションを選択後、表示される (赤目軽減ツール)を選択します。

画像が新しいウィンドウで表示されます。





カーソルを修正する瞳の上に移動させます。

ズームインやズームアウトは、キーボードの+や-ボタンを使用します。
マウスホイールがある場合は、マウスホイールを回転させることでズームイン/ズームアウトできます。

瞳にカーソルを移動させて、狙いを定めたなら、クリックします。これにより、赤目をより適切な色と置き換えて、修正が行われます。

修正が完了したら、 ボタンをクリックしてエディターを閉じます。ファイルを保存するかどうかの確認メッセージが表示されますので、修正結果に満足であれば、保存してください。保存することで、オリジナルの画像ファイルが上書きされますので、ご注意ください。

保存後、キャンバス上の画像を更新するかどうかの確認メッセージが表示されますので、[はい]を選択してキャンバスの変更を確認します。

マスクの切り取り

マスク切り取りツールは、画像フレームの一部分に沿ってマスクを形成し、それ以外の部分は削除されます。マスクの切り取りツールは、オリジナル画像に影響を与えることはありません。

マスクの切り取りツールを使用するには、フレームを選択して画像ツールボックスを表示します。 ツール オプションを選択し、その後表示されるボタンをクリックして、マスク切り取りツールを起動させます。



画像を含む別ウィンドウが新たに開きます。ウィンドウの枠をドラッグしてウィンドウ サイズを変更することができます。また、マウスホイールやキーボードのCtrlキーと+/-キーで画像を拡大/縮小できます。ウィンドウのリサイズによって、画像の見える範囲が変化します。



Image by David Ziser

ここに取り上げる例では、画像からブーケを抽出します。

抽出する部分をクリックして輪郭をなぞるようにして、マスクを作成します。

カーソルでなぞった部分には赤い線が表示されます。ずれたとしても、後から修正できますので心配いりません。

このツールはフリーハンドでの描画となり、画像に自動的に線がひきつけられることはありません。

やり直す場合は、Escキーを二度押します。



アウトラインの描画が完了すると、右のようになります。
マスクの部分がハイライトされ、それ以外の背景部分がグレーアウトされています。



マスクのエッジ部分微調整を行う場合は、クリックして、マスク周辺のアウトラインを書き直します。

- 現在のアウトラインよりも外側に新しいアウトラインを描画してマスクの範囲を広げる場合、マスクの外側で描画してマスクを追加します。
- マスクの範囲を減らす場合は、マスク内をクリックしてアウトラインを書き直します。

マスクの範囲の修正が終わったら、[ファイル]メニューの[終了]をクリックして、エディターを閉じます。保存するかどうか聞かれたら、[はい]を選択します。

画像が更新され、キャンバスには切り取ったマスク画像が表示されます。



フレームのサイズを変更できます。フレームの枠とは、切り取られたマスクのエッジではなくマスク以外の画像全体の枠を意味しています。マスクに対して画像を移動させることはできません。画像のエッジがマスクのエッジの輪郭から出てしまうことを防ぐため、ロックがかかっています。

間違えてフレームのサイズを変更したためにマスク画像が切れてしまった場合、右クリックで表示されるメニューで[位置]> [サイズ] > [画像にあわせてフレームサイズを変更]を選択します。 画像全体が表示されます。

カスタム マスクを追加後、画像エディターで編集できます。マスクのエッジの鮮明度は、フレーム エディターの[ソフトネス]で調整できます。

マスクを無効にするには、フレームをクリックし、エディターを開き、[マスク]タブの[有効]チェックボックスをオフにします。

[フレーム]ホバー

[作成]タブには、装飾用のフレーム コレクションを見ることのできる フレーム ホバーが用意されています。フレームは、単なるマスクの切り抜きではなく、グラフィック、マスク、影をすべて駆使して作られたものです。

[フレーム枠]エディターを使って、以下の例を見て分かるように、ほとんどのフレームの幅を調整できます。





Kent Smith撮影

キャンバスの背景

デフォルトでは、白いキャンバスが表示されます。キャンバス外のグレーの領域を右クリックして表紙されるメニューの[ページ] > [カラー]を選択して、キャンバスの色を白、黒、透過に変更できます。

画像エディターの[タイル]タブでは、背景の塗りつぶしセクションで色のオーバーレイを設定したり、テクスチャのプリセットからタイルを選択したりできます。
[ページ]ホバーには、非常に多くの背景デザインや形が用意されています。

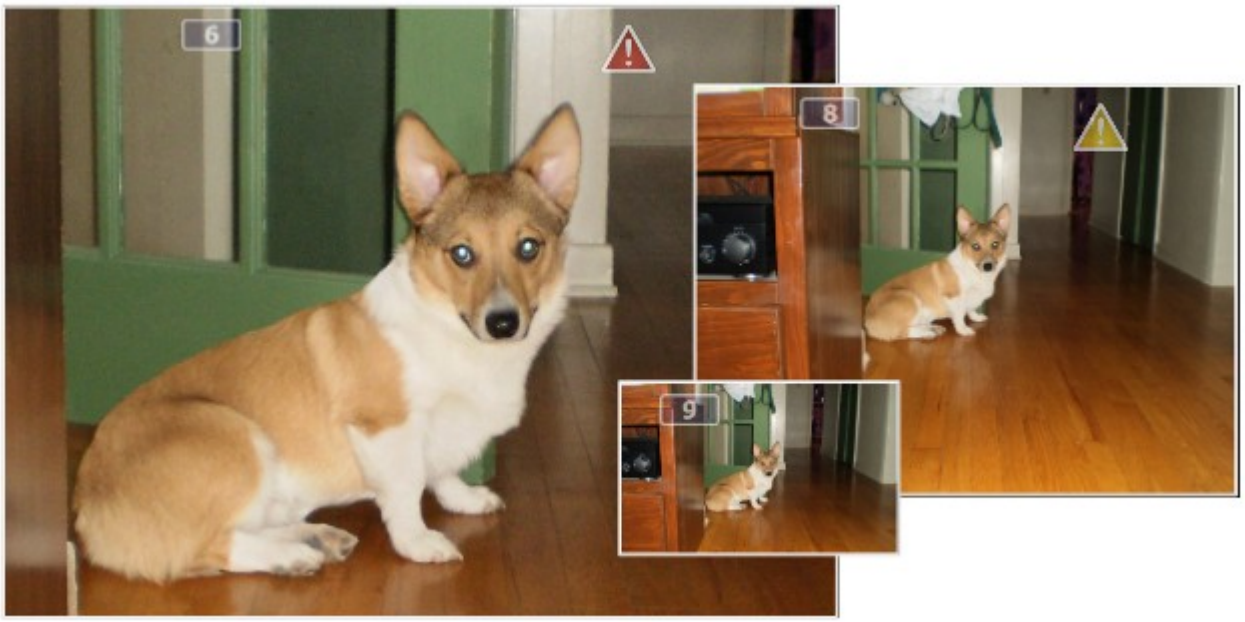
画像を背景に使用して、プロジェクトをより一層興味深い作品に仕上げることができるかもしれません。新しい画像を背景として使用する場合は、[画像]ホバーからその画像を選択し、キャンバスにドラッグアンドドロップします。そうすると、キャンバス背景として適用されます。
キャンバス内に既にある画像を背景として設定する場合、画像を右クリックし、[画像] > [キャンバス背景として使用]を選択します。

キャンバスの背景を変えるだけで、印象が全く異なる作品を多く作成できます。



DPI/解像度の警告

FotoFusionには、キャンバスで使用する画像の解像度があまりにも低い場合に警告が表示されるようになっています。
低解像度の画像(携帯電話のカメラ等)の使用や画像にズームインしすぎた場合に、注意や警告が表示されます。
以下はキャンバスに表示される警告の例です(赤::許容範囲に満たないため危険、黄色::潜在的問題あり)。



□□□□ □□□□□□□□□□

テキストの追加

テキストは、タイトルや段落ごと直接キャンバスに追加することもできますし、画像フレームに付随するキャプションやラベルなどとして追加することもできます。キャンバスにテキストを追加する方法は以下の2通りです。

a) キャンバス内外の空いている領域をクリックします。すると、ツールボックスが表示されますので、テキスト オプションをクリックします。



または
b) Tキーを押しながら、テキストとほぼ同じ大きさの選択ツールをドラッグします。
キャンバスにテキスト フレームが表示されます。

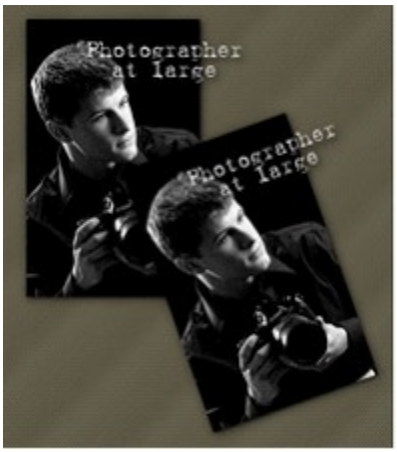


画像フレームにテキストを追加する場合は、画像を選択し、ツールボックスのTオプションをクリックします。



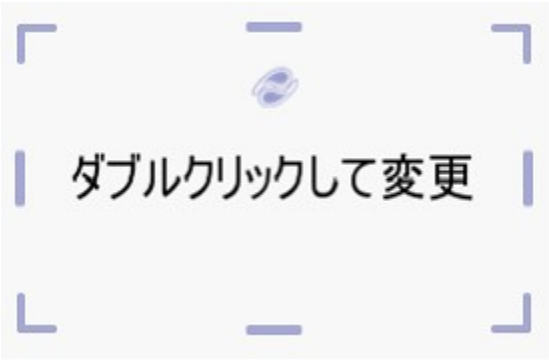
テキスト フレームが画像上に表示されます。画像フレームを移動させた場合、テキスト フレームも一緒に移動します。



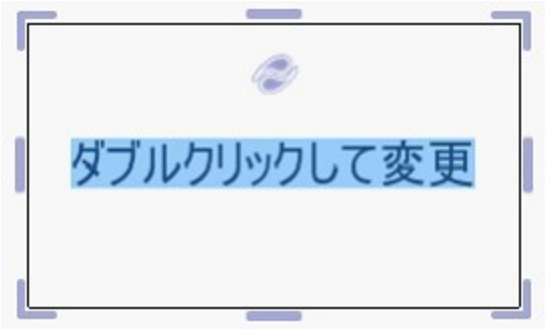


テキストやテキスト フレームを選択したときの操作は以下の通りです。

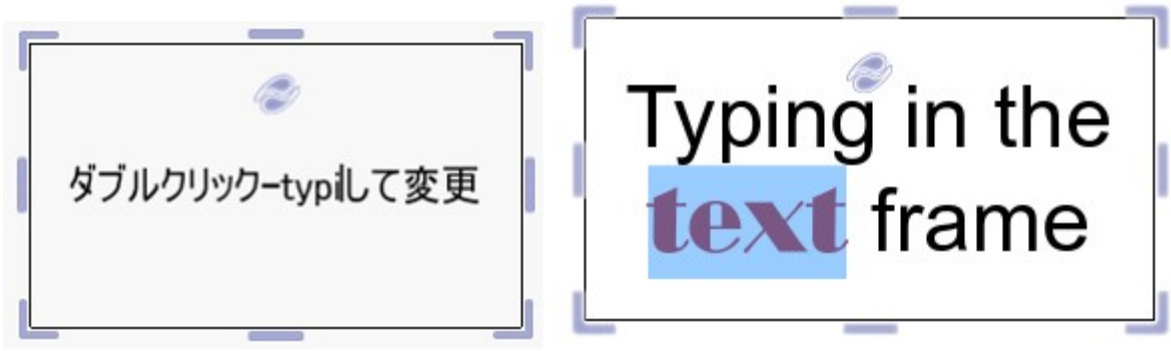
- テキスト フレームを1回クリックすると、フレームが選択されます。フレームの移動やサイズ変更ができるようになります。



- ダブルクリックすると、フレーム内のテキストが選択されます。テキスト内容の変更、フォント、色、太字などテキストエディターを使った変更を行うことができます。



- ハイライトされたテキストを1回クリックすると、カーソルが表示され、テキストを部分的に編集できます。



テキスト機能

テキスト フレームが選択している場合、テキスト ツールボックスが表示されます。このツールボックスを使って、テキスト フレーム内のすべてのテキスト(Ctrl + Aキー)、または一部に変更を適用できます。テキストの編集を行うには、まずTをクリックします。



[ベーシック]タブがまず表示されます。

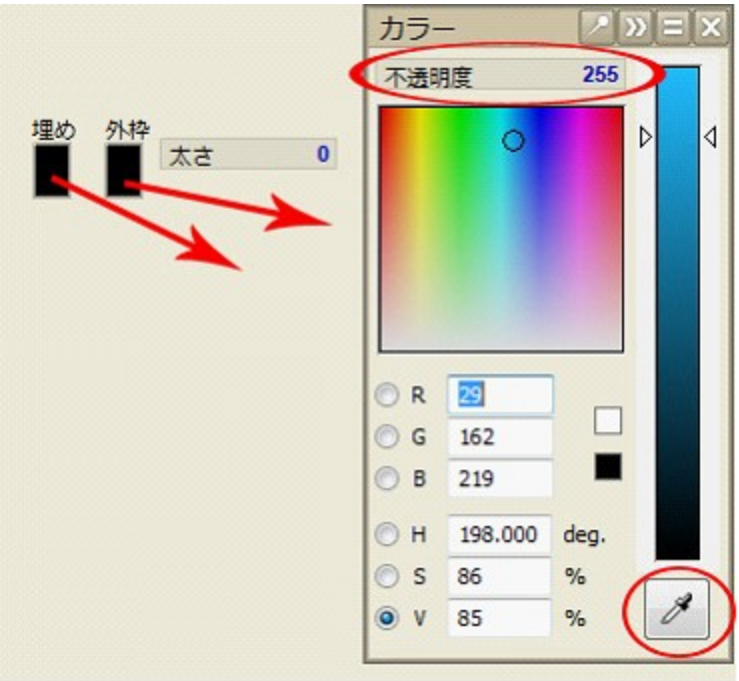


フォントのドロップダウンボックスには、お使いのシステム内にインストールされている利用可能なフォントがすべて表示されます。FotoFusionや他のソフトウェアで新しいフォントを使用する場合、コンピューターの[フォント]フォルダーにそのフォントをダウンロード/インストールする必要があります。
フォントに関するオプション:利用可能なフォント、サイズ、サイズ変更オプションから選択できます。

- [横幅固定]は、テキスト フレームそのもののサイズを変更した場合に、テキストサイズも合わせて変更します。
- [大きさ固定]は、テキストの大きさは固定し、フレームのサイズが小さく変更された場合に、はみ出る部分を切り落とします。
- [超過しない]は、フレームのサイズが小さく変更された場合にテキストサイズも小さくするのですが、指定されたフォントサイズより大きくなることはありません。

さらに**太字**、*斜体*、下線、取り消し線 をテキスト全体、または一部に追加できます。

色に関するオプション:色パレットをクリックし、テキストの色(埋める)と輪郭の色(外枠)をそれぞれ設定します。色の選択は、グラデーションバーのいずれかをクリックするか、キャンバス内から色を選択する場合は、スポイト アイコンをクリックします。テキストの色については、[不透明度]を調整できます。



輪郭線(外枠)をはっきり表示させる場合は、外枠の[太さ]を高く設定します。



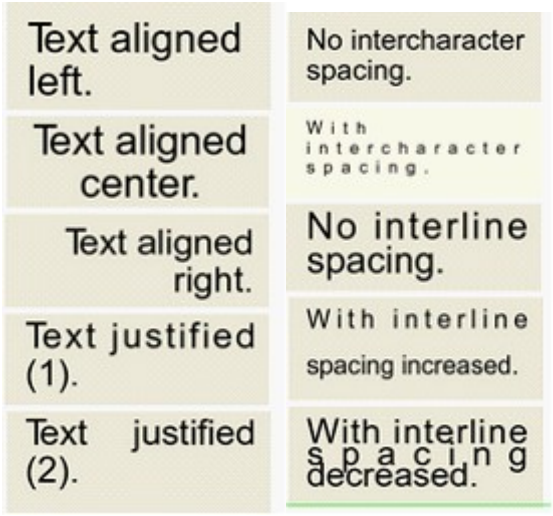
輪郭線なし

細い輪郭線、対照的な色を使用

太い輪郭線、対照的な色を使用

太い輪郭線、対照的な色を[不透明度]を下げて使用

揃えセクションでは、フレームに対して横方向(左右、中央、調整)、縦方向(上部、中央、下部)にテキストの配置を変更できます。文字の間隔や行間を変更することもできます(デフォルト値に戻す場合は、[R]ボタンをクリックします)。



[**効果**]タブで利用可能なオプション



[埋める]と[エッジ]効果は、反射、不透明度、様々な影の効果をテキストに追加します。効果を選び、量を調整し、効果の強度を指定します。[埋める]はテキストそのものの飾りつけで、テキストのぼかしに関するオプションも含まれます。[エッジ]は輪郭線に関する効果で、点線なども含みます。



「マスク]セクションでは、テキストにグラデーションやテクスチャ効果を適用できます。テキストに適用するテクスチャ マスクは、ドロップボックスか ... (参照)ボタンから選択します。



テキストを画像マスクに変換することもできます。
キャンバス内の画像フレームを選択します。ツールボックスのTをクリックして画像フレームに付随するテキスト フレームを追加します。



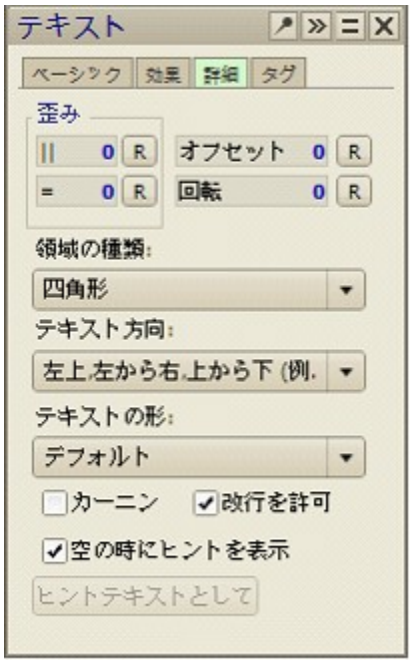
テキストを入力し(大きくて太いフォント、または1文字を使用すると効果的です)、画像内での位置を決めます。



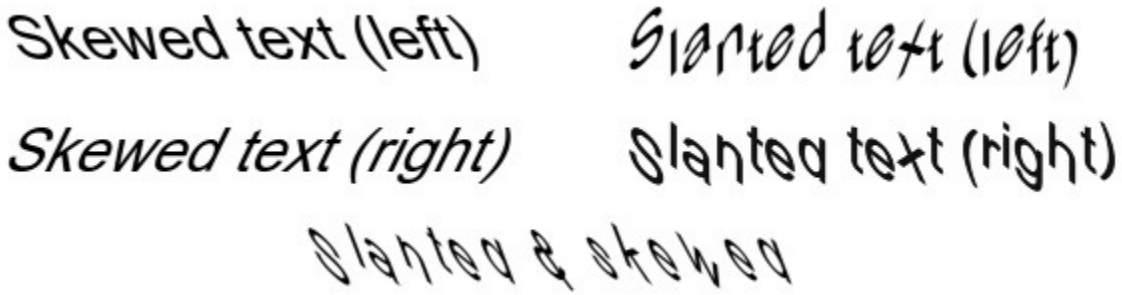
テキストをダブルクリックして、テキスト エディターを開き、[効果]タブの 

ボタンをクリックします。画像がテキスト内に挿入されます。

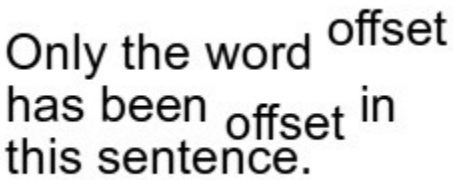
[詳細]タブは、テキストの形や方向に関するコントロールを提供します。



[歪み]コントロールは、テキストを斜めにしたり、変形させたりします。(デフォルト値に戻すには R ボタンをクリックします。)



[オフセット]は、テキスト フレーム内の選択した文字にのみ適用されます。選択した文字を、他の文字との関連を考慮して、上下に移動させます。上付き文字と似ていますが、テキストを移動させる距離を設定できる点で異なります。(デフォルト値に戻すには R ボタンをクリックします。)



[回転]コントロールは、それぞれの文字をその場で回転させます。(デフォルト値に戻すには R ボタンをクリックします。)

Non-rotated text
Rotated text (25)

[領域の種類]では、テキストを使ってある形を作り上げることができます(これはタイトルより、段落などテキストのまとまりが必要)。
この機能を使用する場合、[ベーシック]タブの[横幅固定]を選択しないでください。

This is an example of text, made in a square frame, with the following features: it is set to lock and clip, and to justified 1, on the Basic tab. On the Advance tab, it is set to Area Type = Circular. As such, the paragraph will fill a circular shape.

This is an example of text, made in a square frame, with the following features: it is set to lock and clip, and to justified 1, on the Basic tab. On the Advance tab, it is set to Area Type = Half-Diamond A.

[テキスト方向]も自由に変更できます(中国語、アラビア語、ヘブライ語など様々な言語に対応)。

Upright, Left-to-Right, Top-to-Bottom (standard Latin).

Chinese) a l eft(vertic right-to-l t o m, top-to-bot Upright,

,thgiR-ot-tfeL ,thgirpU ,cibarA) mottoB-ot-poT (werbeH

[テキストの形]オプションは、アルファベットを使わない言語を使うユーザーに役立ちます。アルファベット以外のフォントが表示される場合、このオプション(言語や地域ごとに選択可能)によってその文字の間隔が適切に調整されます。

[タグ]タブはテキスト フレームに画像情報を表示できるようにします。キャンバス内の画像フレームを選択し、画像フレームに付随するテキスト フレーム 追加(ツールボックスのTをクリック)します。
テキスト フレームを選択し、テキスト エディターの[タグ]タブを開きます。デフォルトの設定では、すべてのタグの機能が無効になっています。



Kent Smith撮影

[タグ]ボタンをクリックして、画像に関連付けられている利用可能なデータにアクセスできます。例えば、[タグ] > [編集] > [ファイル] > [ファイル名]を選択すると、画像のファイル名をテキスト フレームに追加できます。追加できるタグに数の制限はなく、タグをハイライトすることもできます。



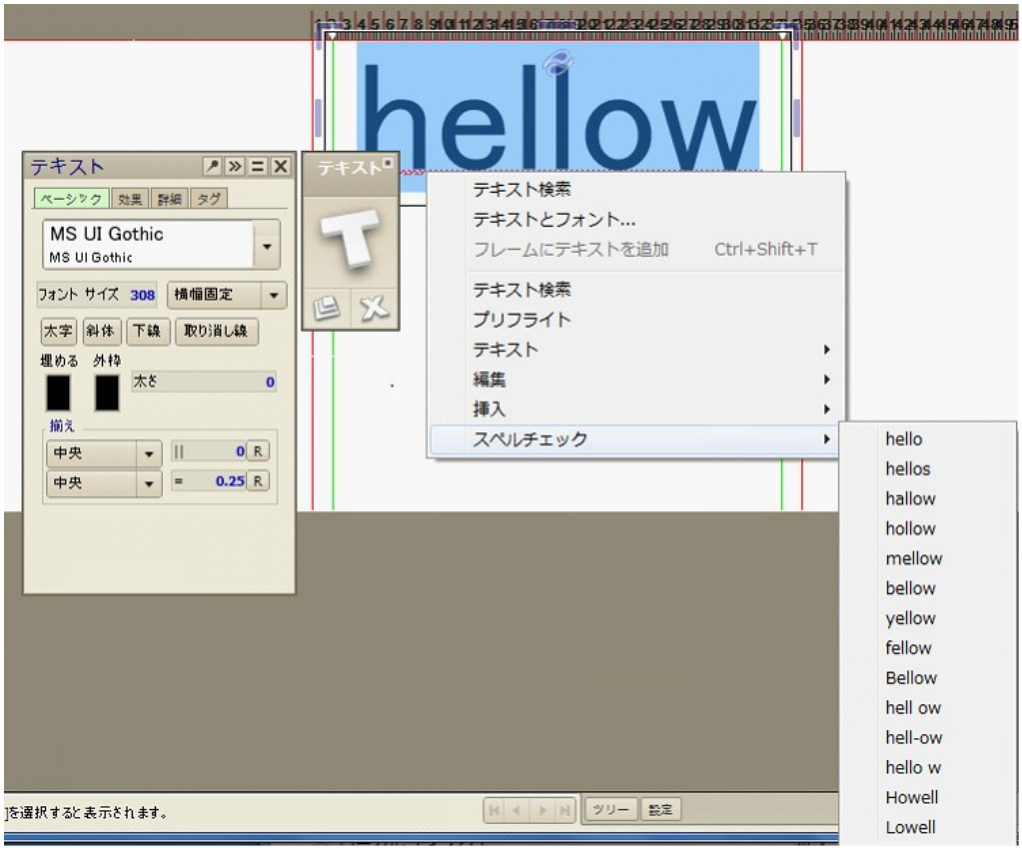
必要なら、テキスト フレームをカスタマイズし、画像ファイルに近い別の位置に移動させることもできます。



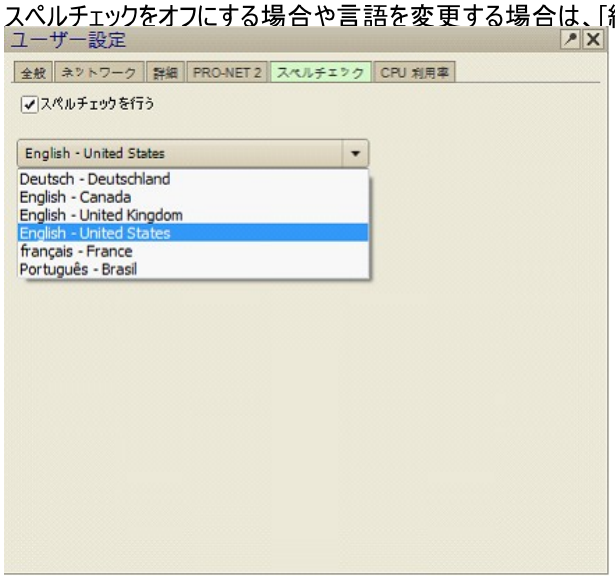
スペルチェック

FotoFusionには、スペルチェック機能も用意されています(現段階では、英語(US)とフランス語のみ対応)。

単語を右クリックし、[スペルチェック]をクリックすると、候補の一覧が表示されます。候補の中から置き換える単語を選択します。



スペルチェックをオフにする場合や言語を変更する場合は、[編集]メニューの[ユーザー設定] > [スペルチェック]タブで行います。



□

画像フレーム、テキスト フレームの両者ともに影を追加することができます。影は、ツールボックスまたは影エディターで直接調整できます。

ツールボックスを使って影を調整



テキスト/画像の各ツールボックス内の影のコントロールは、ドラッグによって編集できます。
- 左右へドラッグ = オフセットの調整
- 上下にドラッグ = ぼかしの調整

影エディターを使って影を調整

ツールボックス内の影コントロールをクリックすると、詳細設定のウィンドウが表示されます。





Kent Smith撮影

オフセット: オフセットは、影が表示される枠からの距離を指定します。高い値ほど、影は画像の枠から遠い位置まで表示されます。
ぼかし: ぼかし具合を変化させることで、影の質感を変えることができます。
角度: 枠の影の表示位置の変化をもたらす光源の位置を設定します。
量: 影の効果の不透明度を設定します。

内側に影

影が「内側」の場合、枠ではなく画像そのものの下に影が表示されます。この効果を分かりやすくするには、枠の幅を広く、また透明な枠(50%)にすることをお勧めします。



[内側に影]オプションを選択した場合、半透明な外枠にではなく、画像そのものに影が表示されていることに気がつくでしょう。

影の色: カラーパレットをクリックすると、影の色を変更するためのエディターが表示されます。右の例では、画像とテキストに輝きを与えるために影が使用されています。



自動ツール

FotoFusionは、幾つかの簡単なクリック(操作)だけで、自動的にレイアウトを作成できます。

自動コラージュ

自動コラージュ機能は、画像を使ってコラージュを作成してくれます。

既存の画像セットから自動コラーッジュ作成

ページ上、またはドロッパーに画像がある場合、自動コラージュ ボタンをクリックするだけで現在のページにそれらの画像を挿入/配置できます。このボタンを押すたびにコラージュが再生成されますので、納得いく作品になるまで押すことができます。



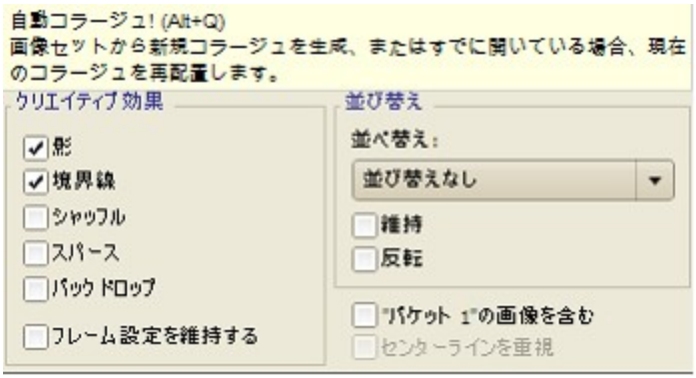


[自動コラージュ] をクリックして、新しいレイアウトを作成



Images by David Ziser

自動コラージュボタンにマウスオーバーすると、自動コラージュのオプションが表示されます。



影: 自動コラージュで作成した一連の画像に影を追加します。
境界線: 自動コラージュで使用した画像にデフォルト設定されている枠を追加します。



シャッフル: 角度をつけて、自動コラージュで使用した画像を散りばめます。
ツールバーの自動シャッフル ボタンと同じ機能です。





スパース: 画像の周辺の空白領域を残す。
バック ドロップ: 背景キャンバスに画像を追加する。





フレーム設定を維持する: 自動コラージュを実行した場合、カスタム枠と画像効果を維持します。

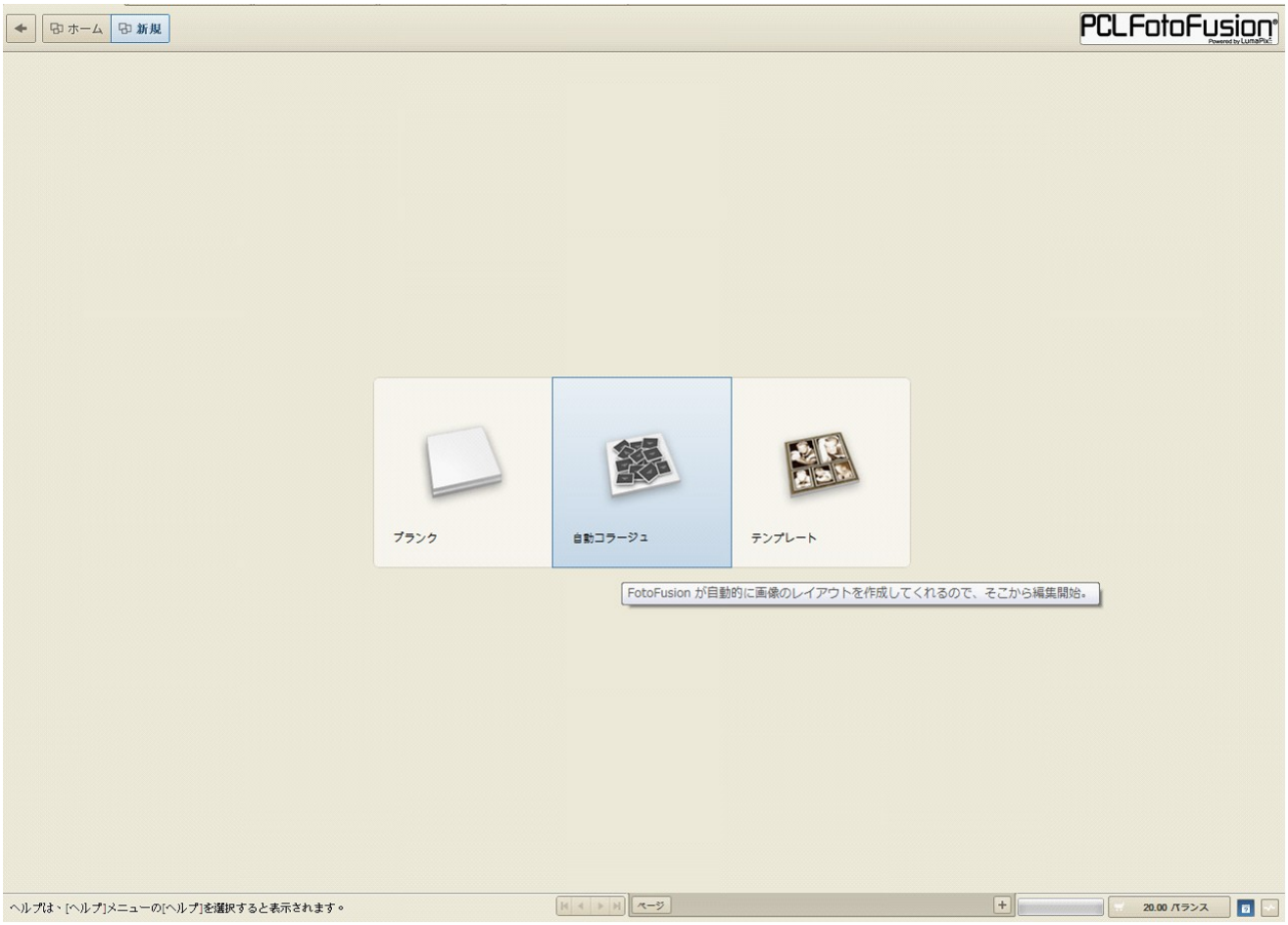
[並べ替え]オプションを選択すると、画像のファイル名や撮影日時を考慮した自動コラージュを作成できます。
[維持]のチェックをオンにすると、画像のフルサイズの比率を維持します。
[反転]は、並べ替えの順番を反転させます(昇順から降順など)。

[バケット1の画像を含む]は、事前に整理した画像を使って自動コラージュを作成します。
[センタ-ラインを重視]は、見開きの場合、センターライン(のど)を避けて、画像が配置されます。

自動コラージュ ウィザード

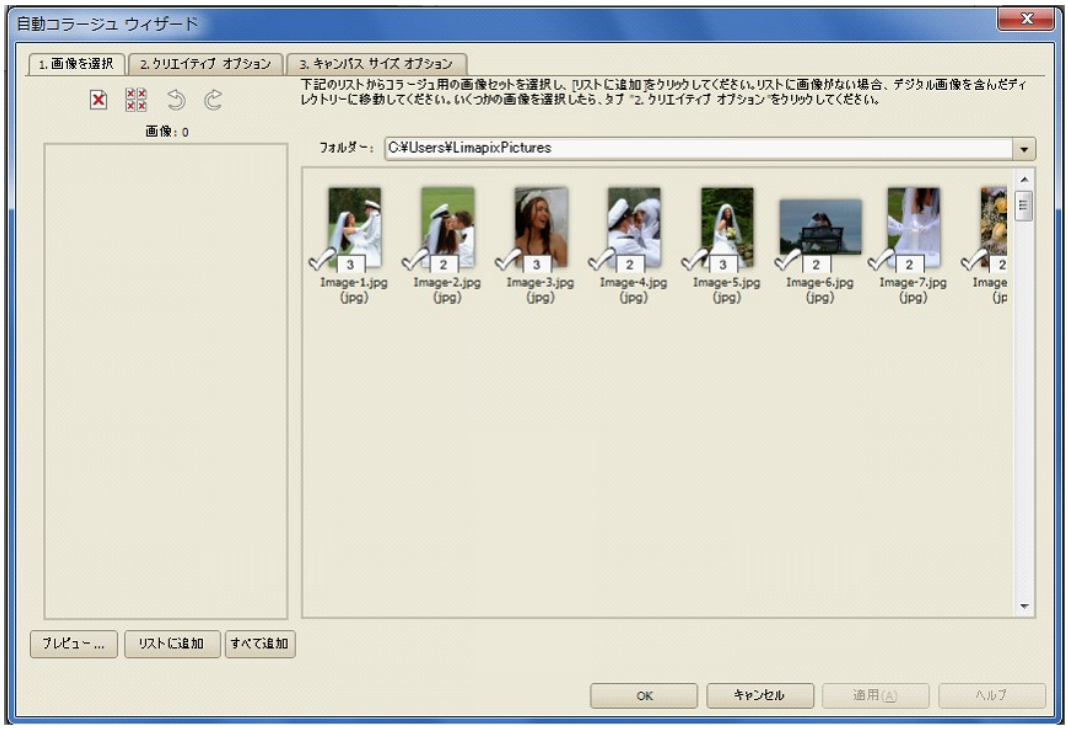
画像のないページ(空のキャンバス)を開いている場合、 自動コラージュボタンをクリックすると、自動コラージュ ウィザードが起動します。

または、[開始]タブ > [新規] > [自動機能で作成]を選択します。



どの方法を選択した場合も、自動コラージュ ウィザードが表示されます。

1. 画像を選択: [フォルダー]領域でコンピューター内の画像の保存先を指定します。1つの画像、幾つかの画像またはすべての画像を選択し、リストに追加します。選択画像は、左側のウィンドウに表示されます。

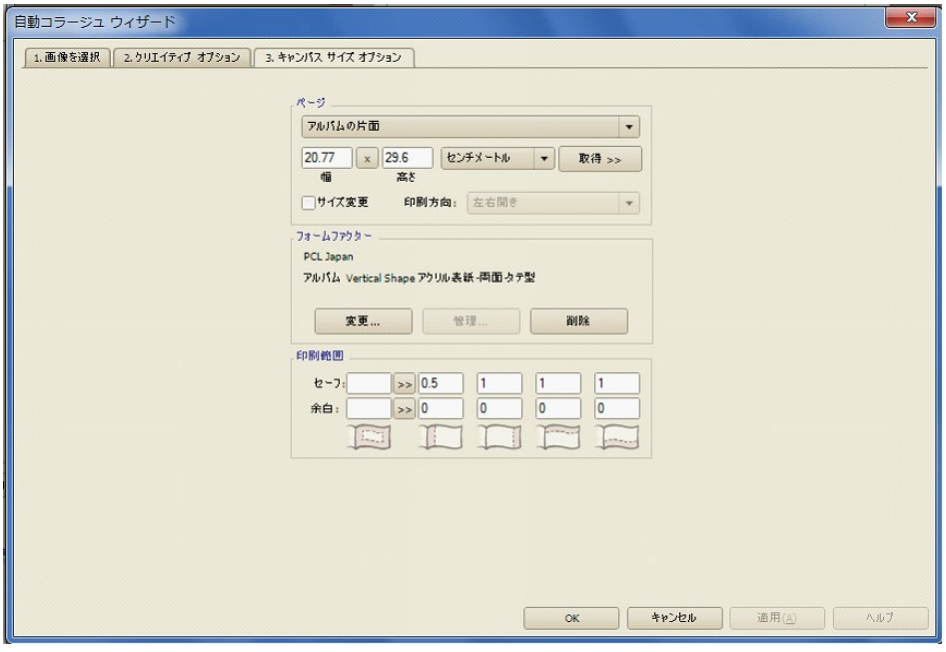


2. クリエイティブ オプション:
複数ページ: エクストリーム版やYearbook版のユーザーは、ページ数、1ページあたりの画像の指定ができ、複数ページに渡るコラージュを作成できます。(ヒント:[タイムライン/並び替え]機能と共に使用することで、イベントをテーマとしたアルバムがあっという間にできます)校正刷り用のページを作成する場合、[1ページに1画像]を選択すると、1枚の画像の形やサイズに合わせてページが設定されます。

[クリエイティブな拡張]と[タイムライン/並び替え]は、ツールバー上の自動コラージュボタンと共に表示されるものと同じ内容です。



3. キャンバス サイズ オプション:
自動コラージュのフォームファクター(プロジェクトの種類)とサイズを必要に応じて指定/変更します。

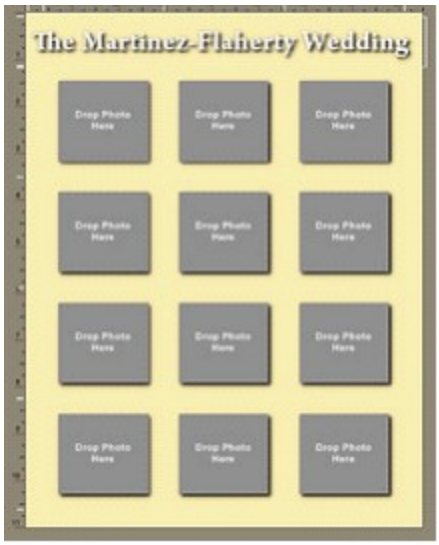


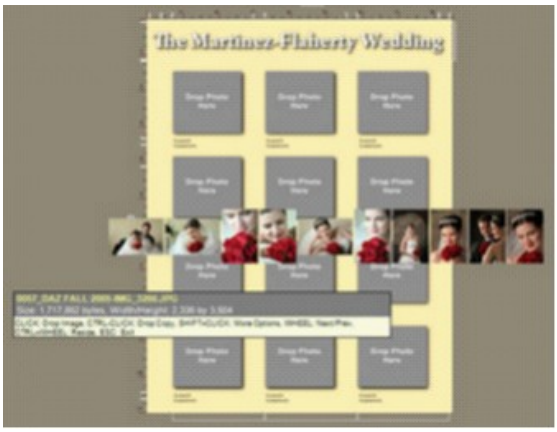
[OK]をクリックして自動コラージュを作成します。その後、そのまま変更しないか、それぞれのページで自動コラージュを再度実行するか、フレームをお好みに応じて変更することもできます。

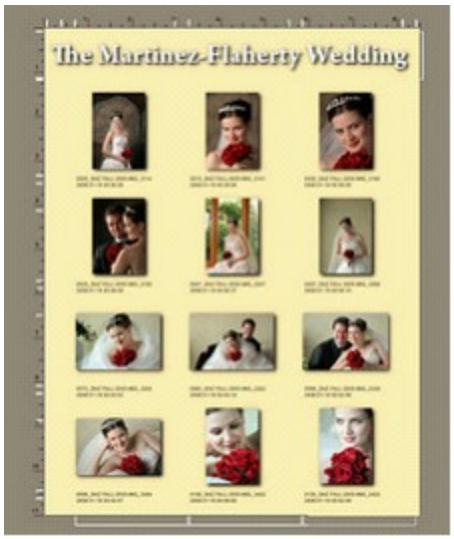
自動挿入

ツールバーの自動挿入オプション  は、コラージュ内の空のフレームにドロッパー内にあるものまたは選択されている画像を挿入します。これは、コンタクトシートやアルバム テンプレートなどのテンプレートに画像を挿入する早くて簡単な方法です。並べ替えオプションも利用できます。

自動挿入機能を使用する場合、空のフレームのあるプロジェクトを開いている必要があります。

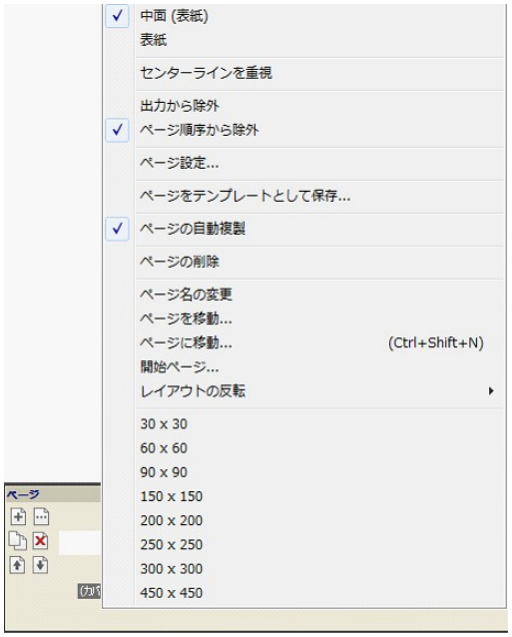






自動複製

一連の画像に対して同じテンプレートを何度も使用することができます。キャンバスに空のフレームのあるテンプレートを作成/起動します。[ページ]ホバーでの右クリックにより表示されるメニューから、[ページの自動複製]を設定できます。



[画像]ホバーで1つ以上の画像を選択し、 ボタンをクリックします。テンプレート内の空のフレームには画像が挿入され、すべての画像が使用されるまで同じテンプレートを何度も複製して画像を挿入します。

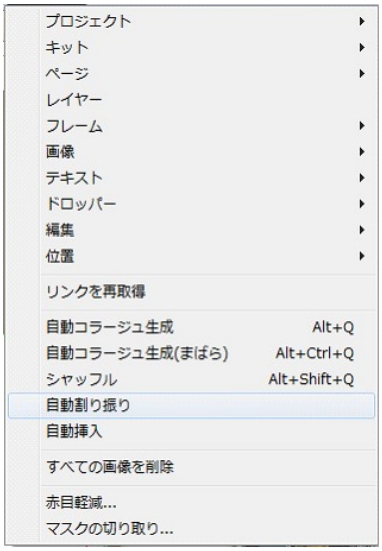


自動割り振り([ツール]メニュー)

自動割り振りは、キャンバス上のすべての画像が均等に割り振られます。画像をキャンバスに追加するため、自動コラージュ機能をするか、[画像]ホバーからそれぞれドラッグして追加します。[ツール]メニューの[自動割り振り]を選択すると、グリッドが作成されます。自動割り振りの前に画像を並べ替えるには、自動コラージュボタンにマウスオーバーし、並べ替えオプションを設定します([ファイル日時順]など)。



自動割り振り前





自動割り振り後

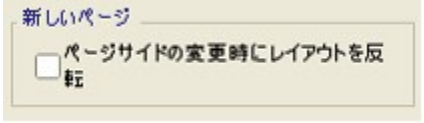
レイアウトの自動反転

ページを複製した時や前後に移動したときにこのレイアウト自動反転を使用して、左右の構成を反転させることができます。ページ外側の端にタイトルを配置したページを作成した場合などに便利な機能といえます。この機能をオンにしないままページを右側から左側に移動した場合、タイトルの位置は変わりません。

1つのページについて自動反転を有効にする場合は、[ページ]ホバーを開き、ページのサムネイルを右クリックします。表示されるメニューの下のほうに、自動反転に関するオプションが表示され、[レイアウトの反転]オプションを選択できます。これらのオプションは、空のテンプレート内のコンテンツの方向を変更することによって再び使えるよう変更できます。



レイアウトの自動反転を自動的に有効にする方法:
「編集」メニューの「ユーザー設定」をクリックします。左下の[ページサイドの変更時にレイアウトを反転]チェックボックスをオンにします。

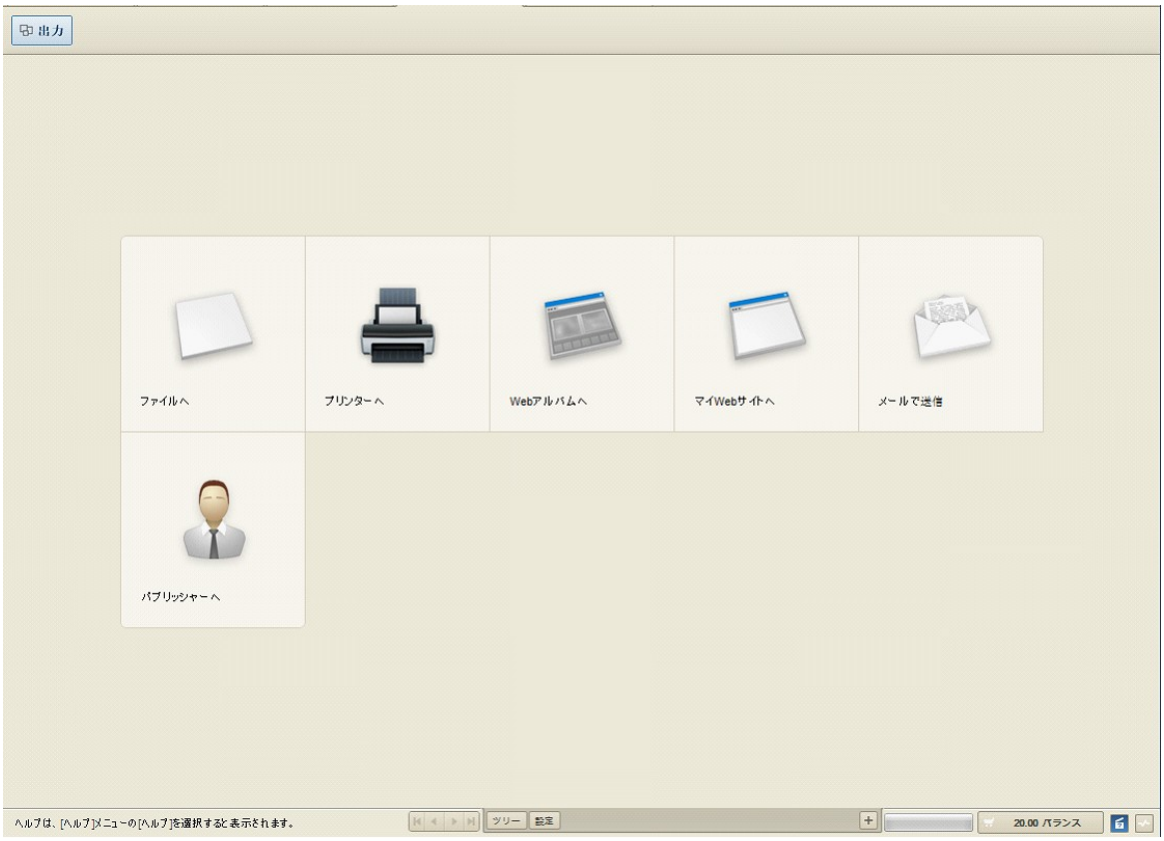


タブ(仕上げと共有)



タブは、校正刷り、印刷、FotoFusion外での共通のための仕上げを行います。利用可能なオプション

- ファイルへ: プロジェクトをファイルで保存して、印刷業者に送ることができます。
- プリンターへ: ローカルのプリンターで印刷を行うことができます。
- Webアルバムへ: 共有可能なスライドショー形式でLumaPixサーバーにプロジェクトをアップロードできます。
- マイWebサイトへ: ページをhtmlで作成し、Webサイトに貼り付けることができます。
- メールで送信: メールに組み込まれたhtml形式のプレビューを送信できます。



FotoFusion ファイル(.scrap 拡張子で保存) をコンピューター間、印刷施設や他の人のコンピューターに転送することはできません。
FotoFusionが正しく機能するには、画像とプロジェクトファイルのリンクの維持管理が必要です。[出力]タブでファイルを一般的に利用可能なファイル形式にレンダリングすることで、完成した作品を編集できない形式で他者(印刷業者など)に渡すことができます。

プロジェクトを編集可能な形式に変更する場合、プロジェクトをアーカイブ化する必要があります。これらのアーカイブは、ご自身がお使いのFotoFusionのライセンスタイプ以上のFotoFusionであれば、開くことができます。

□□□□□□□ □

jpg、.pdf、.tiff、.png、.bmp、.gif 形式など「単層(フラット)ファイル」での出力ができます。
「単層(フラット)ファイル」と呼ぶのは、フレーム、テキスト、背景などのレイヤーがすべて1つの画像になっているからです。

複数ページのPDFドキュメントの作成や、重構造のPSDファイルへのエクスポートができます(Photoshopでの色修正や画像編集に便利)。



タブをクリックし、オプションから[ファイルへ]を選択します。
すると、以下のような画面に切り替ります。



ファイル名: ファイル名を自由に入力してください。>> ボタンをクリックすると、事前に定義されたテキストタグ(exif データなど)から選ぶことができます。

ファイル種類:オプションの詳細はこちらをご覧ください。

ファイル名の付け方: ファイル名の付け方として事前に定義された幾つかのオプションが提供されています。オプションには、ページ番号付け、プロジェクト/ファイル名、アルバム製作業者の設定などが含まれています。

フォルダー: [>>]をクリックすると、システムでのファイルの保存先(フォルダー)を変更できます。

切り取りオプションのドロップボックス: [キャンバスのみをレンダー]はキャンバスのエッジに沿ってレンダリングします。[キャンバス + 余白をレンダー]は余白のエッジまでレンダリングします。[キャンバス + 余白 + オーバーハングをレンダー]はキャンバス外のアイテムも含めてレンダリングします。

トンボの表示: チェックをオンにした場合、レンダリングされたファイルは、プロジェクトの切り取り線(トンボ)が表示されます(プロジェクトで余白ゾーンも使用した場合などに便利です)。

ウォーターマークコラージュ: オリジナルのウォーターマーク作成方法について学び、画像を無許可で使用されることから守ることができます。

バナーの追加: カスタム バナーの作成方法についてさらに学び、作品をよりよい方法で宣伝できるかもしれません。

オーバーレイ画像の情報: お客様に校正刷りを送る場合、このオプションをオンに設定し、プロジェクト内のすべての画像のファイル名を表示させます。オーバーレイ画像情報に関する詳細は、「校正刷り」セクションをご覧ください。

解像度と品質: エクスポートするコラージュの解像度(サイズ)またはDPI を必要に応じて変更できます。DPI の設定により画像の解像度(サイズ)が調整され、画像の解像度(サイズ)の設定によりDPI が調整されます(どちらの値もキャンバス サイズと関連があるため)。

JPEGファイル形式で保存している場合、[品質]スライダーで画像保存時の圧縮量を設定できます。高圧縮ほど低品質でサイズの小さいファイルを生成します。低圧縮であれば、高品質でサイズの大きい画像ファイルを生成します。

カラープロファイル オプション

[解像度と品質]セクションに、以下の3つのオプションを提供しているドロップダウンボックスがあります。



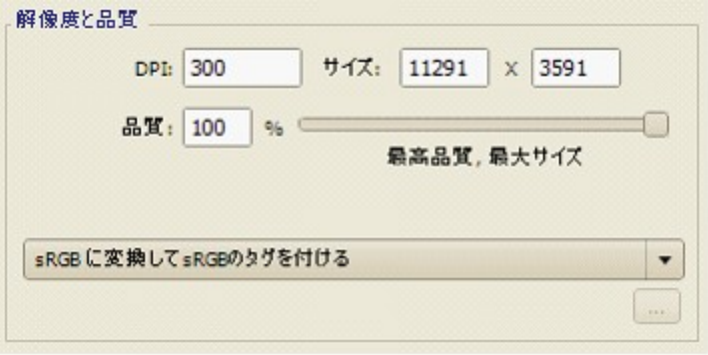
オプション 1: sRGBに変換してsRGBのタグを付ける(多くの場合に推奨)
このオプションは多くのユーザーに推奨されます。画像がsRGBである、タグがない、異なる色空間が使われている幾つかの画像を使用してい

る場合などにこのオプションを使用します。
FotoFusionは、それぞれの色空間を変換し、レンダリングされたファイルにsRGBタグを付けます。多くの写真ラボでは、sRGB色空間が画像に組み込まれていたかのような自然な形でsRGBを使用して印刷を行います。

オプション 2: プロファイルを変更しないまま進んで、共通プロファイルでタグ付け
このオプションが機能するには、画像/写真がすべて同じ色空間を使用していることが条件となります。
このオプションは、同じ色空間を使用して撮影し、同じプロファイルを持つコラージュとしてレンダリングする場合に使用できます。
コラージュをラボなどで印刷する場合は、レイアウトをsRGBに変換する必要があるかもしれません。sRGBファイル以外受け付けないかどうか、ラボに必ず確認してください。

オプション 3: プロファイルを変更しないまま進んで、選択したプロファイルでタグ付け
このオプションは、同じ色空間を使用して撮影したが、コラージュに使用する色空間は手動で選択するという場合に使用します。
このオプションは、画像/写真がすべて同じ色空間を使用している場合に最も効果が発揮されます。

3つ目のオプションを選択した場合、参照ボタン(…)をクリックして、プロファイルを追加します。コラージュをエクスポートした場合、選択した色プロファイル オプションも一緒に出力されます。



これらの値を設定したなら、ページのプレビューを見ることができます。プレビューにより、作業内容を等倍で確認できます。(注: ズームアウトすることはできませんが、ページをスクロールして詳細を確認することはできます)

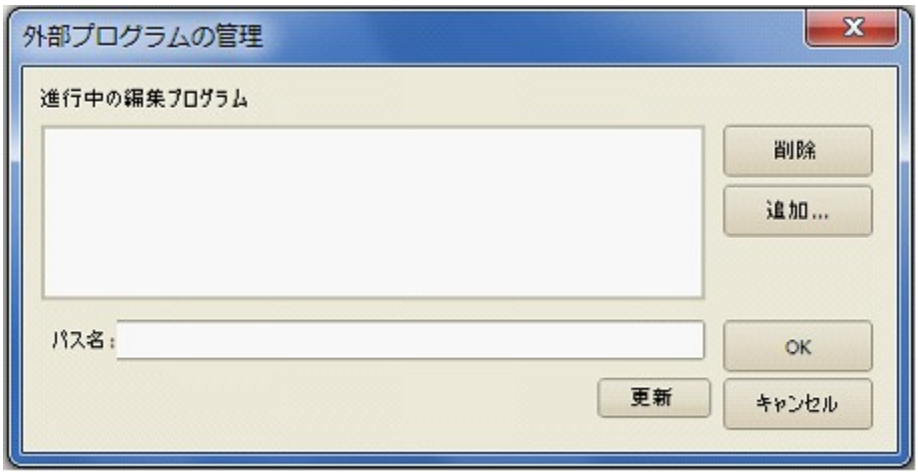
PDFの場合、ファイルのサイズは大きいが鮮明なテキストの[レイヤーおよびベクターのレンダー]とファイルのサイズが小さい[フラットページのレンダー]のオプションから選べます。

100%の倍率で表示する[実サイズ]とページ全体をウィンドウ内に表示する[ウィンドウに合わせる]を切り替えることができます。

設定が完了したら、プロジェクトをファイルにレンダリングします。

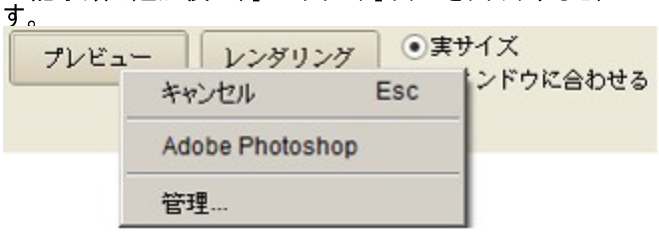
ローカルビューアー/外部ビューアー/外部エディター
出力ファイルを自動的に画像編集ソフトウェアで開くよう設定するには、このオプションを[外部エディター]に設定します。
　ローカルビューアー:処理画像を、真下にあるプレビュー画面で表示します。
　外部ビューアー/外部エディター:レンダリングした出力ファイルを指定したツールで開きます。
なぜビューアーとエディターで分けられているか?
多くのグラフィック ユーザーは、複数のアプリケーションを利用しており、大きく分けて2種類、起動が早く画像の表示を目的としているビューアー(IrfanView等)と起動が少し遅くペイントや他のツールで編集を行うためのエディター(Photoshop等)があります。

FotoFusionでは、2種類のカテゴリーにプログラムをそれぞれ設定し、[レンダリング]ボタンのクリック時にどちらを使用するか選ぶことができます。[レンダリング]をクリックすると、出力をどこで表示するかの選択肢が表示されます(エディターを未設定の場合、[管理]をクリックして設定を行います)。使用するエディターを選択してください。



Photoshop等の新しいプログラムを追加する方法
1. [追加]をクリックします。
2. 実行したいプログラム、Photoshopの場合は、C:\Program Files\Adobe\Photoshop 7.0\Photoshop.exeをハードドライブ内のフォルダーから探します。
3. [OK]をクリックします。

上記手順で追加後は、[レンダリング]ボタンをクリックすると、Photoshopでの編集のために出力(起動)するかどうかのオプションが表示されます。



キャンバス全体/ページを2つに分割/ページ区切りに従う

FotoFusion エクストリーム版は、見開きとシート(1枚)の両方をサポートしています。
アルバムには、両面、つまり隣接した2ページが表示されるページ設定が使用されることがあります。見開きの2ページにわたり、大きなパノラマ画像や背景を挿入する場合に便利です。印刷業者の中には、見開きページの1枚をそれぞれのページに分割して2枚で提出するよう求められることがあります。

[キャンバス全体]がデフォルトでの設定ですが、見開きを1ページとしてレンダリングします。
[ページを2つに分割]を選択すると、見開きを2つのページ/ファイルに分割します。

プロジェクトで**プリンター分割印刷**を選択した場合、事前に定義したセグメントに従ってファイルをレンダリングできます。

選択したページ/全ページ/ブックをアセンブル

FotoFusion エクストリーム版やYearbookFusion は複数ページのレンダリングをサポートしています。
[選択したページ]を選択すると、[作成]タブに表示されているページのみレンダリングされます。
[全ページ]を選択すると、一度にアルバム全体をレンダリングします。その際、別々のファイル(例: Sanchez Wedding 001.jpg, Sanchez Wedding 002.jpg)、または1つのPDFのいずれかにレンダリングされます。
[ブックをアセンブル]は、現在のプロジェクトを無視して、[ファイル]メニューの[新規プロジェクト]を開きます。複数のプロジェクトを選択し、それらを順次レンダリングするよう選択できます。このオプションは、複数のプロジェクトをブックにアセンブル/レンダリングする場合に便利です。

[ページを2つに分割]または[ページ区切りに従う]オプションを選択した場合、[プレビュー]と[レンダリング]ボタンが有効になり、レンダリングを

行う部分を指定できます。エクスポートするセクションのサムネイルとクリックします。[ページ区切りに従う]を選択した場合、必ず[選択ページ]を使用します。

カバー オプション

FotoFusion エクストリーム版は、カバーページ を1つのページの種類として扱います。レンダリング時、印刷業者の指定に従って、カバーを1つのファイルのまま(分割せず)レンダリングするか、背表紙で分割(表表紙と背、背表紙と背で分割)するかを選択できます。)

ファイル種類

FotoFusionは、BMP, GIF, JPEG, PNG,TIFへのレンダリングができます。エクストリーム版を使用しているユーザーであれば、さらにPSDやPDF形式にも対応しています。

JPGは圧縮された形式で、ディスク容量をとらない代わりに画質が損なわれてしまいます。圧縮が小さければ画像の鮮明度は上がり、ファイルも大きくなります。逆に圧縮が大きければ鮮明度は下がり、ノイズが大きくなりますが、ファイルサイズは小さくなります。JPGエクスポート時に画質を向上させることで、ファイルサイズが大きくなりすぎずに見た目もいい画像を維持できます。

PNGファイルのみ透過を保存できますので透過の背景がある場合は、以下の手順が必要です。

1. 不透明度を0に設定して、透明な背景を持つキャンバスを作成します。
2. PNG ファイル形式を選択します。
3. 画像のレンダリングを行います。

BMPファイルはサイズが非常に大きくなりますが、損失はほとんどなく、品質低下などの心配がない形式です。また、Windows環境下での作業に主に用いられる形式でもあります。TIF形式はBMPよりもコンパクトですが、JPGに比べるとやはり大きいです。

PSDファイルは、Adobe Photoshopでのみ開くことができ、編集に適した重構造(マルチレイヤー)のドキュメントを生成します。FotoFusion内のすべての要素はそれぞれ別個のレイヤーにレンダリングされます(影や画像マスクを含む)。これにより、修正が必要なレイヤーのみを編集することができます。



テキストはグラフィックとしてレンダリングされ、編集はできません。

PDFファイルは Adobe Acrobat Readerや関連ソフトで開くことができます。PDFファイルの場合、[解像度]セクションでさらにオプションを設定できます。

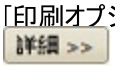


[フラットページのレンダー]を選択した場合、単層(フラット)ファイルとしてレンダリングされ、サイズは小さく、レイヤーはありません。しかし、[レイヤーおよびベクターのレンダー]を選択した場合、ファイルは大きくテキストは鮮明になります。また、[レイヤーおよびフラットテキストのレンダー]はテキストがビットマップになります。

複数ページのプロジェクトは、服数ページある1つのPDFファイルまたは1ページずつ別のファイルとしてレンダリングされます。

□□□□□□□□ □

プロジェクトをローカル プリンターで印刷するには、[ファイル]メニュー > [印刷/出力] > [プリンターへ]を選択します。

[印刷オプション]ウィンドウは以下の通り表示され、この例では、複数ページあるプロジェクトの印刷に関して表示されています。


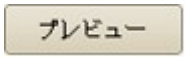
ボタンをクリックすると、表示されていない詳細な印刷オプションが右側に表示されます。



単一/複数ページを印刷
複数ページあるプロジェクトは、左側にサムネイルが表示されます。印刷するサムネイルには、チェックマークが表示されます。印刷しない場合は、チェックマークをはずします。

[すべてのページ]を選択するか、1つのレイアウトを指定してそのレイアウトに該当するものをすべて印刷することができます。
[すべて]をクリックすると、すべてのページが選択されますが、[現在のページ]をクリックすると、[作成]タブで作業していたページのみ選択されます。

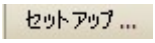
出力のプレビュー表示

印刷する出力をプレビューで確認する場合は、

をクリックします。印刷する出力ファイルを画面上でプレビュー表示できます。

プレビュー表示の際、ページの上部には以下のボタンが新たに表示されます。

- プレビューを印刷
- 前/次のページへ
- 2ページ表示
- ズームイン/ズームアウト
- 閉じる(プレビュー画面を閉じて作業に戻る)

プリンターやプロパティの変更: 

ボタンをクリックすると、別のプリンターを選択、または印刷品質などプリンターのプロパティを変更できます。

スケーリング: FotoFusionで用意されている印刷オプションは2種類です。

- **リサイズなし**(複数ページの印刷の場合を含む)
  コラージュ作成時に指定した比率のとおりにコラージュを印刷します。
  例えば、レイアウトが6x6インチの場合、8.5x11の紙であっても6x6インチで印刷されます。
  また、レイアウトが36x24インチの場合、8.5x11の紙からはみ出してしまいます。

フル余白や切り取り線は1:1で印刷する場合にのみ利用できます。これらのオプションは、正確に印刷する(寸法が計算されている出力)場合にのみ有効で、[合わせる]オプションはページに合うように画像のサイズが変更されるため、使用できません。

- **必要に応じてリサイズ**
  レイアウトが印刷ページより大きい場合は縮小して、印刷ページより小さい場合は拡大して印刷されます。
  出力の比率が正確である必要がない場合(紙を無駄なく使用したい場合など)は、このオプションの使用をお勧めします。

フル余白: 余白領域を含むキャンバスを作成した場合、**[フル余白領域の追加]**オプションを有効にすると、余白の部分も印刷されます。
切り取り線(トンボ): 余白領域を含むキャンバスを作成した場合、**[切り取り線を引く]**を有効にすると、キャンバスと余白の領域を判別できる切り取り線も表示して印刷します。

印刷方法
印刷紙の中央に印刷されるよう設定できます。
また、印刷紙の方向に合わせて印刷することもできます。例えば、横方向のレイアウト(20x10 インチ) を使用しているとします。それを8.5x11インチのページに印刷したい場合、20インチ幅を8.5インチの縦軸に合わせて縦方向の紙に印刷するか、比率が合うようページを横方向に回転させて20インチ幅を11インチにあうよう印刷することができます。

切り取り
切り取りには、以下の2つのオプションがあります。

- キャンバスの外にあるフレームも含む:キャンバスの枠からはみ出しているフレームがある場合、このオプションを選択することで、それらのフレームもしっかり含めることができます。シャッフルされたコラージュの回転したフレームの補正などのために、このオプションを選択すると、フレームが切り取られることなく印刷されます。

このオプションを使用して1:1で印刷する場合、印刷されるキャンバスの比率が微妙に変化することにご注意ください。

- キャンバス枠で切り取る:このオプションを有効にすると、キャンバスの枠に沿って切り取られるので、枠からはみ出しているフレームなどはすべて切り取られた状態で印刷されます。

カラー プロファイル
[プリンターのカラー プロファイルを使用する]オプションを選択すると、指定プリンターの現在のカラー プロファイル設定に基づいて印刷を行います。[セットアップ]をクリックして、Wiindowsの[プリンターの設定]でプロファイルを指定します。このオプションが無効な場合、プリンターのカラー プロファイルは無視され、コラージュを直接プリンターで処理します。

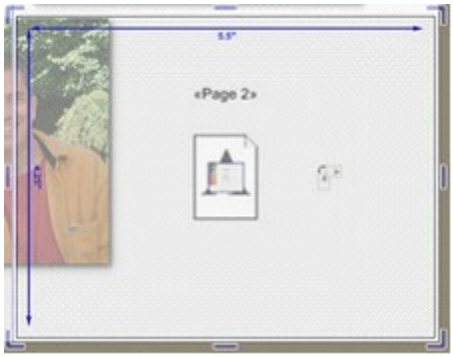
用紙種類

このオプションは、印刷オプションを変更し、ページの位置が左か右かによってページを回転させ、紙に印刷される画像などの適切な位置を提案します。

オーバーレイ画像の情報
チェックボックスをオンにすると、[オーバーレイ画像情報]での設定に応じて、画像ファイルの情報をキャンバス上に表示します。ファイル名、フレーム番号、その他のEXIF情報を含むラベルを画像とともに表示できます。この機能は、校正刷りとクライアントとのやり取りの2通りの方法で活用できます。

プリンター　セグメント

エクストリーム版では、プロジェクトをより小さなセクションに分けたセグメントを作成して、様々な方法で組み立てなおすことができるようになっています。







「プリンター ページ分割セグメント」とは、サイズ変更可能な半透明なフレームで、キャンバスの上に表示され、大きなキャンバスが印刷可能な範囲でどのように分割されるかを示しています。

この分割セグメントでは、ページ数が表示されます。

プリンターが出力可能な範囲より大きなレイアウトの印刷を幾つかのピースに分割し、再度正確につなぎ合わせることができます。

「セグメント」も、サイズ変更可能な半透明なフレームでキャンバス上に表示されます。キャンバスの一部で、プロジェクト内の他の部分に移すことができます。

セグメント番号が表示されます。

この機能は、印刷に適したページ配置のテンプレートを作成する場合、繰り返しコピーする場合、扱いにくい回転を含むプロジェクトでの作業する場合などに便利です。

プリンター ページ分割セグメント

例えば、6x12 のコラージュを印刷するとします。しかし、プリンターでは、8.5x11までのサイズしか印刷できない場合を考えます。



まず、[表示]メニューの[ページ区切りの表示]を選択します。

初めて作成する場合、ページ全体を覆うセグメントが表示されます。

これにより、複数のプリンター ページ分割セグメントがページ上のグリッドのように並んで表示されます。



この例では、ページが6つに分割されています。それぞれの分割セグメントは、大きなパズルのそれぞれのピースのように、ピッタリ配置されています。上の画像に表示されている赤い楕円は、花嫁の画像のエッジに沿って少し右に動かした方がよいことを意味しています。

レイアウトは印刷ができる状態になりました。それぞれの分割セグメントは別々に印刷され、すべてをあわせるとピッタリ1枚になります。出力全体の1枚目は、以下のようになります。



それぞれの分割セグメントの切り取り線やフル余白は該当オプションをオンにすると、表示されます。

手動で分割セグメントを追加するには、[挿入]メニューの[印刷区切り]を選択するか、キーボード ショートカットのCtrl+Shift+Pキーを使用します。

他の使用例: モザイク ポスター

セグメント

セグメントは、プロジェクトの一部分割して、プリンターにやさしい、またはレンダリングしやすいページに組み立てなおす場合に使われます。

右の例は、マーケットプレイスがテンプレートとして提供しているZカードの1つです。このテンプレートには、右のカバーページ、レイアウトページ、エクスポートに適したページが2枚、印刷に適したページが1枚含まれています。



テンプレートには空のフレームが含まれており、新しい画像を使って繰り返し何度も使えるようになっています。

右側のデザインページで、印刷やエクスポートされることはないので、手順やテンプレートにバリエーションを付けることができます。

ここでは、カードの両面を一度にデザインしていますが、印刷やエクスポートを必ずしも同時に行う必要はありません。

キャンバスのサイズよりも、実際のカードのサイズのほうが大切です。最終的に印刷やエクスポートに使用される要素となりますので、非常に重要になります。



セグメントを作成するには、新しいページに移動させるページの部分を覆うように、Sキーを押しながらドラッグしてフレームを描画します。

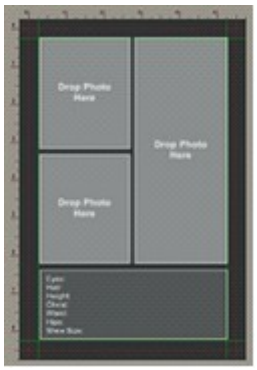
[挿入]メニューの[印刷区切り]から調整可能なフレームをキャンバスに挿入することもできます。



必要に応じて、セグメントのサイズを正確なサイズに合わせます。

セグメントのサイズ(範囲)の指定が完了したら、以下の方法で、他のページに転送する用意を整えます。

必要に応じて、比率を合わせて新しいページをプロジェクトに追加することもできます。



新しいページでは、[挿入]メニューの[参照領域] > [ターゲット]オプションを使用します。

利用可能なセグメントのドロップダウン リストが表示されます。同じセグメントを1ページで何箇所にでも使用できるので、同じアイテムをシートにして印刷することもできます。ページ上の各セグメントは紙をより有効に活用するために、配置を変更できます(セグメントを回転させ、より多く配置し、無駄なスペースを減らす)。

オリジナルのレイアウトを編集すると、印刷/エクスポート可能なページでその変更が反映されます。

他の使用例: 名刺(1枚に複数の名刺を印刷する場合)、二つ折りのグリーティングカード(上下逆さに印刷するのを避けるため)、小さい要素を使った大きな合成作品をプリンターで効率よく印刷する等。

Web□□□□□□□ □

FotoFusionを使用すると、LumaPixのサーバーにプロジェクトをアップロードすることができます。その際、カスタム設定可能なトランジションを含むオンラインのスライドショーとしてアップロードされます。URLとQRコードが提供され、友人、家族、クライアントにアルバムを簡単に共有できます。この無料サービスは、サーバー上で30日間利用でき、最後のスライドにLumaPixの宣伝が表示されます。

アップロードすると、プロジェクトにはアドレスが提供され、どんなコンピューターやタブレット(iPhone/iPad /Android /Blackberry/PC/Mac等)からもアクセスできるようになります。アドレス(URL)をFacebookやTwitterに公開したり、メールで送ったりできます。

Webアルバムに公開する場合、まずプロジェクトをForoFusionで開きます([ファイル]メニュー>[開く])。次に、[出力]タブの[Webアルバムへ]を選択します。



「プロジェクトを今すぐ公開」をクリックして、LumaPixサーバーにプロジェクトをアップロードします。



プロジェクトがLumaPixサーバーにアップロードされます。



アップロードが完了すると、Webアルバム管理画面が表示されます。



Webアルバムの共有と管理

Webアルバム管理画面の上部に表示されている6文字のアルファベットとQRコードは、あなたのプロジェクトを識別するための固有のものです。

アルファベットは、アルバムへのアクセスを可能にするURLの一部でもあります。

プロジェクトの**タイトル**は、見分けやすいものに変更できます。

オンラインURL:**[クリップボードにコピー]**をクリックしてコピーしたURLを手動でオンラインメール(gmail、hotmail、yahoo mail等)やメッセンジャーに貼り付ける(Ctrl+Vキー)ことができます。

[ブラウザで表示]をクリックすると、デフォルトのブラウザが起動しでアルバムが表示されます。

メールでアルバムを共有: メールボタンをクリックすると、デフォルトもメール アプリケーションで新規メール作成画面が起動し、メール本文にURLが自動的に入力されます。

Twitter/Facebookボタンをクリックすると、それぞれのアカウントにリンクを投稿できます。投稿にはログインが必要になります。
QRコードボタンをクリックすると、QRコードが拡大表示され、携帯等でのスキャンができるようになります。

LumaPixサーバーからアルバムを削除する場合は、**[削除]**をクリックします。アルバムは30日間で自動的に削除されますが、再度アップロードすることができます。

アップロード後の管理は、[Webアルバムへ]の画面で**[共有済み]**オプションを選択します。

オンラインでアルバムを閲覧

URLをコピー(Webアルバムマネージャーから直接、またはメール/Facebook/Twitterなどのリンク)し、Werブラウザに貼り付けると、アルバムといくつかの指示が表示されたページが表示されます。

ページ間の移動は、スクリーンのスワイプ(左で戻り、右で次に移動)をマウス(タッチスクリーンの場合は指)で行います。



Images courtesy of Richard Esposito.

下にスワイプすると、共有、トランジションの変更、スライドショー表示などのオプションが表示されます。[Show guide]を選択すると、指示(手順)の画面に戻ります。

上にスワイプすると、すべてのページのサムネイル プレビューが表示されます。サムネイルを選択すると、そのページにズームインします。



Web□□□□□□ □

FotoFusionに統合されたFTPクライアントがソフトウェアに含まれているため、オンライン フォトギャラリーとしてWebサイトにコラージュを直接公開できます。

自分のWebサイトに直接公開

[Webサイトに公開]タブを選択します。



Webサイトへのログイン情報を入力し、遠隔ファイルを保存するフォルダー名を選択します。

Webにコラージュを公開すると、[公開済みローカルコラージュ]の一覧に表示されるので、作業の確認が簡単にできます。

元の画像を含めるかどうかの判断は、この時点で行う必要があります。
公開された元の画像は、ファイル名に加え、参照しやすいようにFotoFusionフレーム番号が含まれます。

今すぐ公開するか、[画質]、[ウォーターマーク/バナー/テーマ]タブでの追加オプションの設定を行うことができます。

以下のオプションは[マイWebサイトへ]公開と[メールで送信]で共通です。

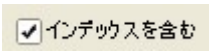
- 元の画像を含む
- 画像の属性
- ウォーターマーク作成
- バナー

オプションの設定を行ったら、プレビュー表示またはサーバーに結果を送ることができます。

すでにオンラインWebギャラリーをお持ちの場合、そこからコラージュを作成することもできます。

Webページの画像をFotoFusionで使用するには、Webブラウザに表示されている画像をFotoFusionにドラッグするだけ、と非常に簡単です。
あっという間に完了です!

複数ページの公開
複数ページのプロジェクトを開いている場合、公開ウィンドウには、以下の2種類のオプションが表示されます。



このオプションを選択した場合、生成ファイルに全ページのサムネイル プレビューが追加されます。



すべてのページ を選択した場合、プロジェクト全体を公開できます。1ページずつ公開する場合は、[選択したページ]に切り替えます。

HTMLカスタム テーマ

メールとWeb出力でHTMLテーマを設定できます。

□□□□□ □

FotoFusion の 出力 タブを使うと、友人などにメールで画像を共有するプロセスを簡素化できます。

ポストカードサイズのコラージュや低解像度の校正刷りをクライアントに送ることができます。

基本設定

初めてメールを送信する場合、[ISP設定]タブをクリックします。[送信者]セクションのアドレスと名前は、メールを受け取る人が誰からのメールか判別でき、かつ返信できるための必須情報です。メールの送信には、作業のしやすさを考慮して、LumaPixサーバー(お客様のISPを使用)を使用することをお勧めします。



メールの送信

メールの設定を行うには、 エンベロープ タブをクリックします。

初めてメールを送る相手をリストに追加するには、 新規(N)... をクリックします。



受取人名とアドレスは、受信者一覧に保存され、再度メールを送信する必要がある場合などに活用できます。受信者一覧で受信者を選択するだけで、メールを送ることができます。



ボタンをクリックすると、Microsoft のアドレス帳から連絡先をFotoFusionにインポートでき、登録し直す必要はありません。

リストを編集するには、

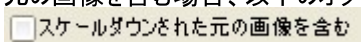
ボタンをクリックします。

この連絡先リストは、[マイコラージュ]フォルダー(C:\My Documents\My Collages)内にテキストファイルで保存されますので、リストを直接編集する際、参考にしてください。Windowsのメモ帳で開いて編集できます。

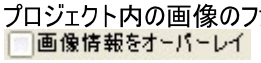
元の画像を含む
メールには、コラージュだけ添付することもできますが、コラージュに含まれる画像をスケールダウンして一緒に送ることもできます。後者の場合、メールを受け取ったら、コラージュ内の画像をクリックして、元の画像を表示することができます。



元の画像を含む場合、以下のオプション、[スケールダウンされた画像を含む]のチェックボックスをオンにします。

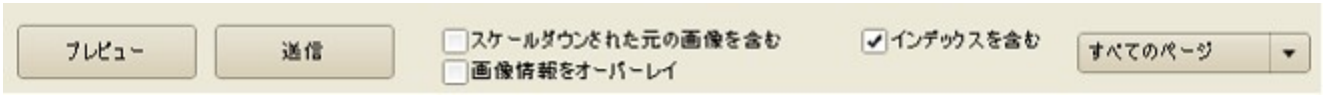


プロジェクト内の画像のファイル名も含めるには、以下のオプション、[オーバーレイ画像情報]チェックボックスをオンにします。

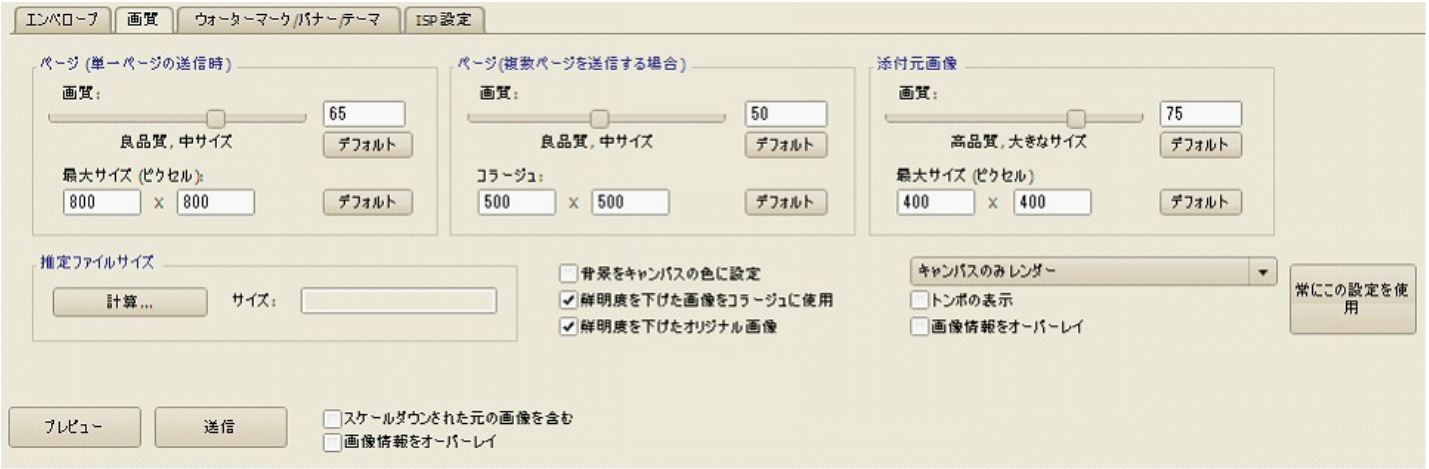


複数ページをメールで送信

送信時に、複数ページ(全ページ)または1ページだけ(選択ページ)を送るかを選ぶことができます。



圧縮、画像サイズ、その他の画像オプションの設定
[画質]タブをクリックすると、いくつかのオプションから選択することができます。



コラージュと添付される元の画像の画質は、スライダーを動かすか、ピクセルを直接入力して変更できます。デフォルト設定のままでご利用になることをお勧めいたします。

[背景をキャンバスの色に設定]をオンにした場合、キャンバスの色が、メールの背景色として使用されます。

[鮮明度を下げた画像をコラージュに使用](スケールダウンされた画像を鮮明にする)オプションは常にオンに設定することをお勧めします。これにより、画像を可能な範囲で最も高品質な状態で受け取る事ができます。

切り取りオプションは、ドロップダウンボックスから選ぶことができます。
[キャンバスのみレンダー]を選択すると、キャンバスのエッジ部分から外はすべて切り落とされ、キャンバスそのもののみが残ります。キャンバス外にもドロップした画像が残っている場合などに、表示しないようオンに設定するとよいでしょう。一方、オフにすると、キャンバスのエッジ部分に残っている画像などが表示され、興味深い効果となるかもしれません。
印刷業者等からの指定がある場合は、**[キャンバス+余白をレンダー]**を指定することもできます(エンハンスド版とエクストリーム版のみ)。また、[作成]画面上のすべての画像を表示する場合は、**[キャンバス+余白+オーバーハングをレンダー]**を選びます。

ISP設定(任意のオプション)
デフォルトの設定では、FotoFusionを解して送られたメールがLumaPixサーバー経由で送信されます。メールはFotoFusion→www.LumaPix.com→メール受信者という流れで送られ、通常のメールサーバーを経由しません。

認証済みユーザーは、LumaPixメールサーバーを使い続けるか、通常のISPを使ってメールを送るかを選ぶことができます。

自分のISPを使用するメリット
1. 送信メッセージサイズ最大が高くなる(LumaPix.com経由のメールには、アカウントの使いすぎ防止のため、メールのサイズ制限がかけられているため)

2. 最初から最後まで独自のメール パイプラインを使用

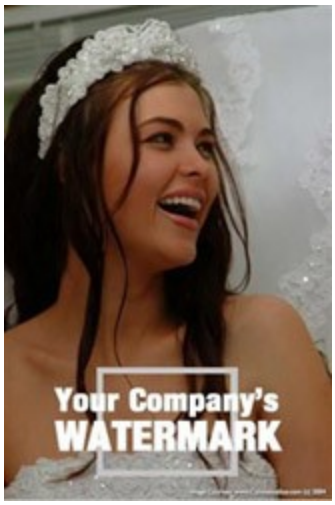
ISPを使ってメールを送る場合、[自分のプロバイダのメール設定を使って送信]チェックボックスをオンにします。自動的に接続するには[設定の検出]を選択し、[設定のテスト]をクリックして自分にテスト送信できます。

ウォーターマーク/バナー/テーマ

ウォーターマークの追加
出力にウォーターマークを追加する場合、[ウォーターマーク/バナー/テーマ]タブをクリックします。



ウォーターマークを追加した画像は、お客様に画像に間違いがないかを確認してもらうためのもので、ローカルに保存することを目的としたものではありません。



ウォーターマーク作成方法

再編集が必要なグラフィック コンテンツを使用の場合

1. Adobe® PhotoShop®などの画像編集ソフトウェアを使って、透明な背景を持つ画像を作成します。
2. 画像をPBGファイルで保存します。その際、ウォーターマークの透過を有効にします。
3. PNGファイルを、FotoFusionがインストールされているフォルダーの[Watermarks]フォルダーに置きます。

テキストまたは事前抽出済みグラフィックを使用の場合

1. FotoFusionで新しいキャンバスを開きます。
2. キャンバス フレーム画像の不透明度を0に設定するか、キャンバス フレームを削除します。
3. 必要なテキストまたはグラフィックを追加します。
4. ファイルをPNG形式にレンダリングし、FotoFusionがインストールされているフォルダーの[Watermarks]フォルダーに置きます。

ウォーターマーク追加方法

1. ウォーターマークとして使用するファイルを探します。
2. ウォーターマークを追加するコラージュのチェックボックスをオンにし、必要に応じて(元の画像にもウォーターマークを追加する場合は)元の画像も選択します。
3. グリッドを使用して、ウォーターマークの位置を指定します(上部、下部など)。

4. スライダーで、ウォーターマークの不透明度を設定します。

バナーの追加
ウォーターマーク同様、バナーはFotoFusion、Photoshop、その他の類似製品で作成し、メールやWeb出力に貼り付けることができます。

バナーとは、ハイパーリンクが組み込まれた画像のことで、ユーザーがクリックすると指定のURLに移動します。例えば、メールの受信者がバナーをクリックして、送信者のWebサイトなどを見るよう設定する事が多いでしょう。

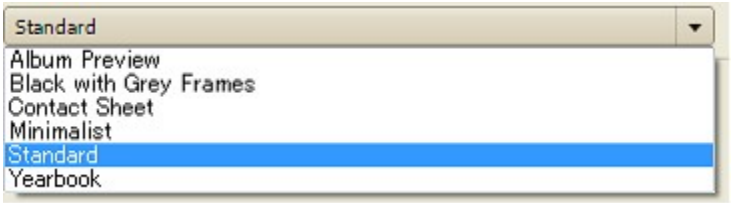
[リンク]では、バナーをクリックしたときのリンク先のアドレスを指定します(例:. http://www.WEBADDRESS.comなど)。
[テキスト]では、メール受信者がバナーにマウスオーバーした時に表示されるテキストを指定します。
[バナーをコラージュの外に配置]チェックボックスは、コラージュの外か中のいずれかにバナーを表示するかを変えることができます。

メールとWebへの公開時のテーマ

FotoFusionでは、メールやHTML公開に使用するテンプレートをWebサイトや個人設定に合うものに変更できます。FotoFusion には、幾つかのテームがバンドルされており、[ウォーターマーク/バナー/テーマ]タブで変更できます。

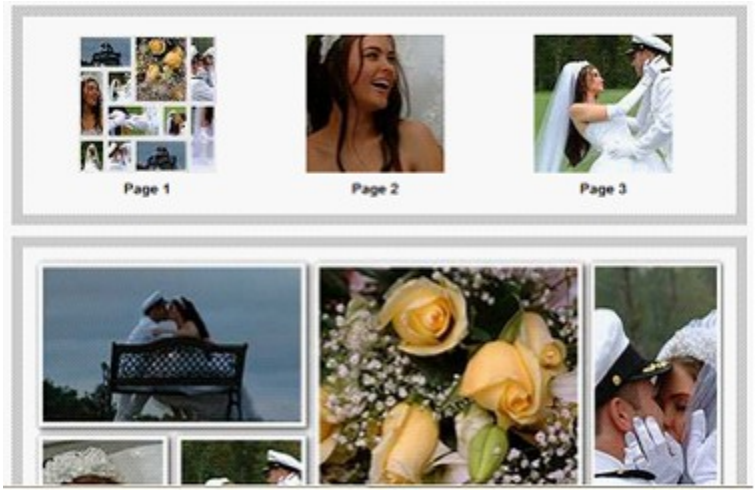
- Standard: コラージュには、通常の白の枠が表示されます。
- Black with Grey Frames: コラージュは、黒の背景とグレーの枠で表示されます。
- Minimalist: コラージュを白い背景で、枠や他の情報を一切含まない形で表示します。
- Contact Sheet (該当項目を参照してください)
- Album Preview (該当項目を参照してください)

[ウォーターマーク/バナー/テーマ]タブでテーマを変更すると、画像と共に背景や枠が表示されるので、出力の表示方法も変更さます。テーマを変更するには、[ウォーターマーク/バナー/テーマ]タブのテーマセクションのプルダウンメニューから選択します。



Black with Grey Frames、Minimalist、Standardの3つのテーマは、作品の良さが際立つような簡単な効果を提供します。

Album Previewは、メールの最初にページのサムネイルが含まれるので、複数ページあるアルバムなどに活用できます。



Contact Sheetは、すべてのユーザーにとって使いやすいでしょう。コラージュをレンダリングするのではなく、キャンバス上の画像はファイル名を

含むサムネイルとして表示されます。
** 注:[スケールダウンされた元の画像を含む]オプションをオンにする必要があります。



オリジナルのテーマを作成
メールやWeb上に公開するページで使用するカスタム テーマを作成することができます。オリジナルのテーマを作成する場合、FotoFusion に含まれているテーマ(C:¥Program Files¥LumaPix¥FotoFusion V4¥Themes)を確認し、構造を理解した後にオリジナルのテーマのカスタマイズを行うことをお勧めします。

以下の手順は、FotoFusion の[テーマ]フォルダー内にあるサンプル テーマの構造やデザインを見ていることを仮定して記載されています。

テンプレートは[テーマ]フォルダー内にテーマごとに作成する必要があります。テンプレートには、以下のファイルが含まれています。

email.htm
index.htm
page.htm
photo.htm

注: テーマのデザインに使用したすべての画像は、[画像]サブフォルダーに保存します。

email.htm
メール送信に必要なデザイン全体を含む特別なファイルです。メール内で繰り返し使われる部分は特別なタグで囲まれています。

さらに含まれている種々のトークンは、デザインをどのようにレンダリングするかFotoFusionに知らせる役割を持つものもあります。これらトークンの一覧は以下に記載されます。サンプルのhtmlファイルを見て、どのトークンがあなたのデザインに一番よいかを確認してください。

“HEADER SECTION”タグは、htmlのどの部分をメールの最初に使用するか指定します。

```
<!--START HEADER SECTION-->

<!--END HEADER SECTION-->
```

INDEX SECTION タグは、インデックスがメールのどこに表示されるか指定します。START/END INDEX THUMBNAILタグを含む必要があり、各ページのサムネイルに対して繰り返し使われます。

```
<!--START INDEX SECTION-->

    <!--START INDEX THUMBNAIL-->

    <!--END INDEX THUMBNAIL-->

<!--END INDEX SECTION-->
```

PAGE SECTION タグは、email.htmのどの部分をページ上で使用するかを指定します。このタグにはさまれるhtmlコードは、プロジェクト内のすべてのページで繰り返し使われます。

<!--START PAGE SECTION-->

<!--END PAGE SECTION-->

PHOTO SECTION タグは email.htm のどの部分をプロジェクトの画像を使用するかを指定します。このタグにはさまれるhtmlコードは、プロジェクト内のすべての画像で繰り返し使われます。

<!--START PHOTO SECTION-->

<!--END PHOTO SECTION-->

FOOTER SECTION タグは、htmlのどの部分をメールの最後に使用するか指定します。

<!--START FOOTER SECTION-->

<!--END FOOTER SECTION-->

index.htm

このページはWeb公開のみで使用され、メールとは関係ありません。正しくレンダリングするために、特定のタグとトークンが必要になります。サンプルのindex.htmでこのファイルの必要とされる構造を確認してください。

START/END THUMBNAILタグは、各ページのサムネイルに対して繰り返し使われます。

<!--START INDEX THUMBNAIL-->

<!--END INDEX THUMBNAIL-->

page.htm

このページはWeb公開のみで使用され、メールとは関係ありません。正しくレンダリングするには、特定のタグは必要ではなく、様々なトークンのみが必要となります。サンプルのpage.htmでこのファイルの必要とされる構造を確認してください。

photo.htm

このページはWeb公開のみで使用され、メールとは関係ありません。正しくレンダリングするには、特定のタグは必要なく、様々なトークンのみが必要となります。サンプルのphoto.htmでこのファイルの必要とされる構造を確認してください。

トークン

デザイン内に使用できる様々なトークンの意味の詳細は、以下の一覧をご覧ください。他と同様、サンプル テンプレートでどのように利用すべき確認することをお勧めします。

{FF_EMAIL_SUBJECT}: メールの件名

{FF_EMAIL_MESSAGE}: メールの本文

{FF_EMAIL_BANNER}: LumaPix メール内バナー（試用版、エッセンシャル版のユーザーは、email.htmで必須）

{FF_PROJECT_MAX_WIDTH}: プロジェクト内で一番横幅の広い要素の値

{FF_PAGE_NO}: ページ数

{FF_NB_PAGES}: 総ページ数

{FF_TO_PREVIOUS_PAGE}: 前のページへのリンク

{FF_TO_FIRST_PAGE}: インデックスへのリンク

{FF_TO_NEXT_PAGE}: 次のページへのリンク

{FF_PAGE_DIRECTORY}: ページを代表する画像のディレクトリー

{FF_PAGE_FILENAME}: ページを代表する画像のファイル名

{FF_PAGE_THUMBNAIL}: ページを代表するサムネイル画像のファイル名

{FF_PAGE_THUMBNAIL_INFO}: ページ サムネイルのテキスト情報

FF_LINK_TO_PAGE_{FF_PAGE_NO}: 現在のページへのリンク

FF_LINK_TO_INDEX: インデックスへのリンク

FF_PHOTO_MAP_FOR_PAGE{FF_PAGE_NO}: 各ページの画像マップ名

FF_PHOTO_MAP: 各ページの実際の画像マップ

FF_TO_PREVIOUS_PHOTO: 前の画像へのリンク

FF_TO_PARENT_PAGE: ペアレント ページへのリンク

FF_TO_NEXT_PHOTO: 次の画像へのリンク

FF_PHOTO_NO: 画像番号

FF_LINK_TO_PHOTO_{FF_PHOTO_NO}: 現在の画像へのリンク

FF_PHOTO_DIRECTORY: 写真を代表する画像のディレクトリー

FF_PHOTO_FILENAME: 写真を代表する画像のファイル名

FF_PHOTO_DOTSCRAP_LINK: dotScrap 要素へのリンク(ローカル内の画像ではない場合)

FF_PHOTO_WIDTH: 画像の幅

FF_PHOTO_HEIGHT: 画像の高さ

FF_PHOTO_DESCRIPTION: 画像の説明

カスタム タグをメールに追加

エクストリーム版では、ソース画像のEXIF情報をメールのテーマに追加することもできます。

メールのテーマで既存のカスタム タグの以下の情報を編集する必要があります(設定が上書きされます)。

%name%.%type%

Date:

%date%

Photo Number:

{FF_PHOTO_NO}

Focal Length:

%focallength%

Shutter Speed: %shutter%

この例では、"Shutter Speed" を "Last Name"と置き変えます。

テーマ用に作成したフォルダー(C:¥Program Files¥LumaPix¥FotoFusionv4¥Themes¥ExifEmail) を開き、さらにWindowaのメモ帳でemail.htm を開きます(Word では開かないでください。html コードが含まれており、レンダリングに適さなくなってしまいます)。

この場合、"Shutter"を検索します。

以下の表示が現れます。

<td style="border:solid 0px #CCCCCC; background-color:#F2F2F2; font-family: Arial, Helvetica, sans-serif; font-size: 10px; font-weight: bold; color: #000000;">Shutter Speed: %shutter%</td>

ほとんどが形式に関する情報で、必要な情報(Shutter Speed*: %shutter%*)は最後にあります。

この部分を任意の名前とタグIDと置き換えます。例えば、*Last Name: %studentLastName%* とします。

作業を保存し、FFのテーマに'ExifEmail' が選択されていることを確認します。

メールを再度プレビュー表示します。すべて正しく入力できている場合、以下のように表示されるでしょう。

Filename.jpg
Date: xx/xx/xx
Photo Number: y
Focal Length: z
Last Name: (Student's Last Name)

トラブルシューティング

グラフィック コンテンツへのアクセスで問題が生じた場合、以下の点をご確認ください。

- [作成]画面の右下には、 と  のどちらが表示されていますか?
  前者のオレンジのボタンは、ソフトウェアがインターネットに接続されていない/接続できないことを意味します。
  問題を解決するには、高速インターネットアクセスが利用可能であることを確認し、再起動します。
- それでも  の表示が消えない場合
  インターネット セキュリティー ソフトウェアがFotoFusion をブロックしている可能性がありますので、ファイアウォール設定を確認してください。
  インターネット セキュリティー ソフトウェアの中には、FotoFusionの接続をブロックする設定になっているものがあるかもしれません。自宅のPCの場合、ファイアウォール設定を確認するか、ソフトウェアを一時的に無効してから、FotoFusionを再起動してください。これでオンラインになれば、ファイアウォールの設定による接続障害であることがわかります。
- インターネットに接続されている( が表示されている)のに、コンテンツが表示されない場合
  [編集]メニューをクリックします。
  - [ユーザー設定]を選択します。
  - [ネットワーク]タブを選択します。
  - [Internet Explorerのプロキシー設定を検出]チェックボックスをオンに設定します。
  - FotoFusionを再起動します。
- 学校のPCの場合、IT専門家(担当者)にシステム要件を確認してもらう必要があるかもしれません。学校のネットワークへのアクセスを開放する必要があるかもしれません。

既に所有しているグラフィックスを使用

ユーザーのシステムに保存されているjpg, png, bmp, gif, wmf, tiffなどの単層(フラット)ファイルであれば、FotoFusionで使うことができます。エンハンスド/エクストリーム ユーザーでグラフィック要素の膨大なコレクションをお持ちの方は、FotoFusion内での使いやすさのためにキーワードやカテゴリーを付けると良いかもしれません。これにより、[作成]画面の検索ホバーやオーガナイザーでの検索が可能になります。

グラフィックは、オーガナイザーでタグ付けすることができます。[ソース]タブ内で画像を1つまたはそれ以上選択します。

オーガナイザーの右側の[キーワード]セクションで[種類]のドロップダウンボックスを適当なカテゴリーに変更します。



オリジナルのグラフィックスを作成する場合、背景テクスチャをJPGファイルで保存し、透過を必要とするクリップアートはPNGファイルで保存（透明な背景で保存）します。

プロ仕様のプロジェクト作成のためのチュートリアル

アルバム プリセット

[キャンバス設定]エディターのページサイズのプリセットには、カバー、見開き、片面や大手のアルバム製作業者のサイズも含まれています。たった2回のクリックで、印刷業者が指定する余白等の設定済みのテンプレートが表示され、編集をすぐに開始できます。
使用予定のアルバム印刷業者などがない場合、LumaPixのWebページから製品仕様を登録できる旨を業者に知らせることもできるでしょう。

構成ツール

キャンバス設定エディターでは、印刷時の余白などの設定を事前に行うことができます。ページの方向など、ページの種類も多くのオプション（片面アルバム、シート、両面開きなど）から選択できます。分割ツールを使って、グリッドやモザイクを簡単に作成できます。

校正刷り用ツール

[オーバーレイ画像の情報]を使用するとプロジェクト内の画像に関する情報（ファイル名など）を[作成]タブ上、また出力に表示することができます。使用画像のリストを作成すると、同じ画像の使用を避けられ、プロジェクト内の画像数を数えることができます。クライアントに送る場合、利用可能なファイル形式の中から低解像度の出力形式を作成します。

整理ツール

複数のフォルダーを同時に見るには、オーガナイザーを使います。画像をトリアージ方式で「バケット」に選別し、アルバムのページを事前に分類します。画像にキーワード、テーマ、レートを割り当て、それを使ったクイック検索やプロジェクトの簡単な修正ができるようになります。

テンプレート

開始]タブの[テンプレート]で希望のレイアウトを探します。ライセンスの種類によって異なりますが、無料で利用可能なものもあります。



□□□□□□□

コンタクトシートは、シンプルなままでもいいですし、自由にカスタマイズすることもできます。

オプション 白紙の状態からオリジナルのテンプレートを作成

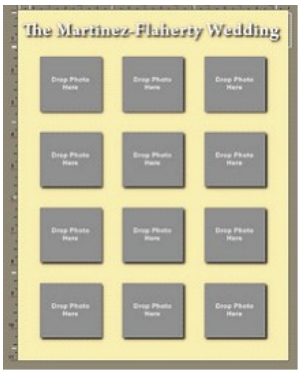
- 任意のサイズでブランクのキャンバスを新たに作成します。
- そのキャンバスに大きな空のフレームを追加します。



- 希望の色または画像を背景に追加します。
- タイトルを入力します。
- 分割ツールを使って、大きなフレームを均一なフレームに分割します。



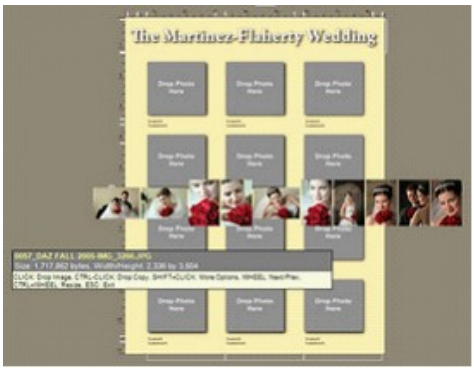
- すべてのフレームを選択し、その中の1つのフレームを右クリックします。[位置] > [サイズ] > [画像にあわせてフレームサイズを変更]を選択します。自動的に枠が表示されなくなります。
- フレーム エディターの[インセット]オプションを使ってラベルを挿入するための場所を確保（フレームの間隔を調整）します。



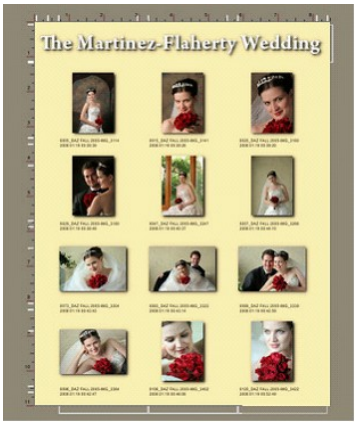
- すべてのフレームを選択し、画像にテキストを追加します。ツールボックスのTアイコンをクリックしてテキスト フィールドを追加し、表示されるサンプルのテキストを任意のテキスト タグに置き換えます。これにより、ファイル名、日付などの画像情報を挿入することができます。
- フォントを選択、テキストを揃え、色を変更、影を削除などの調整を行います。
- テキストをフレームの下など希望の位置に移動させます。



- *エクストリーム版のユーザー* であれば、  ホバー ボタンをクリックし、ページを右クリックします。メニューから[ページの自動複製]を選択します。
- テンプレートを彩度利用する可能性がある場合、[ファイル]メニューの[テンプレートとして保存]を選択します。
- 画像ホバーを使用、オーガナイザーのバケット機能を使用、ツールバーの  (画像を参照する)ボタンを使用、このいずれかの方法で、画像をドロッパーに移動させます。画像を直接キャンバスにドロップしないでください。
- ツールバーの  をクリックします。



- FotoFusionはテンプレートに画像を挿入していきます。自動
複製が設定されている場合は、すべての画像を使い切るまで、
新しいテンプレートのページが作成されます。
コンタクトシートを希望に応じて、PDFや他の形式にレンダリング、Webに公開、印刷またはメールで送信します。



オプション 3: コンタクトシート テーマを使用して、メールやWebコンタクトシートを作成

コンタクトシート テーマを使用すると、コンタクトシートのレイアウトをあっという間にメールで送信、または公開できます。
自動コラージュ機能を使って、一連の画像でアルバムを作成した場合や簡易コンタクトシートを生成したい場合に便利です。
詳細は、「メールテーマ」セクションを参照してください。



□ □ □ □□□□□□□□□□□□

お客様に注文内容のプレビューを見せることは非常に大事なことです。それにより、実際に印刷業者へ送る前にお客様のフィードバックをもらって改善することができます。
FotoFusionを使うことで、そのプロセスを簡略化でき、さらにお客様とのコミュニケーションもスムーズになるでしょう。

オーバーレイ画像の情報

このツールは、[作成]画面と[出力]タブで利用可能です。キャンバス上の画像に関する情報を、キャンバス上の画像の下に小さなテキストボックスで表示することができます。このツールは、カタログ作成やアルバム作成過程での校正処理の際の参考資料として活用できます。
[作成]画面でこのツールを設定するには、キャンバス以外の部分を右クリックして表示されるメニューの[プロジェクト] > [オーバーレイ画像情報]を選択します。[ツール]メニューから設定する場合は、[プロジェクト] > [オーバーレイ画像情報の設定]を選択します。



[キャンバスに表示]チェックボックスをオンにします。デフォルトの設定では、ファイル名が表示されるよう設定されていますが、 >>> ボタンをクリックして、他の画像情報(フレーム番号、解像度等)を表示するよう設定できます。
オーバーレイ画像のテキストや背景の不透明度の設定を変更したり、画像情報の表示位置を変更したりできます。



Image by Stephen Eastwood

使用画像のリスト

プロジェクトに使用したすべての画像のファイル名と保存先の一覧をテキストファイルの形で生成します。リストを生成するには、[ファイル]メニュー > [プロジェクトの管理] > [使用画像のリストをエクスポート]の順に選択します。 テキストファイルの名前とファイルの保存先を指定します。

一度保存されると、ファイルをダブルクリックして開けるようになります。テキストは他のアプリケーションへのカット アンド ペーストが自由にできます。複数ページのプロジェクトは、ユーザーの便宜を図って、ページごとに表示されます。

校正刷りの作成

[ファイルへ]タブの[オーバーレイ画像情報]をオンにすると、プロジェクト内の画像に関する情報をクライアントに提供できます。これは、クライアントとの打ち合わせや要望を聞くため(例: 1ページ目のフレーム6を2ページ目に移動してください)、またさりげなくプロジェクトをウォーターマークできるという二重の意味があります。プロジェクトは、75 から100 dpiの間でレンダリングし、PDFで画面の解像度に適した状態で作成します。見開きを1ページずつにわけないでください。それにより、印刷したらどのように見えるかをクライアントが確認できるでしょう。

必要に応じ、ウォーターマークやバナーを校正刷りなどに追加して会社名などを売り出すこともできます。

プロジェクトはクライアントにメールでお送りください。ファイルが大きく、独自のサーバーやダウンロードエリアを持っていない場合は、yousendit.com, sendspace.comなどのファイル転送サービスを使ってクライアントにURLを提供します。

別の方法として、コンタクトシート スタイルのレイアウトを作成します。アルバム内のすべてのページを低解像度でレンダリングし、新しいFotoFusionプロジェクトを開きます。コンタクトシートスタイルのテンプレートを作成し、自動複製を使ってアルバム全体のページを増やしつつ、レイアウトを行います。利点として、メールでの送信が簡単、安全、簡単に印刷ができない、という点が挙げられます。

自分のWebサイトがある場合、Webギャラリーにアップロードできます。画像の添付にかかわりなく、[公開]をクリックし、テーマを[Album Preview]に変更します。.

クライアントに複数ページに渡る校正刷りを送る場合、[共有]タブを使わないことをお勧めしています。[共有]タブではhtmlに組み込まれた非常に小さいバージョンを作成するため、クライアントがプロジェクトを確認するために必要な鮮明度は得られないからです。

□□□□□□□

FotoFusionを使うと、学校のイヤーブックや集合写真などの作成も操作は簡単です。

ステップ 1: 画像の整理

- 人物の画像ファイルのファイル名を、その画像の人物の名前に変更することをお願いします。例えば、Nancy Carr.jpg などに変更します。
- 必要に応じ、オーガナイザーを使って、画像をクラスごとにバケットに振り分けます。

ステップ 2: グリッドの作成

キャンバスの比率を先ず指定します。
キャンバスに画像を配置する部分全体を覆う程度の1つの大きなフレームを挿入します。



フレームのプロパティを変更

- 枠の幅や色を変更したり、マスクを追加したりできます。画像を追加してからこれらの変更を行うこともできます。

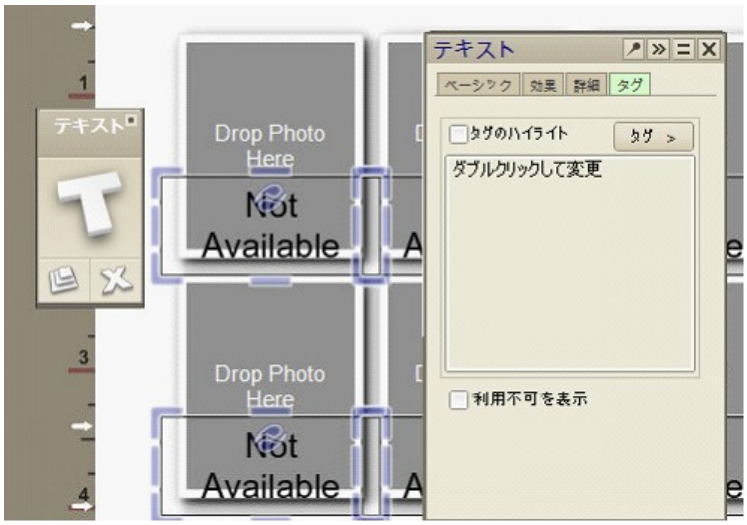
分割ツールを使用して1つの大きなフレームにグリッドを作成します。
大きなフレームを選択すると、ツールボックスが表示されます。分割ツールのアイコン上を上下左右にドラッグして、小さく分割していきます。





ステップ 3: テキストの追加
ファイル名に人物名を当てた場合（ステップ 1）、テキスト タグを追加します。
空のフレームをすべて選択します。
ツールボックスをクリックして、テキストを追加します。
[タグ>]ボタンをクリックし、オプション一覧から「ファイル名」を選択します。





ステップ 4: テキストの編集
テキストの属性を必要に応じて変更します。

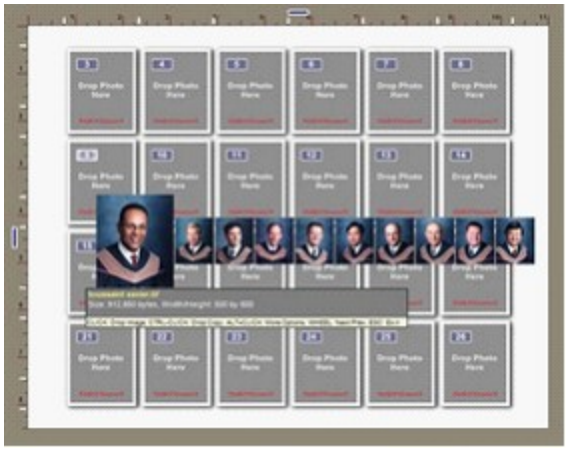
- フォントとフォントサイズを変更
- テキストの中央揃え、テキストフレーム内の位置（上部/中央/下部）を設定
- フレーム インセットの変更
- テキストの色や輪郭のプロパティを変更
- 希望に応じてテキストの影をオフに設定
- フレーム ハンドルを使用してテキスト フレームのサイズを任意で変更



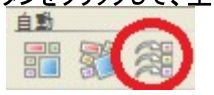
ステップ 5: 画像をインポート

- 画像ホバーから
- バケット ホバーから

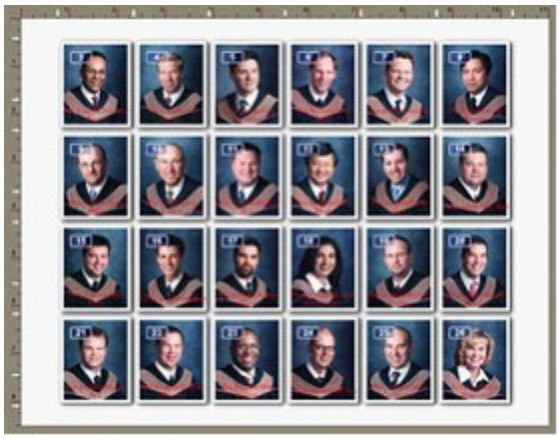
画像を選択し、FotoFusionワークスペースにドラッグすることで、画像がドロッパーに読み込まれます。



自動挿入ボタンをクリックして、空のフレームに画像を挿入します。



画像はキャンバス内のフレームに自動的にドロップされていきます。



全体の構成を必要に応じて変更します。
複数のフレームを選択し、枠の色、幅、フレーム インセットなどの変更に加え、新しいマスクを追加することもできます。
複数のテキストを選択し、色、フォント、テキスト サイズを変更します。
キャンバスに背景色やテクスチャを追加します。
タイトルを入力するためのテキストボックスを追加します。



この作業の流れは、複合（合成）プロジェクトを作成するための基本的な操作といえます。これらの手順をマスターすれば、作品のスタイルなど、クリエイティブなものを作ることができるようになるでしょう。

以下は、作成できるコラージュの基本的な演出の一例です。





